注3

大学番号:077

[平成30年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1

事前伺い

## 熊本大学 工学部 材料·応用化学科 注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 国立大学法人熊本大学 令和2年5月1日現在

#### 作成担当者

担当部局 (課) 名 経営企画本部

職名・氏名 一般職員・西 沙織

電話番号 096-342-2032

(夜間) 096-342-2032

F A X 096-342-3007

e —mail sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

担当部局 (課) 名 教育研究支援部自然科学系事務課

職名・氏名 係長・小島 智絵

電話番号 096-342-3512

(夜間) 096-342-3512

F A X 096-342-3510

e — mail szk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

# 工学部

<材料・応用化学科>													
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3										
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7										
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	38										
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	39										
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	42										
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	12										
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	13										

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

- (2) 大 学 名 熊本大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学長	( ハラダ シンジ ) 原田 信志 (平成27年4月)		
学 部 長	( ウサガワ ツヨシ ) 宇佐川 毅 (平成28年4月)	(ツレカワ サダヒロ ) 連川 貞弘 (令和2年4月)	任期満了に伴う変更(令 和2年4月1日)(2)
学科長等	( イダ シンタロウ ) 伊田 進太郎 (平成30年4月)	( <del>ヤマサキ ミチアキ</del> タカフジ マコト ) <del>山崎 倫昭</del> 高藤 誠 (平成31 令和2年4月)	任期満了に伴う変更( <mark>平</mark> <del>成31</del> 令和2年4月1 日)(元)(2)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( ) 書きで記入してください。
  - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元) 令和2年度に報告する内容 → (2)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
  - ・ <u>様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -(1) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	ν <del>μ</del> 75
工学部 材料·応用化学科 学士(工学)	工学関係	年 4	131	年次 人 5	534	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
  - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均入学定員	開設年度から報 告年度までの平	<b>供 +</b>
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期		均入学定員超過 率	ин <i>*</i> 2
	131人 - 人	131人 - 人	131人 - 人	- 시 - 시			
A 入学定員	( - )	( - )	( 5 )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
志願者数	281 -	287 -	335	( - ) ( - )			AO入試については学科 毎の募集をしていない
	[2] [-]	[2] [-]	[-][-]	[-] [-]			が、以下のとおり実施し
受験者数	224 - ( - ) ( - ) [ 1 ] [ - ]	205 - ( - ) ( - ) [ 0 ] [ - ]	250 ( 11 ) ( - ) [ - ] [ - ]	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	1.01倍	一倍	た。 志願者30名 受験者29名
合格者数	139 - ( - ) ( - ) [ 0 ] [ - ]	137 - ( - ) ( - ) [ 0 ] [ - ]	137 ( 7 ) ( - ) [ - ] [ - ]	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]			合格者9名 B入学者数には、A0入試 等の入学者3名を含む
B 入学者数	136 – ( – ) ( – ) [ 0 ] [ – ]	132 - ( - ) ( 1 ) [ 1 ] [ 1 ]	133 ( 6 ) ( - ) [ - ] [ - ]	( - ) ( - )			
入学定員超過率 B/A	1. 03	1. 00	1. 01	-			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0 年度	令和元	元年度	令和 2	2 年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
		136	-	132	_	133	_	
	1 年次	[ 0 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
		( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
				135	1	132	-	平成30年度入試について は、改組実施前の物質生命化学
	2年次			[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]		科とマテリアル工学科で学生募
				( - )	( - )	( - )	( - )	集を行ったため、物質生命化学 科とマテリアルエ学科の合計数
						139	1	を記載。
	3 年次					[ 0 ]	[ 1 ]	・令和2年度春季入学者の3年
						( - )	( - )	次内訳: 通常133[0]、
								3 年次編入学生6[0]
	4 年次							・令和元年度:材料・応用化学
								科から土木建築学科へ1名転科
		1;	36	20	68	40	05	
	計	[ (	0 ]	[ 2	2 ]	[ :	2 ]	
		( -	. )	( -	. )	( -	- )	

- ·令和2年5月1日 公表
  - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
    - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
    - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
    - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
    - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
    - ・ 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[ ]書き)
7.2.12					うち留学生数	
平成30年度	136 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学
令和元年度	268 人	1 人	平成30年度	1人	0 人	他の教育機関への入学・転学
节和九千茂	200 人	- 7	令和元年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和2年度	405 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- =	1 136	=	0.73	%
【令和元年度】					
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- =	<u>1</u> 268	=	0.37	%
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- =	<u>0</u> 405	=	0	%

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### 2 授業科目の概要

<工学部 材料・応用化学科>

(1)一① 授業科目表

### 【認可時又は届出時】

### 【令和2年度】

£1 □		配业	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任		fd P		配业	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼		科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼担
	文系のための数学入門(A)		修	択 2	曲	授	授	ВФ	教	手	担 兼1	l		文系のための数学入門(A)(未開閉)	1・2後	修	2	曲	授	授	師	教	手	兼
														文系のための数学入門(B) 文系のための数学入門(C)	1-2後 2後		2							兼
														文系のための数学入門(a) 数学の世界(A)	1·20·0 1·2前		1 2							兼
	数学の世界(a)	1・2後		1							兼1			数学の世界(B) 数学の世界(a)(未開講)	1·2前 1·2②		<b>2</b> 1							兼
	数学の世界(b) 物理学入門(A)	1·2前 1·2後		1 2							兼1 兼2			数学の世界(b) 物理学入門(A)(未開講)	1·2 <b>0·0</b> 1·2後		1 2							兼兼
	物理学入門(a)	1・2後		1							兼1			物理学入門(B) 物理学入門(a)	1-23		<b>2</b> 1			1				兼
	物理学入門(b) 物理学入門(c)	1·2後 1·2後		1							兼1 兼1			物理学入門(b) 物理学入門(c)	1-23		1							兼
	物理学入門(d) 物理学入門(e)	1・2後		1							兼1 兼1			物理学入門(d) 物理学入門(e)	1-24		1							兼
	物理学入門(f) 物理学入門(g)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			物理学入門(f) 物理学入門(g)	1-20-0		1							兼
	物理学入門(h) 物理学入門(i)	1·2前 1·2後		1							兼1 兼1			物理学入門(h) 物理学入門(j)(未開闢)	1·2③ 1·2後		1							兼
	物理学入門(j) 教養の化学(A)	1·2後 1·2前		1 2							兼1 兼1			物理学入門(j) 教養の化学(A)	1-2個 1-2前		1 2							兼
	教養の化学(B) 教養の化学(a)	1·2前 1·2前		2							兼1 兼1			教養の化学(B) <b>教養の化学(a)(未開講)</b>	1-2① 1-2①		2							ガガ
	教養の化学(b)	1・2前		1							兼1			教養の化学(b)(未開講) 教養の化学(c)	1-2(2) 1-2(7)		- 1							兼
														教養の化学(d) 教養の化学(e)	1-22		1							1
	生物の世界(A)													<b>教養の化学(f)</b>	1-2②		1							*
	生物の世界(B)	1・2後		2							兼1 兼1			生物の世界(A) 生物の世界(B)	1·2後 1·2③		2							兼
	生物の世界(C) 生物の世界(D)	1·2後 1·2後		2							兼1 兼4			生物の世界(C) 生物の世界(D)	1·2後 1·2③		2							<b>兼</b>
	生物の世界(a) 生物の世界(b)	1·2前 1·2後		1							兼1 兼1			生物の世界(a) 生物の世界(b)	1-23		1							兼
	生物の世界(c) 生物の世界(d)	1·2後 1·2前		1							兼1 兼1			生物の世界(c) 生物の世界(d)	1-2①		1							兼
	生物の世界(e) 生物の世界(f)	1・2前		1							兼1 兼1			生物の世界(e) 生物の世界(f)	1-2(3)		1							兼
	生物の世界(g)	1-2前		1							兼1			生物の世界(g) 生物の世界(h)	1-2(2)		1							<b>兼</b>
														生物の世界(i) 生物の世界(j)	1.20		1							**
	地球環境の現状と人類(A)	1-2前		2							兼1			生物の世界(k) 地球環境の環状と人類(A)(未開情)	1·2② 1·2前		1 2							兼
	-E-HOME-SECTION OF	1 289		-							- AN 1			地球環境の現状と人類(a) 地球環境の現状と人類(b)	1-2(2)		1							**
	持続可能な都市と地域づくり(A) 持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2前		2							兼1			持続可能な都市と地域づくり(A) 持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2前		2							兼
	豊かさを持続させるものづくり(A) 豊かさを持続させるものづくり(B)	1.2後		2							兼4 兼1			豊かさを持続させるものづくり(A) 豊かさを持続させるものづくり(B)	1·2後 1·2①		2							兼
	豊かさを持続させるものづくり(C)	1・2前		2							兼1 兼1			豊かさを持続させるものづくりロ	1-23		2							兼
リベ	日々の生活に垣間見る情報と通信(A) 日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1·2前 1·2前		2							兼2 兼2		リベ	日々の生活に垣間見る情報と通信(A) 日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1-2(2)		2							兼
ラル	倫理学入門(A) 倫理学入門(B)	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1		ラ ル	倫理学入門(A) <b>倫理学入門(B)(未開講)</b>	1·2後 1·2後		2							兼兼
7													7	倫理学入門(C)(未開講) 倫理学入門(D)	1・2後 1・2後		2							兼
ツ 科													ツ 科	倫理学入門€ 倫理学入門(F)	1-2後		2							兼
E	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	1・2後		1							兼1 兼1		147	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	1-2(2)		1							兼
	倫理学入門(c) 倫理学入門(d)	1・2前		1							兼1 兼1			倫理学入門(o)(未開講) 倫理学入門(d)(未開講)	1-2(2)		1							兼
	倫理学入門(e) 倫理学入門(f)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			倫理学入門(e)(未開講) 倫理学入門(f)(未開講)	1-20		1							兼兼
				Ċ										倫理学入門(g)(未開講) 倫理学入門(h)(未開講)	1-2①		1							*
														倫理学入門(I) 倫理学入門(J)	1-20		i							*
														倫理学入門(k)	1-20		H							**
	心と世界(B)	1 0 10 10									***			倫理学入門(I) 心と世界(A) 心と世界(B)(未開講)	1・2後		2							*
	思考と論理(A) 思考と論理(B)	1・2前		2							兼1 兼1			思考と論理(A) 思考と論理(B)(去開除)	1.2前		2							兼兼
	現代心理行動学(a)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			現代心理行動学(a)	1·2旬 1·2旬		1							兼
	現代心理行動学(b)	1・2後		1							兼1			現代心理行動学(b) 現代心理行動学(o)	1-2@		1							· 兼
														現代心理行動学(d)(未開講) 現代心理行動学(e)	1·2③ 1·2①		1							#
														現代心理行動学(f) 現代心理行動学(g)	1-2 <b>②</b> 1-2 <b>④</b>		1							兼兼
	こころの科学(A) 芸術文化論(A)	1·2後 1·2後		2							兼4 兼1			こころの科学(A) 芸術文化論(A)	1·2後 1·2前		2							兼
	言語の諸相(a)	1・2前		1							兼1			芸術文化論(B) 言語の諸相(a)	1・2後		<b>2</b> 1							兼
	言語の諸相(b) 言語の諸相(c)	1·2前 1·2後		1							兼1 兼1			言語の諸相(b) 言語の諸相(c)	1-2(3)		1							兼兼
	言語の諸相(d) 文学の諸相(a)	1·2後 1·2前		1							兼1 兼1			言語の諸相(d) 文学の諸相(a)	1-20		1							兼
	文学の諸相(b) 文学の諸相(c)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			文学の諸相(b) 文学の諸相©	1-2(2)		1							兼
	文学の諸相(d) モノが語る歴史(a)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			文学の諸相(d) モノが語る歴史(a)(未開講)	1-2個 1-2前		1							兼
	モノが語る歴史(b)	1.2前		1							兼1			モノが蓄る屋史(b)(未開講)	1・2前		-1							兼
	モノが語る歴史(c) モノが語る歴史(d)	1·2後 1·2後		1							兼1 兼1			モノが語る歴史(o) モノが語る歴史(d)	1.2(1)		1							兼
									l					モノが語る歴史(e) モノが語る歴史(f)	1-23	l	1							兼
	地域の世界史(a)	1-2前		1							兼1			地域の世界史(A) 地域の世界史(a)	1·2後 1·2①		<b>2</b> 1							<b>兼</b>
	地域の世界史(b) 地域の世界史(c)	1·2前 1·2前		1			l	l	l		兼1 兼1			地域の世界史(b) 地域の世界史(c)	1-2②	l	1							兼
	地域の世界史(d) 地域の世界史(e)	1·2前 1·2後		1							兼1 兼1			地域の世界史(d) 地域の世界史(e)	1-2②		1							兼
	地域の世界史(f) 地域の世界史(g)	1·2後 1·2前		1							兼1 兼1			地域の世界史(f) 地域の世界史(g)(未開講)	1.20		1							兼
	地域の世界史(h)	1・2前		i							兼1			地域の世界史(h)(未開講) 地域の世界史(i)	1・2前		1							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	日本社会の歴史(a)	1.00									20-1			地域の世界史(j) 日本社会の歴史(a) (未開講)	1·2@ 1·2@ 1·2@		1							*
	日本社会の歴史(b)	1.2後		1							兼1 兼1				1.24		1							兼

		配	į	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼任	Г			蹈	Ĺ	单位数	数	専	任教	(員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)	1・2後	修	択 1 1	曲	授	授	節	教	手	担 兼1 兼1			日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d) 日本社会の歴史(e)	1·2 <b>③</b> 1·2 <b>③</b> 1·2 <b>①</b>	修	打 1	由	授	授	師	教	手	担 兼1 兼1
	法学の基礎(A) 法学の基礎(B) 法学の基礎(C)	1·2後 1·2後 1·2前		2 2 2							兼1 兼1 兼1			日本社会の歴史() 日本社会の歴史(a) 日本社会の歴史(a) 法学の基礎(b) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵) 法学の基礎(c) (未開酵)	1·2② 1·2③ 1·2 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前		1 1 1 2 2 2 2 2 2							兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 章
	現代経済問題の諸相(a)	1・2前		1							兼1			法学の基礎(1) 法学の基礎(a) 法学の基礎(a) 現代政治の前相(A) 現代政治の前相(B) 現代政治の前相(B) 現代政治の前相(C)	1·2前 1·2後 1·2前 1·2 1·2前 1·2 1·2前 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2 1·2		2 2 1 1 2 2							兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼
	現代政治の諸相(a) 現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(e) 最前線の社会文化研究(A)	1·2前 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後		1 1 1 1 1 2							兼1 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2			現代政治の諸相(a) 現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e) 現代政治の諸相(e) 環代政治の諸相(e)(宋開闢)	1·2② 1·2③ 1·2③ 1·2③ 1·2⑤ 1·2⑤ 1·2前		1 1 1 1 1 1 2							兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼
リベラルア	最前線の社会文化研究(D) 最前線の社会文化研究(a) 最前線の社会文化研究(b)	1・2前		2							兼1		リベラルア	最前線の社会文化研究(B)(余間前) 最前線の社会文化研究(C) 最前線の社会文化研究(D) 最前線の社会文化研究(E) 最前線の社会文化研究(E)	1·2前 1·2前 1·2前 1·2前 1·2①		2 2 2 1							兼1 兼1 兼 兼 1
l ツ 科 目	最前線の社会文化研究(c) 最前線の社会文化研究(d) 最前線の社会文化研究(d) 最前線の社会文化研究(f) 最前線の社会文化研究(f) 最前線の社会文化研究(g) 最前線の社会文化研究(h)	1·2後 1·2後 1·2前		1 1 1 1 1 1							兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1		ツ  科  目	全新值の社会大名明末(4)(共同期) 是新值の社会大名明末(4)(共同期) 全新值の社会大名明末(4)(共同期) 是新值の社会大名明末(4)(共同期) 是新值の社会大名明末(4)(共同期) 是新值の社会大名明末(4)(共同期) 是新值の社会大名明末(4)(共同期)	1·2前 1·2① 1·2② 1·2③ 1·2④ 1·2① 1·2前 1·2①		1 1 1 1 1 1 1							兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 第 章 7
	現代社会の解跡(a) 現代社会の解跡(b) 現代社会の解跡(c) 現代社会の解跡(d)	1·2後 1·2後 1·2前 1·2前		1 1 1							兼1 兼1 兼1			最前線の社会文化研究(I) 最前線の社会文化研究(I) 最前線の社会文化研究(I) 最前線の社会文化研究(II) 最前線の社会文化研究(II) 現代社会の解談(II) 現代社会の解談(II) 現代社会の解談(II) 現代社会の解談(II) 現代社会の解談(II) 現代社会の解談(II)	1·2@ 1·2@ 1·2@ 1·2@ 1·2@ 1·2@ 1·2@ 1·2@		1 1 1 1 1 1 1							兼
	自然と人間の地理学(A) 自然と人間の地理学(B) 自然と人間の地理学(C)	1·2前 1·2前 1·2前		2 2 2							兼1 兼1 兼1			現代社会の解除()(中間 現代社会の解除() 現代社会の解除() 現代社会の解除() 現代社会の解除() 起と人間の地理学()(中間的 起と人間の地理学()(中間的 自然と人間の地理学()(中間的 自然と人間の地理学()	1·2③ 1·2④ 1·2④ 1·2④ 1·2前 1·2前 1·2前 1·20 1·2① 1·23		1 1 1 1 2 2 2 1							兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1
	小計(102科目)	_	0		0	0	0	0	0	0	兼119			自然と人間の地理学(o)(未開修) 自然と人間の地理学(d) 自然と人間の地理学(e) 自然と人間の地理学(f) 小計(175科目)	1·2① 1·2④ 1·2④ 1·2③	0	1 1 1 1 230	0	0	1	0	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1
	数学と文化(a) 数学と文化(b)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			数学と文化(a)(未開講) 数学と文化(b)(未開講) 数学と文化(o) 数学と文化(d)	1·2前 1·2前 1·2① 1·2②		1 1 1 1							兼1 兼1 兼1
	物理学の世界(a) 暮らしと化学(A) 暮らしと化学(B) 暮らしと化学(C) 暮らしと化学(D)	1·2前 1·2後 1·2後 1·2後 1·2前		1 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1			物理学の世界(A) 物理学の世界(B) 暮らしと化学(A)(未開講) 暮らしと化学(B) 暮らしと化学(C) 暮らしと化学(C)(未開講) 暮らしと化学(C)(未開講) 暮らしと化学(F)	1·2個 1·2個 1·2個 1·2個 1·2前 1·2前 1·2世		2 1 2 2 2 2 2 2			1				兼 兼 兼 兼 1
	暮らしと化学(a) 暮らしと化学(b)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			暮らしと化学(3) 暮らしと化学(a)(未開講) 暮らしと化学(b)(未開講) 暮らしと化学(c) 暮らしと化学(d)	1·2 1·2前 1·2前 1·2前		1 1 1							兼1 兼1 兼1
	化学と環境(A) 化学と環境(B) 化学と環境(C)	1·2後 1·2前 1·2後		2 2 2							兼1 兼1 兼1			化学と環境(A)(未開酵) 化学と環境(B)(未開酵) 化学と環境(O)(未開酵) 化学と環境(a) 化学と環境(b)	1·2② 1·2後 1·2前 1·2後 1·2①		1 2 2 2 1							兼
	最先端の生命科学(A) 最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b) 最先端の生命科学(c) 最先端の生命科学(d)	1·2後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2後		2 1 1 1 1							兼5 兼7 兼6 兼2 兼1			是先輩の生命科学(A)(未開開) 最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b) 最先端の生命科学(c) 最先端の生命科学(d) 長先端の生命科学(e) 最先端の生命科学(e) 最先端の生命科学(e)	1·2後 1·2③ 1·2④ 1·2③ 1·2③ 1·2②		2 1 1 1 1 1 1							兼5 兼1 兼1 兼1
現代教養科目	地球環境科学の最前線(A) 地球環境科学の最前線(A) 地球環境科学の最前線(b) 地球環境科学の最前線(b) 地球環境科学の最前線(g) 地球環境科学の最前線(g) 地球環境科学の最前線(g) 地球環境科学の最前線(g) 地域域づくりと特学技術(G) 地域づくりと特学技術(G) 地域づくりと科学技術(G)	1·2後後後後後前前前前後後 1·26 1·26 1·27 1·27 1·27 1·27 1·26 1·26 1·26		2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼 第1111		現代教養科目	地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最前線公 地球環境科学の最新線公 地球環境科学の最新線公 地球域公りと科学技術公 地域づくりと科学技術公 地域づくりと科学技術公 地域づくりと科学技術(公 地域づくりと科学技術(公	1·2② 1·20·0 1·20·0 1·2③ 1·2④ 1·2④ 1·2⑤ 1·2② 1·2② 1·2② 1·2② 1·2② 1·2②		2 1 1 1 1 1 1 2 2 2							兼
	地域づくりと科学技術(E) 地域づくりと科学技術(F) ものづくりの科学と技術(A) ものづくりの科学と技術(B) ものづくりの科学と技術(C) ものづくりの科学と技術(C)	1.2前		2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼2			地域づくりと科学技術(E) 地域づくりと科学技術(F) 地域づくりと科学技術(A) ものづくりの科学と技術(A) ものづくりの科学と技術(B) ものづくりの科学と技術(C) ものづくりの科学と技術(C)	1·2② 1·2前 1·2後 1·2① 1·2① 1·2② 1·2②		2 2 2 2 2 2 2			1				兼1 兼1
	ものづくりの科学と技術(E) ものづくりの科学と技術(F) ものづくりの科学と技術(G) ものづくりの科学と技術(H)	1·2前 1·2後 1·2前		2 2 2 2							兼2 兼2 兼1 兼1			ものづくりの科学と技術(E) ものづくりの科学と技術(F) ものづくりの科学と技術(G) ものづくりの科学と技術(H) 事らしと情報・遺信技術(A) 事らしと情報・遺信技術(B)	1·2② 1·2③ 1·2② 1·2③ 1·2④		2 2 2 2 2 2		1 1	1				新華
	暮らしと情報・通信技術(a) 暮らしと情報・通信技術(b) 暮らしと情報・通信技術(c) 健康の科学(A) 健康の科学(B)	1·2後 1·2後 1·2後 1·2前 1·2後		1 1 1 2 2							兼1 兼1 兼1 兼8			事らした情報・通信技術(a) 暮らしと情報・通信技術(a) 暮らしと情報・通信技術(b) 暮らしと情報・通信技術(c) 健康の科学(A)(未開講) 健康の科学(B) 健康の科学(C)	1·2楼 1·2③ 1·2④ 1·2⑤ 1·2前 1·2後 1·2楼		1 1 1 2 2							兼 兼 兼 兼 兼 兼 1
	健康の科学(a) 健康の科学(b) 病気の医科学(A) 病気の医科学(B)	1·2前 1·2前 1·2前 1·2後		1 1 2 2							兼1 兼1 兼10 兼1			健康の科学(D) 健康の科学(a) 健康の科学(b) 病気の医科学(A) 病気の医科学(B)	1·2使 1·2① 1·2② 1·2前 1·2後		1 1 2 2							兼4 兼1 兼1 兼1

14.0		配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任	ΙГ	74 F		配	È	单位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選	自	教	准教授	講	助	助手	兼担		科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選択	自由	教	准教授	講	助	助	兼担
	臨床医学の最前線(A)	1.2前		2	曲	授	授	ÉTI	教	+	担 兼1	╽╞		病気の医科学(C) 臨床医学の最前線(A)	1・2後	修	表 2 2	B	授	授	師	教	+	担 兼1 兼1
	現代社会と医学(A)	1・2後		2							兼1			<b>臨床医学の最前線(B)</b> 現代社会と医学(A)	1·2後 1·2後		2							<b>兼1</b> 兼1
	現代社会と医学(B)	1-2前		2							兼6			現代社会と医学(B) 現代社会と医学(C)(未開業)	1·2前 1·2微		2							兼1 兼1
	心身の健康と看護(A) 心身の健康と看護(B)	1・2前		2							兼2 兼2			心身の健康と看護(A) 心身の健康と看護(B)(未開瞭)	1·2① 1·2前		2							兼1 兼2
	心身の健康と看護(C)	1・2後		2							兼1			心身の健康と看頭(O)(未開閉) 心身の健康と看頭(D)(未開閉)	1·2後 1·2①		2							兼1
														心身の健康と看護(E)(未開課) 心身の健康と看護(F)	1-2前		2							兼2
														心身の健康と看護(G) 心身の健康と看護(a) 心身の健康と看護(b)	1-2億		1							兼1
	医療における理工学(a) 医療における理工学(b)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1			医療における理工学(a) 医療における理工学(b)	1·2① 1·2① 1·2②		1							兼1 兼1 兼1
	医療における理工学(c) 医療における理工学(d)	1.2後		1 1							兼1			医療における理工学(c) 医療における理工学(d)	1-2(1)		1							表1 表1
	現代の医学検査(a)	1.2後									兼1			医療における理工学(e)(未開閉) 現代の医学検査(a)	1-2@ 1-2@ 1-2①		1							兼3
	現代の医学検査(b) 現代医療と生命科学(a)	1・2前		1							兼2 兼1			現代の医学検査(b) 現代医療と生命科学(a)	1-20		1							兼1 兼1
	現代医療と生命科学(b)	1.2前		1							兼1			現代医療と生命科学(b) 現代医療と生命科学(a)(未開業)	1-22		1							兼1
	薬科学入門(A) 薬科学入門(B)	1・2前1・2前		2 2							兼1 兼7			薬科学入門(A) 薬科学入門(B)	1-22		2							兼1 兼1
														薬科学入門(a)(未開講) 薬科学入門(b)(未開講)	1-2①		1							兼1 兼1
	現代社会と薬学(A)	1-2前		2							兼5			現代社会と薬学(A) 現代社会と薬学(B)	1·2前 1·2③		2							兼1 兼1
	現代教育について考える(A) 現代教育について考える(B)	1·2前 1·2後		2							兼1 兼4			現代教育について考える(A) <b>現代教育について考える(B)(未開業)</b>	1·2前 1·2後		2							兼1 兼4
	現代教育について考える(C) 現代教育について考える(D)	1.2後		2							兼3 兼3			現代教育について考える(0)(未開催) 現代教育について考える(D)	1·2後 1·2前		2							兼3 兼1
	現代教育について考える(E)	1・2後		2							兼1			現代教育について考える(E) 現代教育について考える(a)	1-2前 1-2④		2 1							兼1
														現代教育について考える(b) 現代教育について考える(o)	1-2(3)		1							兼1
														現代教育について考える(d) 現代教育について考える(e)	1-2@		1							兼1 兼1
														現代教育について考える(f) 現代教育について考える(g)	1·2③ 1·2①		1							兼1
現代	心理学の探求(A)	1・2前		2							兼1		現 代	現代教育について考える(h) 心理学の探求(A)	1-2③		2							兼1 兼1
教養	心理学の探求(B) 芸術への招待(A)	1.2後		2							兼1		教養	心理学の探求(B) 芸術への招待(A)	1.2後		2							兼1
科目	芸術への招待(B) 芸術への招待(C) 現代と言語(a)	1.2後		2							兼4 兼1		科目	芸術への招待(B) 芸術への招待(C) 現代と言語(a)	1.2後		2							兼1
	現代と言語(b) 現代と文学(a)	1·2後 1·2後 1·2後		1 1 1							兼1 兼1 兼1			現代と言語(b) 現代と言語(b) 現代と文学(a)	1·2① 1·2④ 1·20·0		1 1 1							兼1 兼1 兼1
	現代と文学(c) 現代と文学(d)	1・2依 1・2前 1・2前		1							表1 表1			現代と文学(a)(未開講) 現代と文学(d)(未開講)	1・2前		1							表1 表1
	現(CZ (4)	1・2月1		1							漱			現代と文学(a)(未開講) 現代と文学(f)(未開講)	1·2① 1·2②		1							兼1
	現代世界の形成と課題(a)	1-2前		1							兼1			現代世界の形成と課題(A) 現代世界の形成と課題(a)	1・2前		2 1							兼1
	現代世界の形成と課題(b)	1・2後		i							兼1			現代世界の形成と課題(b) 現代世界の形成と課題(c)(未開酵)	1-23		1							兼1
														現代世界の形成と課題(d) 現代世界の形成と課題(e)	1-20		H							兼1
														現代世界の形成と課題(f) 現代世界の形成と課題(g)	1-23		H							兼1 兼1
	最先端の法学(A)	1・2前		2							兼1			暮らしの中の憲法 最先婦の法学(A)(未開講)	2前・美		2 2							兼4 兼1
	ALCOHOUS ALCOHOL	1-289		2							JK.I			最先端の法学(B) 最先端の法学(C)	1・2機		2 2							兼1 兼1
														現代社会と経済(A) 現代社会と経済(B)	1・2後		2 2							兼1 兼1
	現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)	1・2後		1							兼1 兼1			現代社会と経済(a)(未開講) 現代社会と経済(b)(未開講)	1-23		1							兼1 兼1
	現代社会と経済(c) 現代社会と経済(d)	1・2前		1							兼1 兼1			現代社会と経済(の(未開講) 現代社会と経済(の(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代社会と経済(e)	1.2後		1							兼1			現代社会と経済(e)(未開講) 現代社会と経済(f)	1·2後 1·2①		1							兼1 <b>兼1</b>
														現代社会と経済(g) 現代の政治(A)	1-23		1 2							兼1
														現代の政治(a) 現代の政治(b)(未開講)	1-23		1							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	学際科目1	1・2後		1							兼2			現代の政治(e) 学際科目1(未開講)	1-23		i							兼1 兼2
	学際科目2 学際科目3	1.2前		1							兼1 兼1			<b>学際科目2(未開講)</b> 学際科目3	1-2(2)		1							兼1
	) MATH LEG	1 2 100		ļ '										学際科目4 学際科目5	1-23		1							兼1 兼1
														学際科目31 学際科目32	1-2前		2 2							兼1 兼1
														学際科目33 学際科目34	1・2後		2							兼1 兼1
	日本事情(C) 日本事情(D)	1·2前 1·2後		2							兼5 兼4			日本事情(C)(未開講) 日本事情(D)(未開講)	1·2前 1·2後		2							兼5 兼4
	小計(94科目) Introduction to Science and Technology I (a)	- 1·2前	0	143	0	0	0	0	0	0	兼175 兼1	▎▕		小計(159科目)	- 1·2前	0	<b>237</b>	0	3	2	0	0	0	兼13 兼1
														introduction to Belance and Toeknology I (b) introduction to Belance and Toeknology I (a)	1-23		1							兼1 兼1
														introduction to Science and Technology I (d) introduction to Science and Technology I (a)	1:000		1		1					
	Introduction to Science and Technology II (a)	1-2前-後		1							兼1			introduction to Outcome and Technology E(a) (ASSE)	1-2期-後		1		Ü					兼1
M u						Ì							M u	Introduction to Science and Technology II (a) Introduction to Science and Technology II (d)			1		ŀ					
t	Socio-Cultural Studies(A)	1-2前-後		2		Ì					兼1		t	Socio-Cultural Studies(A)	1-2個		2		1					兼1
i d	Socio-Cultural Studies(b)	1-2前-後		1		Ì					兼1		i d	Socio-Cultural Studies(D) Socio-Cultural Studies(b)	1-2前 1-20-0		1							<b>兼1</b> 兼1
i s						Ì							i s	Socio-Cultural Studies(c) Socio-Cultural Studies(d)	1-20-0		1							兼1 兼1
c i						Ì							c i	Socio-Cultural Studies(e) Socio-Cultural Studies(f)	1-20-0 1-20-0		1							兼1 兼1
p I						Ì							p I	Socio-Cultural Studies(g) Socio-Cultural Studies(h)	1-20-0 1-28-0		i							兼1 兼1
i n													i n	Socio-Cultural Studies(i)	1-2①		1							₩1
a r	Basic Economics(a)	1・2後		1		Ì					兼1		a r	Statistics(a) Basic Economics(a)	1-2数-数 1-2数-数		1							<b>兼1</b> 兼1
у	Basic Economics(b) Visual Media(A)	1-2後		1 2							兼1 兼1		у	Basic Economice(b)(未規模) Visual Media(A)	1・2後		1 2							兼1 兼1
S t	Music and Humanity(a) World History(a)	1・2前		1		Ì					兼1 兼1		S t	Music and Humanity(a)(未開稿) World History(a)	1・2前		1							兼1
u d	World History(b)	1-2前-後		1		Ì					兼1		u d	World History(b) World History(o)(未開業)			1							兼1
i	World History(c)	1-2前-後		1		Ì					兼1		i	Academic Foundations(a)	1-200-00 1-200-00		1							兼1
e s	Area Studies(a) Area Studies(b)	1-2前·後 1-2前·後		1		Ì					兼1 兼1		e s	Area Studies(a) Area Studies(b)	1-20-0		1							兼1 兼1
	Area Studies(c) Area Studies(d)	1·2前 1·2前		1		Ì					兼1 兼1			Area Studies(c)(未開講) Area Studies(d)(未開講)	1·2前 1·2前		1							兼1 兼1
	Area Studies(E)	1-2前-後		1		Ì					兼3			Area Studies(E)(未開講) Area Studies(e)(未開講)	1-2前-後		2							兼3 兼1
						Ì								Area Studies(f)	1-20-0									兼1
	I	I	I	l	l	I	l	1 .	l	<b>l</b> .	1	1 1		Area Studies(g)	1:0000	l	1	l		l	l	ı l		兼1

			配	į	単位数	数	専	任教	員等	の配	.置	兼			配	È	単位数	数	専	任教	(員等	の配	置	兼
	₽目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任 · 兼	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼担
	t d d i s d i p i	Technical English Communication(a) Technical English Communication(b) Technical English Communication(c) Technical English Communication(c) Technical English Communication(f) Technical English Communication(f) Technical English Communication(f) Global Career Development(fa) Global Career Development(fa) Technical English Communication(f) Technical English Communi	1-2期·後 1-2期 後 1-2期 後 1-2期 後 後 1-2期 後 後 1-2期 後 後 1-2期 後 後 1-2則 後 後 1-2則 後 後	0 1 1	択 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 8	0	一	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<u></u>	- 0	0	担	M u l r t y t i S d t s c d i i e p l s i n a	Area Studies(h) Area Studies(i) Area Studies(i) Supplement built demandaries (a) Tambor Built demandaries (a) Tambor Built demandaries(a) Tamb	1-10-0 1-10-0 1-10-0 1-2(3) 1-2(3) 1-2(3) 1-2(1) 1-2(1) 1-10-0 1-0 1	0 1 1	択 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	授	授	<u>師</u>	0	0	12. 13. 14. 15. 15. 15. 15. 15. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16
基礎科目	外国語科目	業										双滚滚 液液液液液液液液液涂液涂液涂液涂液涂液液液液液液液液液液液液液液液液液液	基礎科目	東部0-1 東部0-1 東部0-1 東部0-1 東部0-1 東部0-2 東部0-1 東部0-1 東部0-1 東部0-1 東部0-2 東部0-1 ドイツ語0-2 ドイツ語0-1 ドイツ語0-1 ドイツ語0-2 ドイツ語0-1 ドイツ語0-2 ドイツ語0-1 ドイツ語0-2 ドイツ語0-1 ドイツ語0-2 アランス語0-2 中国語0-2 中国語0-2 中国語0-2 アランス語0-1 コリア語0-1	Wiff   Min   Wi									<b>水漿漿鷻 東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東</b>

			配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	í	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	日分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼		目 分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	Ι	日本語 I -2	2後	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 兼1		_	日本語 I -2	火 1·2篇·集	修	択 1	曲	授	授	師	教	手	担 兼2
	外国	日本語 II-1 日本語 II-2	2前 2後		1							兼1 兼1		外国	日本語 II -2	1·2前 1·2篇·表		1							兼3 兼4
	語科	日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2	2前 2後		1							兼1 兼1		語科	日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2	1・2前 1・2前・後		1							兼5 兼6
	目	日本語IV-1 日本語IV-2	2前 2後		1							兼1 兼1		目	日本語IV-1 日本語IV-2	1前		1							兼6 兼9
	情	情報基礎A	1前	1	<u> </u>							兼1		情	情報基礎A	1前	1	_							兼10
	目報		1後	1								兼1		目報	情報基礎B	1後	1								兼10
	料肥後無	情報処理概論	2後	1								兼8		科細級の	情報処理概論	2後	1								兼8 <b>兼12</b>
	NG 18C II	微分積分I	1前	2								兼1		NG 194.1	微分積分I	1前	2								兼10
		微分積分Ⅱ	1前	2								兼1			微分積分Ⅱ	1使	2								#8
		微分積分概論 線形代数I	1前 1後	2	2							兼1 兼1			<b>微分積分額論(未開講)</b> 線形代数I	1前 1前	2	2							兼1 兼11
		線形代数Ⅱ	1後	2								兼1			線形代数Ⅱ	1後	2								兼10
		線形代数概論	1後		2							兼1			線形代數概論(未開講)	1後		2							兼1
		統計学Ⅰ	1前		2							兼1			教学概論 統計学I	1前 2前		2							兼2
基礎		統計学Ⅱ	1後		2							兼1	基礎		統計学Ⅱ	2被		2							兼1
科目	理	統計学概論	1後		2							兼1	科目	理	統計学概論	1-2前-株		2							₩2
_	系基	物理学Ⅱ 物理学Ⅱ	1前 1後		2							兼1		系基	物理学Ⅱ 物理学Ⅱ	1前 1後		2							兼4
	礎科	物理学	1前		2							兼1 兼1		礎料	物理学	1前		2							兼1
1	B	物理学基盤実験	1前·後		1							兼1		B	物理学基盤実験			1							兼1
1		化学!	1前		2							兼1			化学I 化学II	1前		2							<b>兼2</b>
1		化学II 化学基盤実験	1後 1前·後		2							兼1 兼1			化学基盤実験	1後		2							兼2 兼1
1		生物学I	1前		2							兼1			生物学I	1前		2							₩2
		生物学Ⅱ	1後		2							兼1			生物学II 生物学基盤実験	1後		2							₩2
		生物学基盤実験 地学I	1前・後		1 2							兼1 兼1			生物子基盤夫駅 地学I	1前		1 2							兼1 <b>姜2</b>
		地学II	1後		2							兼1			地学II	1後		2							₩2
	<i>1</i> + <b>☆</b>	地学基盤実験 スポーツ科学	1前·後		1							兼1		/+ <del>*</del>	地学基盤実験			1							兼1
	14 頁・	スポーツ科字	1前・後		2							兼1			スポーツ科学 <b>スポーツ科学(a)</b>	1前・後		2							兼10 兼10
															スポーツ科学(b)	1-20-0		1							₩5
	小計(	110科目)	-	18	111	0	0	0	0	0	0	兼124		小計(	135科目)	-	20	135	0	0	0	0	0	0	兼185
		キャリア科目1 キャリア科目2	1・2前		2							兼1 兼1			キャリア科目1 キャリア科目2	1・2前		2							兼1 兼1
		キャリア科目3	1.2後		2							兼1			キャリア科目3	1・2後		2							兼1
		キャリア科目4	1・2後		2							兼1			キャリア科目4(未開講)	1・2後		2							兼1
		キャリア科目5 キャリア科目6	1・2前		2							兼1 兼1			キャリア科目5 キャリア科目6	1·2義 1·2前		2							兼1 兼1
		キャリア科目7	1.2後		2							兼1			キャリア科目7	1.2後		2							兼1
		キャリア科目8	1-2前		2							兼1			キャリア科目8(未開講)	1・2前		2							兼1
		キャリア科目9 キャリア科目10	1・2前		2							兼1 兼1			キャリア科目9(未開講) キャリア科目10	1・2前		2							兼9 兼1
		( ) )	1 2 80		2							ak i			キャリア科目11	1-2前		2							#1
															キャリア科目12	1-2後		2							₩1
	e.													F	キャリア科目13 キャリア科目14	1·2前 1·2使		2							兼1 兼1
	47												-	<b>†</b> *	キャリア科目15	1・2前		2							兼1
1 7	ا 7													J	キャリア科目16	1・2機		2							<b>∰</b> 1
1	单	キャリア科目51			١.							·	1	\$ <b>∃</b>	キャリア科目17 キャリア科目51	1・2後		2							<b>兼1</b>
Ι΄	-	キャリア科目52	1.2休		1							兼1 兼1		-	キャリア科目52	1-20		1							兼1 兼1
		キャリア科目53	1前·後		1							兼1			キャリア科目53	1-288-86		1							兼1
1		キャリア科目54 キャリア科目55	1.2節		1							兼1			キャリア科目54 キャリア科目55	1-22		1							兼1
1		キャリア科目56	1・2後		1							兼1 兼1			キャリア科目56	1-23		1							兼1 兼1
1		キャリア科目57	1·2後		1							兼1			キャリア科目57	1-23		1							兼1
1		キャリア科目58	1・2前		1							兼1			キャリア科目58(未開講)	1・2前		1							兼1
															キャリア科目59 キャリア科目60	1-2②		1							兼1 兼1
															キャリア科目61	1-23		i							<b>*</b> 1
															キャリア科目62	1-23		1							兼1
		小計(18科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	兼18			キャリア科目63 小計(30科目)	1-10-0	0	47	0	0	0	0	0	0	兼1
		開放科目1	1・2前	Ť	2	Ť	É	Ĺ	Ť	Ť	Ť	兼1			開放科目1	1・2前	Ė	2	Ĺ	Ť	Ť	É		-	兼1
		開放科目2	1.2前		2							兼1			開放科目2(未開講)	1.2前		2							兼1
		開放科目3 開放科目4	1・2後		2 2							兼1 兼1			開放科目3(未開講) 開放科目4(未開講)	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1
		開放科目5	1・2前		2							兼1			開放料目5	1・2前		2							兼1
		開放科目6	1・2後		2							兼1			開放科目6	1・2後		2							兼1
		開放科目7 開放科目8	1・2前		1 2							兼1 兼4			開放科目7(未開講) 開放科目8(未開講)	1・2前		1 2							兼1 兼1
	朔	開放科目9	1.2般		1			ĺ				兼1	Б	F	開放科目9	1・2後		1				ĺ			兼1
į	枚	開放科目10	1・2前		1							兼3	ŧ	<b>t</b>	開放科目10(未開講)	1・2前		1							<b>#</b> 1
	\$4 ≣	開放科目11	1・2後		2							兼1		#  }	開放科目11 開放科目12	1·2後 1·2①		2		1					兼1
															開放科目12	1·2① 1·2前		1		Ι΄					兼1
															開放料目14	1-2前-後		1							#1
															開放科目15(未開講) 開放科目16	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1
															開放科目17	1・2使		2							兼1
															開放科目18	1-2前		3							<b>兼</b> 1
		小計(11科目)	_	0	19	0	_	0	0	0	0	兼16			開放科目19 小計(19科目)	1-22	0	33	_		1	0	0	0	兼13
		-/ BIX 1197 E/		0	19	0	0	U	U	U	U	AK 10			e-si (1997 SI)		U	33	0	1		U	U	U	減(3

z. –		配	ĺ	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任			配	直	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	Ţ
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	1
	物理·化学 I	1前	修 2	択	ф	授	授 2	師	教	手	担		物理·化学 I	1①	修 2	択	ф	授	授 3	師	教	手	ť
工学	物理・化学Ⅱ	1前	2				2					工学	物理・化学Ⅱ	12	2				2				
基	工学基礎実験	1前	1			4	14		1			基	工学基礎実験	1前	1			2	13				
礎 科	数学演習 I	1前	1						7			<b>礎</b> 科	数学演習 I	10	1				1		6		
目	数学演習Ⅱ	1前	1	$\perp$	•	_	2	_	•	_	_	目	数学演習Ⅱ	12	1	•	_	_	2	_	_	_	+
	小計(5科目)	_	7	0	0	4	14	0	8	0	0	-	小計(5科目) 工学英語 I	210	7	0	0	2	15 2	0	6	0	1
エ			l									工学	工学英語Ⅱ	2後	1			2	2				1
英語	工学英語 I	3前	1								兼2	英語	工学英語Ⅲ	3前	1			1	2				3
料	工学英語Ⅱ	3後	1								兼2	料	工学英語Ⅳ	3後	1				2				3
目	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	目	小計(4科目)	-	4	0	0	3	4	0	0	0	ŧ
C	社会と企業	1後	2								兼1	C	社会と企業	1後	2			1	1				Τ
科関 C 目連 C	インターンシップ	3前	<u> </u>	2		1			2			科関 C 目連 C	インターンシップ	32		2		1			2		
	小計(2科目)	-	2	2	0	1	0	0	2	0	兼1		小計(2科目)	_	2	2	0	2	1	0	2	0	L
	物質材料工学基礎	1後	2			2							物質材料工学基礎	14	2			1					
	無機化学基礎	1後	2			1							無機化学基礎	14	2			1					
	有機化学基礎 物理学基礎	1後	2				1 2						有機化学基礎 物理学基礎	13	2			l 1	2				
	物理子基礎 生化学 I	2前		2		1	2						物理子基礎 生化学 I	2①	2	2		1	2				
	無機化学 I	2前	l	2			1						無機化学 I	2①		2		ľ	1				
	有機化学 I	2前	i	2			1						有機化学 I	2①		2	ĺ		1	Ì			I
	環境調和化学	2前	l	1							兼1		環境調和化学	2①		1							
	高分子化学	2前	i	2		1							高分子化学	2(2)		2			1				ı
	分析化学 I	2前	l	2		1							分析化学 I	2(2)		2		1					
学	物理化学 I	2前	l	2		1						学	物理化学 I	22		2		1					
科基	物性物理学基礎	2前	l	2		1						科基	物性物理学基礎	2①		2		1					
盤	結晶学	2前	l	2			1					##	結晶学	2①		2		1					
科日	結晶回折学	2前	l	2		1						科目	結晶回折学	22		2		1					
_	材料力学	2前	l	2			1						材料力学	2(2)		2		1					
	移動速度論	2前	l	2			1						移動速度論	22		2			1				
	状態図と熱力学 工学数学 I	2前	l	2		1					兼1		状態図と熱力学 工学数学 I	2③ 2①		2		1					
	工学数学Ⅱ	2例	l	2							兼1		工学数学Ⅱ	2(2)		2							
	知的財産権	4前	l	2							兼1		知的財産権	4前		2							ľ
	プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前	l	1							兼1		プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前		2							l,
	プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後	l	1							兼1		プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後		2							L
	工学倫理	3後	2								兼1		工学倫理	3後	2								L
	安全工学	3前	l	2							兼1		安全工学	3前		2							1
	小計(24科目)	_	10	35	0	9	7	0	0	0	兼7		小計(24科目)	-	10	37	0	9	6	0	0	0	PPA
	物理化学Ⅱ	2後	2			1							物理化学Ⅱ	24	2			1					Τ
	分析化学Ⅱ	3前	2			1							分析化学Ⅱ	<b>3</b> ①	2			1					
	反応工学	2後	2			1							反応工学	23	2			1	1				
	無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ	3後3前	2			1							無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ	3③ 3②	2			1					
	量子化学	3後	2			l '	1						量子化学	33	2			l '	1				
	化学実験 I	2後	4				1		2				化学実験 I	2(3)	4						2		
	化学実験 Ⅱ	2後	4				2		1				化学実験 Ⅱ	24	4				2		1		
プルロ	化学実験Ⅲ	3前	4				1		2			プルロロ	化学実験Ⅲ	<b>3</b> ①	4				3				ı
グニ	化学実験Ⅳ	3前	4				2		1			ロガー グーチョ	化学実験Ⅳ	32	4				2		1		ı
カポル	化学実験 V	3後	4				2		1			7.	化学実験 V	3(3)	4				1		2		ı
				1		1							有機分子構造化学	23	2			1	١.				I
PR チ	有機分子構造化学	2後	2			-			ĺ			門教 科育	生化学Ⅱ	34	2			١,	1				
門教育	生化学Ⅱ	3後	2			1	1						バイオテクノロジー					Ι'	2	1	1		1
門教 科育 目	生化学 II バイオテクノロジー	3後 3後		,		1	1					-	バイオテクノロジー 電気化学	3 <b>④</b> 3 <b>②</b>	2	2							
門教育目	生化学Ⅱ	3後	2	2		1	1 1 1						バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO	3(2) 3(3)	2	2			1				ı
門科目	生化学Ⅱ パイオテクノロジー 電気化学	3後 3後 3前	2			1	1				兼1		電気化学	32	2								
門科目	生化学 II バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO	3後 3後 3前 3後	2	1		1	1				兼1 兼1		電気化学 環境ISO	3② 3③	2	1							
門科目	生化学 II バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO 化学物質管理学	3後 3後 3前 3後 2前	2	1		1	1					H	電気化学 環境ISO 化学物質管理学	3② 3③ 2①	2	1							
門科目	生化学 II パイオテクノロジー 電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション	3後 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	2 2	1 1 1		7	1		7		兼1		電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション	39 39 20 39 30 30 49		1 1 1		9			6		
門科目子教育	生化学 II バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究	3後 36 36 36 37 37 37 37 44 44 44	2 2	1 1 1 1		7 7	1 1 8 8 8		7		兼1 兼1		電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究	3② 3③ 2① 3② 3① 4③ 4通	10	1 1 1 1 1		9	1 8 8		6		-
	生化学 II バイオテクノロジー 電気化学 電気化学 電気化学 電視SIO 化学物質管理学 応用性命化学 応用物質化学 化学コミニケーション 卒業研究 小計(21科目)	3後後前後前前前後通	2 2 10 48	1 1 1 1	0	7 7 <b>7</b>	1 1	0		0	兼1		電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目)	3② 3③ 2① 3② 3① 4③ 4通	10 48	1 1 1	0	9	8	0	6 6	0	+
応	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 環境SO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 / 小計(21科目) 物理化学 II	3後 36 3前 3前 3前 4 4 4 - 2後	2 2 10 48 2	1 1 1 1	0	7 7 7	1 1 8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応	電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミューケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学Ⅱ	3② 3③ 2① 3② 3① 4③ 4通 —	10 48 2	1 1 1 1 1	0	9	1 8 8	0	6	0	1
応用物	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 電気化学 電気化学 医療物の 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 / 小計 (21科目) 物理化学 I タ析化学 I タ析化学 I	3後後 3前 3前 3前 4後 通 一 2後 前	10 48 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1	1 1 8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物	電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学Ⅱ 分析化学Ⅱ	3② 3③ 2① 3② 3① 4③ 4通 —	10 48 2 2	1 1 1 1 1	0	9 1 1	8 8 8	0	6	0	1
応用物質化	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 電気化学 環境 SO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学 II 夕析化学 II 反応工学	3後後前36前36前64通一 2後前後通一 2後前後	10 48 2 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1	1 1 8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物質化	電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用性命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学Ⅱ 反応工学	32 33 2① 32 3① 43 4通 — 24 3① 23	10 48 2 2 2	1 1 1 1 1	0	9	1 8 8	0	6	0	
応用物質化	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 国境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミューケーション 卒業研究 / 小計(21科目) 物理化学 I 反応工学 無機化学 II	3後後前 3前 3前 4後 通 一 2後 前 後 後	10 48 2 2 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1 1	1 1 8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物質化	電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学 I 反応工学 無機化学 I	32 33 20 30 43 4通 - 24 30 23 33	10 48 2 2 2 2	1 1 1 1 1	0	9 1 1 1 1 1	8 8 8	0	6	0	
応用物質化	生化学 II バイオテクノロジー 電気化学 電域 ISSO 化学物質管理学 応用性命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学 II タ新化学 II タ新化学 II 東線機化学 II 有機化学 II 有機化学 II	3後 3 3 6 3 6 3 7 3 8 7 3	2 2 10 48 2 2 2 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1	1 1 8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物質化	電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学エ 夕新化学エ 夕成応工学 無機化学エ 有機化学エ	3② 3③ 2① 3② 3① 4③ 4通 — 2④ 3① 2③ 3③ 3③	10 48 2 2 2 2	1 1 1 1 1	0	9 1 1	8 8 8	0	6	0	
用物質化学教育プ	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究   小計(21科目) 物理化学 I 反応工学 無機化学 I 有機化学 I 東子化学	3後 3前 3 前 3 前 3 前 3 前 4 後 通 一 2 後 前 後 前 3 前 3 後 前 3 後 前 3 後	10 48 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1 1	8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物質化学教育プ	電気化学 環境ISO 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学Ⅱ 反応工学 耳 積化化学 Ⅲ 量子化学	3② 33 2① 3② 43 4通 - 2④ 3① 23 33 33	10 48 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	0	9 1 1 1 1 1	8 8 8	0	6	0	
応用物質化学教育プログ	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 環境 ISO 化学物質 管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学来観究 I / 小計(21科目) 物理化学 I 反応 エ学 無機化学 I 有機化学 I 電子化学 化学実験 I	3後 3前 3後 2前 前前 4後 通 - 2後 3前 後 3前 3 後 3 前 3 後 2 後 3 前 6 2 後	10 48 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1 1	8 8 8	0	7 7	0	兼1 兼1	応用物質化学教育プログ	電気化学 環境50 化学物質管理学 応用性命化学 応用性命化学 応用物質化学 化学コミニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学 I 反応工学 無機化学 I 看後化学 I 電子化学 化学実験 I	30 30 20 30 40 40 40 20 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	10 48 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1	0	9 1 1 1 1 1	8 8 8	0	6	0	3
応用物質化学教育プロ	生化学 I バイオテクノロジー 電気化学 環境ISO 化学物質管理学 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究   小計(21科目) 物理化学 I 反応工学 無機化学 I 有機化学 I 東子化学	3後 3前 3 前 3 前 3 前 3 前 4 後 通 一 2 後 前 後 前 3 前 3 後 前 3 後 前 3 後	10 48 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1	0	7 7 7 1 1 1	8 8 8	0	7	0	兼1 兼1	応用物質化学教育プロ	電気化学 環境ISO 応用生命化学 応用物質化学 化学コミュニケーション 卒業研究 小計(21科目) 物理化学Ⅱ 反応工学 耳 積化化学 Ⅲ 量子化学	3② 33 2① 3② 43 4通 - 2④ 3① 23 33 33	10 48 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	0	9 1 1 1 1 1	8 8 8	0	6	0	TEN STATE

		弱	1	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	曲	授	教授	飾	教	手	兼担
応	化学実験 V	3後	4				2		1		
用	電気化学	3前	2				1				
物質	分離工学	3前	2			1					
化	高分子物理化学	2後	2			1					
学教	有機分子構造化学	2後		2		1					
育プ	環境ISO	3後		1			1				
7 D	化学物質管理学	2前		1							兼1
グラ	応用物質化学	3前		1							兼1
フム	応用生命化学	3前		1							兼1
専	化学コミュニケーション	4後		1		7	8		7		
門科	卒業研究	4通	10			7	8		7		
B	小計(21科目)	_	48	7	0	7	8	0	7	0	兼2
	格子欠陥学	2後	2	Ħ	-	1	Ė	Ė	Ė		-111-
	結晶塑性学	2後	2			1					
	物性物理学	2後	2				1				
	固体物性学	2後	2			1					
	固体内の拡散	2後	2				1				
	相変態論	2後	2			1					
	材料物理化学	2後	2				1				
	材料電気化学	2後	2				1				
	破壊工学	3前	_	1		1					
	塑性加工学	3後		1			1				
45	電子材料工学	3前		1			1				
物質	機能材料学	3後		1		1	'				
材料	磁性材料工学Ⅰ	3前		1		1					
エ	磁性材料工学Ⅱ	3前		1		1					
学教	粉体加工学!	3後		1		, 1					
育	粉体加工学Ⅱ	3後		1		, 1					
プロ	鉄鋼材料学	3前		1		' '					
ロ グ ラ	非鉄金属学	3後		1		'	1				
ラム	海 海 固工学	3後		1			'				
専	鉄鋼製鍊工学	3前		1			1				
P9 #4	非鉄製錬工学	3前		1			'				
科目	腐食防食学	3後		1			1				
		3後		1		١.	'				
	セラミックス材料工学 プログラミング演習		2	'		1					
	プログラミング演官 機器製作実習	2前	1			1	1				
	機械設計製図演習	2削	1			1	'		1		
						4	,				
	物質材料工学実験・基礎編	3前3後	1				7		1		
	物質材料工学実験・応用編		2			4	′		1		
	産業応用演習	3後	2			1	7		1		
	物質材料工学演習	4前				4			1		
	卒業研究	4通	10	15	_	4	7	_	1	_	
_	小計(31科目)	Ė	37	15	0	4	7	0	1	0	0
台	計(466科目)	-	50	466	0	11	15	0	8	0	兼491

卒業要件及び履修方法

①教養教育科目34単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目21単位を修得すること。

②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、

のようの専門教育ノログラムのうから選択した教育ノログラムで開議されている科目の中から、
[応用生命化学教育プログラム》に
成用生命化学教育プログラム、
した、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラム専門科目の必修科目と合わせて73
単位以上、①との合計で128単位以上、ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73
中位以上、①との合計で128単位以上、ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目の選択科目と当該める
[応用物質化学教育プログラムを門科目の選択科目として認める
[応用物質化学教育プログラムを門科目の選択科目として認める
[応用物質化学教育プログラムを開発目として認める
[応用物質化学教育プログラムを開発目として認める
[応用物質化学教育プログラムを開発目として認める
[応用物質化学教育プログラムを開発目と地では、およびCOC開連科目、学科基盤科目、当該教育プログラムを開発目として応用生命化学教育プログラムの専門科目の選択科目ととて応用生命化学教育プログラムの専門科目の選択科目との必修科目37単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラム専門科目の必修科目31単位と、7学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目とのとのにのCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上

		蹈	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
-//		次	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼担
応	化学実験 V	3(3)	4				1		2		
用	電気化学	3(2)	2				2				
物質	分離工学	<b>3</b> ①	2			1					
化学	高分子物理化学	24	2			1					
教	有機分子構造化学	23		2		1					
育プ	環境ISO	3(3)		1			1				
	化学物質管理学	2①		1							兼1
グラ	応用物質化学	<b>3</b> ①		1							兼1
4	応用生命化学	32		1							兼1
専門	化学コミュニケーション	43		1		9	8		6		
科	卒業研究	4通	10			9	8		6		
	小計(21科目)	-	48	7	0	9	8	0	6	0	兼2
	格子欠陥学	23	2			1					
	結晶塑性学	24	2			1					
	物性物理学	23	2				-1				
	固体物性学	24	2			1					
	固体内の拡散	23	2				1				
	相変態論	24	2			-1					
	材料物理化学	2①	2			1					
	材料電気化学	24	2			1					
	破壞工学	<b>3</b> ①		1		1					
	塑性加工学	33		1			1				
66	電子材料工学	32		1			1				
材	機能材料学	3④		1		1					
41	磁性材料工学Ⅰ	<b>3</b> ①		1		1					
学	磁性材料工学 Ⅱ	3②		1		1					
	粉体加工学 I	33		1		1					
フ	粉体加工学Ⅱ	3④		1		1					
グ	鉄鋼材料学	<b>3</b> ①		1		1	١.				
ラ	非鉄金属学	33		1			1				
retor	凝固工学	33		1			1				
門	鉄鋼製鍊工学 非鉄製鍊工学	3① 3②		1			1				
	非跌裂課工字 腐食防食学	3 <b>②</b> 3 <b>④</b>		'		1	'				
	脳良い良子 セラミックス材料工学	3(3)		1		1					
	ゼフミック人材料工学 プログラミング演習	2①	2	'		1					
	機器製作実習	2前	1			1			1		
	機械設計製図演習	2後	1			•			1		
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1			6	6		2		
	物質材料工学実験,応用編	3後	2			6	6		2		
	初貝材料エ子夫駅・心用編 産業応用演習	3(3)	2			1	1		_		
	物質材料工学演習	40	2			6	6		2		
	卒業研究	4通	10			6	6		2		
I	小計(31科目)	-	37	15	0	7	6	0	2	0	0
	計(676科目)		52	741	0	16	15	0	8	0	兼423
		1 1	02	/ 4 1	•	10	10	•	U		AK-120

卒業要件及び履修方法

①教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤 科目の必修科目23単位を修得すること。

さらに、
②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から。
【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目48 単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、および60の関連科目。学科基盤科目・当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で122単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目の選択科目とと「2800名【応用物質化学教育プログラム専門科目の選択科目と「2800名【応用物質化学教育プログラム専門科目の選択科目と「2800名【応用物質化学教育プログラム専門科目の選択科目と「2800名【応用物質化学教育プログラム専門科目の選択科目と「2800名【応力34位以上、①との合計で122単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で122単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で124単位以上を教育プログラム専門科目の必修科目37単位、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラム専門科目の選択科目18単位、および600関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム・専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上

### 【令和元年度】

			-	M 12 "	4-	-	1- 40		σ==		#	【令和元年度】	-	т -	PK 1-1 "	4-	-	- I LI	= ~	Φ.T.	<u></u> 1	#
科目	授業科目の名称	配当		単位数	数 自	教	任教 准	員等	の配助	直助	任	科目 授業科目の	配 夕在 当		単位数		教		員等講	の配動		任
区分	授業科目の名称	年次	必		н		教				兼	区分 授条件目 0.	<sup>名</sup> 年 次	必		自		准教			助	兼
	文系のための数学入門(A)		修	択	由	授	授	師	教	手	担	文系のための数学入門		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	文系のための数学入門(C)	1·2後 2使		2			1				兼1	文系のための数字		ž.	2							兼1 兼1
				-							Ι	数学の世界(A)	1.21		2							<b>兼</b> 1
	数学の世界(a)	1-22		1			1					数学の世界(a)(5	<b>・開講)</b> 1・20	þ	1							兼1
	数学の世界(b)	1-20-0		1							兼1	数学の世界(b)	1-20-	•	1							兼1
	物理学入門(A)(未開講)	1・2後		2							兼2	物理学入門(A)(:	<b>ト開講)</b> 1·2後	È	2			2				
	物理学入門(B)	1-2①		2							<b>兼</b> 1	物理学入門(B)	1.20	Þ	2			1				
	物理学入門(a) 物理学入門(b)	1 - 2(3)		1							兼1	物理学入門(a) 物理学入門(b)	1-20	D	1							兼1
	物理学入門(c)	1-24		1							兼1	物理学入門(c)	1.20	, 0	1							兼1 兼1
	物理学入門(d)	1-24		1							兼1	物理学入門(d)	1.20		1							兼1
	物理学入門(e)	1-23		1							兼1	物理学入門(e)	1.20	D	1							兼1
	物理学入門(f)	1-20-@		1							兼1	物理学入門(f)	1-20-	•	1							兼1
	物理学入門(g)	1-2 <b>①</b>		1							兼1	物理学入門(g)	1-20	D	1							兼1
	物理学入門(h)	1-22		1							兼1	物理学入門(h)	1.20	D	1							兼1
	物理学入門(i)(未開講)	1・2後		1							兼1	物理学入門(i)(オ		È	1							兼1
	物理学入門(j)	1-24		1							兼1	物理学入門(j)	1.20	D	1							兼1
	教養の化学(A) 教養の化学(B)	1・2前		2							兼1	教養の化学(A) 教養の化学(B)	1·2前 1·20		2							兼1
	教養の化学(a)	1-2① 1-2①		1							兼1	教養の化学(a)(5			1							兼1
	教養の化学(b)	1-22		1							兼1	参養の化学(b)(5			1							兼1
											,,,,,	教養の化学(c)	1.20		1							<b>兼</b> 1
I												参養の化学(d)	1-20	D	1							兼1
I	生物の世界(A)	1・2後		2							兼1	生物の世界(A)	1 · 2∄	È	2							兼1
I	生物の世界(B)	1-23		2							兼1	生物の世界(B)	1-20	D	2							兼1
I	生物の世界(C)	1・2後		2							兼1	生物の世界(C)	1 ⋅ 2∯	È	2							兼1
	生物の世界(D)	1-23		2							<b>兼</b> 1	生物の世界(D)	1-20	D	2							<b>兼</b> 1
I	生物の世界(a)	1-2②		1							兼1	生物の世界(a)	1-20	2	1							兼1
I	生物の世界(b) 生物の世界(c)	1-23		1							兼1	生物の世界(b) 生物の世界(c)	1-20		1							兼1
	生物の世界(d)	1-2©		' '							兼1	生物の世界(d)	1-20		1							兼1
	生物の世界(e)	1-2(2)		1							兼1	生物の世界(e)	1.20		1							兼1
	生物の世界(f)	1 · 2 ①		1							兼1	生物の世界(f)	1.20	D	1							兼1
	生物の世界(g)	1-22		1							兼1	生物の世界(g)	1.20	b	1							兼1
IJ	生物の世界(h)	1-23		1							#1	リ 生物の世界(h)	1-20	D	1							<b>兼</b> 1
ベラ	地球環境の現状と人類(A)(未開講)	1・2前		2							兼1	ペ ラ 地球環境の親伏と人間	(A)(未開除) 1·2前	ij	2							兼1
ル ア	地球環境の現状と人類(a)	1-2①		1							<b>兼</b> 1	ル 地球環境の現状	と人類(a) 1・2(	D	1							兼1
- 1	地球環境の現状と人類(b)	1-2②		1							兼1	地球環境の現状		Þ	1							兼1
ツ 科	持続可能な都市と地域づくり(A)	1・2前		2							兼1	ツ 持続可能な都市と地 科		1	2							兼1
目	持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2後		2							兼4	持続可能な都市と地			2							兼1
	豊かさを持続させるものづくり(A) 豊かさを持続させるものづくり(B)	1-2© 1-2①		2							兼1	豊かさを持続させるも 豊かさを持続させるも			2							兼1
	豊かさを持続させるものづくり(C)	1-2(3)		2							兼1	豊かさを持続させるも			2							兼1 兼1
	日々の生活に垣間見る情報と通信(A)	1-2(2)		2							±1	日々の生活に埋間見る		5	2							#1
	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1-20		2							·····	日々の生活に埋間見る	1 7		2							<b>兼1</b>
	倫理学入門(A)	1・2後		2							兼1	倫理学入門(A)	1 ⋅ 2 🛱	ė	2							兼1
	倫理学入門(B)(未開講)	1・2後		2							兼1	倫理学入門(B)(s	<b> - 開講</b>   1 · 2後	È	2							兼1
	倫理学入門(C)	1・2後		2							₩1	倫理学入門(O)(S	<b>卡開講) 1・2名</b>	Ł	2							兼1
												倫理学入門(D)	1 - 28	Ł	2							兼1
												倫理学入門(E)	1.28	1	2							兼1
	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	1-22		1							兼1	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	1.20		1							兼1
	倫理学入門(c)	1-2 <b>④</b> 1-2 <b>①</b>		1							兼1 兼1	倫理学入門(o)(5	1・20		1							兼1 兼1
	倫理学入門(d)	1-2@		1							兼1	倫理学入門(d)(5			1							兼1
I	倫理学入門(e)	1-20		1							兼1	倫理学入門(e)(5			1							兼1
	倫理学入門(f)	1-22		1							兼1	会理学入門(f)(s)			1							兼1
I	倫理学入門(g)	1-2①		1							₩1	倫理学入門(g)(5	<b>・開講) 1・2</b> 0	D	1							<b>兼</b> 1
I	倫理学入門(h)	1-2②		1							兼1	倫理学入門(h)(s	<b>・開講) 1・2</b> 0	D	1							兼1
												倫理学入門(i)	1-20		1							兼1
I	A 1.11.11/11			1							ا ـــا	会理学入門(j)	1-20		1							兼1
	心と世界(A)	1・2後		2							<b>兼</b> 1	心と世界(A) 心と世界(B)(未)	1.28		2							<b>兼1</b>
I	心と世界(B)(未開講) 思考と論理(A)	1・2前		2							兼1 兼1	心と世界(B)(未 思考と論理(A)	1・2前		2							兼1 兼1
	思考と論理(B)(未開講)	1・2後		2							兼1	思考と論理(B)(5			2 2							兼1
	現代心理行動学(a)(未開講)	1・2前		1							兼1	現代心理行動学(			1							兼1
	現代心理行動学(b)(未開講)	1・2後		1							兼1	現代心理行動学(			1							兼1
	現代心理行動学(o)	1-24		1							₩1	現代心理行動学(o			1							兼1
	現代心理行動学(d)	1-23		1							#1	現代心理行動学(d	(未開請) 1・20	D	1							兼1
	現代心理行動学(e)	1-20-6		1			1					現代心理行動学			1							<b>兼</b> 1
												現代心理行動学			1							兼1
	こころの科学(A)	1・2後		2							兼1	こころの科学(A)	1・2後		2							兼1
	芸術文化論(A)	1-2前		2							兼1	芸術文化論(A)	1-21	1	2							兼1
	芸術文化論(B)	1・2後		2							<b>兼</b> 1	芸術文化論(B)	1-28		2							<b>兼</b> 1
	言語の諸相(a) 言語の諸相(b)	1-2①		1							兼1	言語の諸相(a) 言語の縁相(b)	1-20		1							兼1
	言語の諸相(b) 言語の諸相(c)	1-2②		1							兼1	言語の諸相(b) 言語の諸相(c)	1-20		1							兼1
	言語の語相(c) 言語の諸相(d)	1·2③ 1·2④		1							兼1	言語の語相(d)	1-20		1							兼1 兼1
	支学の諸相(a)	1-23		1							兼1	文学の諸相(a)	1-20		1							兼1
	文学の諸相(b)	1-24		1							兼1	文学の諸相(b)	1-20		1							兼1
	文学の諸相(c)(未開講)	1・2前		1							兼1	文学の諸相(c)	1-20		1							兼1
	文学の諸相(d)(未開講)	1・2前		1							兼1	文学の諸相(d)	1-20		1							兼1
I	モノが語る歴史(a)(未開講)	1・2前		1							兼1	モノが語る歴史(a)	(未開業) 1・2前	Ī	1							兼1
	モノが語る歴史(b)(未開講)	1・2前		1							兼1	モノが語る歴史(b)	(未開講) 1・2前	ij	1							兼1
1	モノが語る歴史(c)(未開講)	1・2後		1							兼1	モノが語る歴史(c)	(未開課) 1・2位	È	1							兼1

Marie			配	į	単位数	枚	車	任教	員等	の配	置	兼			配	į	単位数	汝	車	任教	員等	の配	置	兼
March   Marc		授業科目の名称	当			_	_	准				任・		授業科目の名称	当					准				任・
1			次	修	択	由	授		師	教	手				次	修	択	由	授		師	教	手	兼担
**************************************					1												1							兼1
Mathematical   Math					1 -																			
報告のできない 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		モノが語る歴史(f)	1-24		1							栗1			_									
MACHE   Mach		地域の世界中(*)	1.00														_							
Manufacture																								
Macro   Macr																								
### 15 - 1			1・2前		1										_		1							
Miles   Mile		地域の世界史(e)	1-2①		1							兼1		地域の世界史(e)(未開講)	1-2①		1							兼1
### 400 日本のの学生 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		地域の世界史(f)(未開講)	1・2後		1							兼1		地域の世界史(f)(未開講)	1・2後		1							兼1
本語の意思的		地域の世界史(g)	1-2①		1							兼1		地域の世界史(g)(未開講)	1.2①		1							兼1
日本日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本		地域の世界史(h)(未開講)	1・2前		1							兼1		地域の世界史(h)(未開講)	1・2前		1							兼1
中国の企画を受けられる   1   1   1   2   2   3   3   3   3   4   3   3   4   3   4   4			1-2②		1							兼1			1.2②		1							兼1
中国の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の					1										-		1							
日本社会の歴史の 95 1 2 2 2 3 3 2 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3			0		1										-		1							
田田地の自然的の 150 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			_												-									
### 2000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_												_									#1
### 20-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-0					1										_									#1 #1
立つらからいた。 1989			_		1										-									
### 240 万田(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																								
##0の最初の 1-12 2 2 2 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 3 4																								
##O-MEMON 1-19 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1																								兼1
### 2000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		法学の基礎(E)			2										1・2前									兼1
### (1-19		法学の基礎(F)	1-2前		2							#1		法学の基礎(F)(未開講)	1・2前		2							兼1
														法学の基礎(G)	1・2前		2							兼1
### (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ラ	現代経済問題の諸相(a)(未開講)	1・2前		1							兼1	ラ	現代経済問題の諸相(a)(未開講)	1・2前		1							兼1
日	ル												ル	現代政治の髂相(A)	1・2後		2							兼1
	- 1				1								1				1							兼1
おけれるの目的にの 1-02 1 2 2 2 2 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	科				1							兼2	科				1							兼1
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	目												目											<b>兼</b> 1
無理的の場合とないます。 1-20 2 2 2 2 2 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4			_		'																			₩1
無理の社会なども対し、1-2世 2			_		1										_									兼1
			_		1										_									<b>第</b> 1
無限的の対象が必要があった。																								#1 #4
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					l -												_							
無限の社会文化研究の 1-25 1 2 2 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 3 3 4 3 4 3 4 3					1										_									
無限の社会文化研究の 1-20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1																			
無限的社主文化研究の 1-20 1 1					1										_		1							
展別総の社会文化研究が、1-20 1 1		最前線の社会文化研究(e)	1-23		1							兼1		最前線の社会文化研究(a)(未開闢)	1 - 2(3)		1							兼1
無限の企会大足型が必要的 1-2回 1 日		最前線の社会文化研究(f)	1-24		1									最前線の社会文化研究(が(未開講)	1 - 24		1							
無限性性命の経験(の 1-20 1 1 2 2 2 3 1 2 2 3 1 2 3 2 2 3 1 2 3 2 2 3 1 3 2 2 3 2 3		最前線の社会文化研究(g)	1-2 <b>①</b>		1							兼1		最前額の社会文化研究(4)(未開課)	1-2①		1							兼1
展代社会の解析(a) 1-33 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1		最前線の社会文化研究(h)(未開講)	1・2前		1							兼1		最前額の社会文化研究(h)(未開請)	1・2前		1							兼1
無け社会の解除的 1・25														最前線の社会文化研究(i)	1-2①		1							兼1
照代社会の解除の   1-2位   1														最前線の社会文化研究(j)	1.2②		1							兼1
照代社会の解読の) 1・20 1 2 2 3 1 2 2 3 1 3 2 3 1 3 3 2 3 1 3 3 3 3														最前線の社会文化研究(k)	1 - 23		1							兼1
照代社会の解談() 1-20 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2		現代社会の解読(a)	1-23		1							兼1			1 · 2(3)		1							兼1
現代社会の解除の 1-20 1					1										_		1							
無代社会の解除() 1・26 1 日本															_									
開発性金の機能(の無限の) 1-26 1 1 1-25															_									
日本に人用の地理学の(1余別素)     日本に人用の地理学の(12名表)     日本に人用の地学の(12名表)     日本に人用のは、人用のは、人用のは、人用のは		現代社会の解読(e)	1-24		1							₩1												
自然と人間の地理学の(1条類が)   1-2部   2   第1   第1   第2   第2   第2   第2   第2															_									
自然と人間の地理学の(1年間別 ) 1-2前 2															_			ĺ						
日本の   日本		自然と人間の地理学(A)(未開達)	1・2前		2							#1			_									
自然と人間の地理学の( 中間的																								
自然と人間の地理学(a) 1・2〇 1 1																								
自然と人間の地理学(a)   1-20   1   1   2   2   1   2   2   1   2   2					1									自然と人間の地理学(a)				ĺ						兼1
一		自然と人間の地理学(b)			1										1.22		1							兼1
		自然と人間の地理学(o)	1-2①		1							#1		自然と人間の地理学(。)(未開講)	1-2①		1							兼1
小計(128科目)														自然と人間の地理学(d)	1 - 24		1							兼1
小計 (129科目)														自然と人間の地理学(e)	1-24		1	ĺ						兼1
数字と文化(a) (未開課) 1・2前 1 ま1 ま1 ま1 数字と文化(a) (未開課) 1・2前 1 ま1 ま1 ま1 数字と文化(b) (未開課) 1・2前 1 ま1 ま1 数字と文化(b) (未開課) 1・2前 1 ま1 数字と文化(c) 1・2〇 1 1 数目 数字と文化(c) 1・2〇 1 1 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 1 数目 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 1 1 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 1 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 1 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 1 1 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 2 1 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 2 2 1 1 数目 数目 数字と文化(c) 1・2〇 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 3 2 3 3 3 3 3																								-
数学と文化(s) (未開課) 1-2前 1				0		0	0	3	0	0	0	_				0		0	0	2	0	0	0	
数学と文化(a) 1・2の 1 1 第1 第1 第2 数学と文化(b) 1・2の 1 1 第1 第2 数学と文化(c) 1・2の 1 1 第1 第2 数学と文化(d) 1・2の 1 1 第1 第2 数理学の世界(A) 1・2の 2 1 1 第1 第2 数理学の世界(A) 1・2の 1 1 第1 数					1																			
数字と文化(d) 1・2の 1 1 2の 1 2の 2 2 1 1 第1 第1 第2の世界(A) 1・2の 2 1 1 第1 第2の世界(A) 1・2の 1 1 第1 第1 第2の世界(A) 1・2の 1 1 第1 第1 第2の世界(A) 1・2の 1 1 第1 第2の世界(A) 1・2の 1 1 第1 第2の世界(A) 1・2の 1 1 第1 第2の世界(A) 1・2の 2 第2の世界(A) 1・2の 2 第2の世界(B) 2 第2の世界(																								
<ul> <li>物理学の世界(A) 1・2億 2</li> <li>財理学の世界(B) 1・2億 2</li> <li>事らしと化学(B) 4・2億 2</li> <li>事らしと化学(C) 4・月間景) 1・2億 2</li> <li>事らしと化学(C) 4・月間景) 1・2前 1</li> <li>事らしと化学(B) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事にと化学(B) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事にとれ学(B) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事になり(本書) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事になり(B) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事になり(B) 4・月間景) 1・20 1</li> <li>事になり(B) 4・日間景) 1・20 1</li> <li>事になり(</li></ul>																		ĺ						
現代を表			_		1 -																			無1
代	現											_	Đ							1				**
兼	ft												代											
# 日	養												養					ĺ						
暮らしと化学(D)     1-2前     2     素1     春らしと化学(D)(未開酵)     1-2前     2     素1       暮らしと化学(E)     1-2歳     2     素1     春らしと化学(E)(未開酵)     1-2歳     2     素1       暮らしと化学(D)     1-2前     2     素1     春らしと化学(D)     1-2前     2     素1       暮らしと化学(A)(未開酵)     1-2前     1     素1     春らしと化学(A)(未開酵)     1-2前     1     素1       暮らしと化学(A)(未開酵)     1-2前     1     素1     素5しと化学(A)(未開酵)     1-2前     1     素1       暮らしと化学(A)(未開酵)     1-2前     1     素1     素5しと化学(A)(未開酵)     1-20     1     素1       暮らしと化学(A)     1-2〇     1     ま1     素1     ま1     ま1     ま1															_			ĺ						
幕らした化学(D) 1-2数 2 第1 第1 第5した化学(D)(未開講) 1-2数 2 第1 第1 第5した化学(D)(未開講) 1-2数 2 第5した化学(D)(未開講) 1-2前 2 第5した化学(D)(未開講) 1-2前 1 第1 第1 第5した化学(D)(未開講) 1-2前 1 第1 第1 第5した化学(D)(未開講) 1-2前 1 第1 第1 第1 第5した化学(D)(未開講) 1-2页 1 第1	l -		_												_									
幕らしと化学(F)     1-2歳     2       幕らしと化学(Q)     1-2前     2       暮らしと化学(A)(末開講)     1-2前     1       第日と化学(B)(未開講)     1-2前     1       東日と化学(B)(未開講)     1-20     1       東日と化学(B)(未開講)     1-2前     1       東日と化学(B)(																								₩1
幕らしと化学(a) (未開講) 1・2前 1 兼1 幕らしと化学(a) (未開講) 1・2前 1 兼1 幕らしと化学(b) (未開講) 1・2前 1 兼1 幕らしと化学(b) (未開講) 1・2前 1 兼1 幕らしと化学(c) (本開講) 1・2前 1 兼1 幕らしと化学(c) 1・2① 1 兼1 兼1 幕らしと化学(d) 1・2② 1		暮らしと化学(F)	1・2後		2							<b>#</b> 1		夢らしと化学(F)	1・2後		2	ĺ						#1
幕らしと化学(b)(未開講) 1-2前 1 兼1 幕らしと化学(b)(未開講) 1-2前 1 兼1 幕らしと化学(b)(未開講) 1-2前 1 兼1 幕らしと化学(a) 1-2① 1 第1 2② 1		暮らしと化学(Q)	1-2前		2							#1		暮らしと化学(G)	1・2前		2							兼1
番らした化学(a) 1・2① 1 東1 事らした化学(d) 1・2② 1		暮らしと化学(a)(未開講)	1・2前		1							兼1			1・2前		1							兼1
事らし上化学(d) 1·22 1 東1		暮らしと化学(b)(未開講)	1・2前		1							兼1					1							兼1
																	1							兼1
15子に環境(A)(未開課)   1-2後   2		//. AM 1 1988 L 4 / 1 / 4										1			_		1		1					<b>兼</b> 1
	I	1C字と環境(A)(未開講)	1・2後		2							兼1	I	16字と塚境(A)(未開闢)	1・2後		2	l	I			l		兼1

***		配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任	***		頭	j	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	Ä f:
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	3
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	授	師	教	手	ž
	化学と環境(B)(未開講)	1・2前		2							兼1		化学と環境(B)(未開酵)	1・2前		2							#
	化学と環境(C)(未開講) 化学と環境(a)	1・2後		2							兼1		化学と環境(C)(未開講) 化学と環境(a)	1・2後		2							ı k
	化学と環境(b)	1-20-0		1							兼1 兼1		化学と環境(b)	1-20-0		1							3
	16子と球場(B) 最先端の生命科学(A)(未開講)	1・2後		2							兼5		ルチと環境(D) 最先端の生命科学(A)(未開講)	1・2後		2							床
	最先端の生命科学(a)	1-23		1							#£1		最先端の生命科学(a)	1.23		1							, AI
	最先端の生命科学(b)	1-2@		1							#1		最先端の生命科学(b)	1.240		1							1
	最先端の生命科学(c)	1-23		1							兼2		最先端の生命科学(c)	1.2(3)		1							
	最先端の生命科学(d)	1-22		1							兼1		最先端の生命科学(d)	1.23		1							#
	最先端の生命科学(e)	1-2(2)		1							<b>₩2</b>		最先端の生命科学(e)	1.2(2)		1							#
	最先端の生命科学(f)	1-22		1							兼1		最先端の生命科学(f)(未開講)	1.22		1							
	地球環境科学の最前線(A)	1-22		2							兼1		地球環境科学の最前線(A)	1.22		2							兼
	地球環境科学の最前線(a)	1-23		1							兼1		地球環境科学の最前線(a)	1.23		1							兼
	地球環境科学の最前線(b)	1-24		1							兼1		地球環境科学の最前線(b)	1.24		1							兼
	地球環境科学の最前線(c)	1-23		1							兼2		地球環境科学の最前線(c)	1.23		1							
	地球環境科学の最前線(d)	1-24		1							兼2		地球環境科学の最前線(d)	1 - 24		1							
	地球環境科学の最前線(e)	1-23		1							兼1		地球環境科学の最前線(e)	1 - 2(3)		1							Ħ
	地球環境科学の最前線(f)	1-24		1							兼1		地球環境科学の最前線(f)	1-24		1							兼
	地球環境科学の最前線(g)	1-2①		1							兼4		地球環境科学の最前線(g)	1.22		1							
	地球環境科学の最前線(h)	1-2(2)		1							₩4		地球環境哲学の最前値(h)(未開請)	1.2(2)		1							
	地域づくりと科学技術(A)	1-2(2)		2							₩5		地域づくりと科学技術(A)	1.2(2)		2							
	地域づくりと科学技術(B)	1-2①		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼6		地域づくりと科学技術(B)(未開議)	1.2①		2							
	地域づくりと科学技術(C)	1・2後		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		地域づくりと科学技術(C)	1.2後		2							
	地域づくりと科学技術(D)	1-23		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		地域づくりと科学技術(D)	1.23		2							
	地域づくりと科学技術(E)	1-22		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		地域づくりと科学技術(E)	1.22		2							
	地域づくりと科学技術(F)	1・2前		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼9		地域づくりと科学技術(F)	1・2前		2							
	ものづくりの科学と技術(A)	1-2①		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		ものづくりの科学と技術(A)	1.2①		2							Ħ
	ものづくりの科学と技術(B)	1-22		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		ものづくりの科学と技術(B)	1.2①		2							#
	ものづくりの科学と技術(C)	1-22		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		ものづくりの科学と技術(C)	1.22		2							#
	ものづくりの科学と技術(D)		Ì	2			l	Ì	l	l	兼2		ものづくりの科学と技術(D)	1.22		2	l		1				
	ものづくりの科学と技術(E)	1-22		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼2		ものづくりの科学と技術(E)	1.22		2			1				
	ものづくりの科学と技術(F)	1-23		2							兼2		ものづくりの科学と技術(F)	1.23		2		1					
	ものづくりの科学と技術(G)	1-2(2)		2							<b>#</b> 3		ものづくりの科学と技術(G)	1.2(2)		2		1					
	ものづくりの科学と技術(H)	1-23		2							#6		ものづくりの科学と技術(H)	1.23		2		1					
	暮らしと情報・通信技術(a)	1-2(3)		1							兼7		暮らしと情報・通信技術(a)	1 · 2(3)		1							Ħ
現	暮らしと情報・通信技術(b)	1-240		1							#6	現	暮らしと情報・通信技術(b)	1 · 2(4)		1							#
代 教	暮らしと情報・通信技術(c)	1-23		1							#4	代教	暮らしと情報・通信技術(c)	1.23		1							1 #
養	健康の科学(A)(未開講)	1・2前		2							兼1	養	健康の科学(A)(未開講)	1・2前		2							#
科目	健康の科学(B)	1・2後		2							#7	科目	健康の科学(B)	1.2後		2							1
	健康の科学(C)	1-24		2							兼7		健康の科学(C)(未開講)	1.28		2							1
				-							-		健康の科学(D)	1.28		2							1
	健康の科学(a)	1-2①		1							兼1		健康の科学(a)	1.2①		1							#
	健康の科学(b)	1 - 2(2)		1							兼1		健康の科学(b)	1.22		1							#
	病気の医科学(A)(未開講)	1-2前		2							兼10		病気の医科学(A)	1・2前		2							
	病気の医科学(B)	1・2後		2							兼1		病気の医科学(B)(未開講)	1 · 2後		2							1 3
	病気の医科学(C)	1-24		2							<b>±</b> 1		病気の医科学(C)(未開講)	1.2		2							
	臨床医学の最前線(A)(未開講)	1・2前		2							兼1		臨床医学の最前線(A)	1・2後		2							Ħ
	臨床医学の最前線(B)	1-28		,							<b>#1</b>		臨床医学の最前線(B)(未開講)	1.28		,							1
	現代社会と医学(A)	1・2後		2							兼1		現代社会と医学(A)	1・2後		2							7
	現代社会と医学(B)	1・2前		2							兼6		現代社会と医学(B)	1・2前		2							
	現代社会と医学(C)	1・2機		2							兼1		現代社会と医学(0)(未開講)	1・2後		2							L
	心身の健康と看護(A)(未開講)	1・2前		2							兼2		心身の健康と看護(A)	1.2①		2							L
	心身の健康と看護(B)(未開講)	1-2前		2							兼2		心身の健康と看護(B)(未開講)	1・2前		2							1
	心身の健康と看護(C)(未開講)	1・2後		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		心身の健康と看護(C)(未開講)	1・2後		2							3
	心身の健康と看護(D)	1-20		2			ĺ		ĺ	ĺ	<b>#2</b>		心身の健康と看護(D)(未開酵)	1.20		2							I
	心身の健康と看護(E)	1-2前		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼2		心身の健康と看護(E)(未開講)	1.210		2							ľ
		100		-			ĺ		ĺ	ĺ			心身の健康と看護(F)	1・2前		2							ľ
	医療における理工学(a)	1-2①		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		医療における理工学(a)	1.23		1							3
	医療における理工学(b)	1-22		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		医療における理工学(b)	1.2(2)		1							L
	医療における理工学(c)	1-23		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		医療における理工学(c)	1.23		1							
	医療における理工学(d)	1-24		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		医療における理工学(d)	1.24		1							
	医療における理工学(e)	1-24		1			ĺ		ĺ	ĺ	<b>#</b> 3		医療における理工学(e)(未開講)	1.24		1							L
	現代の医学検査(a)	1-20		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代の医学検査(a)	1.20		1							3
	現代の医学検査(b)	1-2(2)		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼2		現代の医学検査(b)	1.22		1							L
	現代医療と生命科学(a)	1-22		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代医療と生命科学(a)	1.22		'							ľ
	現代医療と生命科学(b)	1-2(2)		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代医療と生命科学(b)	1.22		1							L
	現代医療と生命科学(0)	1-24		1			ĺ		ĺ	ĺ	<b>₩2</b>		現代医療と生命科学(の)(未開講)	1.24		1							L
	薬科学入門(A)	1-2@		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼6		薬科学入門(A)	1.22		2							ľ
	薬科学入門(B)(未開講)	1・2前		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼7		薬科学入門(B)	1・2前		2							I.
	業科学入門(a)	1-2(D)		1			ĺ		ĺ	ĺ	来/ 兼1		業科学入門(a)(未開講)	1·2(D)		1							
	業科学入門(b)	1-2(2)					ĺ		ĺ	ĺ	兼1		業科学入門(b)(未開講)	1.20		1							1
	現代社会と薬学(A)(未開講)	1・2前		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼5		現代社会と薬学(A)	1・2前		2							1
	現代社会と条子(A)(未開講) 現代教育について考える(A)						l		ĺ	ĺ			現代教育について考える(A)			2							ı
				2			l		ĺ	ĺ	兼1		現代教育について考える(B)(未開館)	1・2前		2							
	現代教育について考える(B)(未開講) 現代教育について考える(C)(本開講)						ĺ		ĺ	ĺ	兼4 <del></del>		現代教育について考える(0)(未開講)										
	現代教育について考える(C)(未開講) 現代教育について考える(D)			2			ĺ		ĺ	ĺ	兼3			1.2後		2							1
	現代教育について考える(D)			2			ĺ		ĺ	ĺ	兼3		現代教育について考える(D)	1・2前		2							1
	現代教育について考える(E)	1・2後		2			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代教育について考える(E)	1・2前		2							
	現代教育について考える(a)	_		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代教育について考える(a)	1.24		1							1
	現代教育について考える(b)	1-24		1			ĺ		ĺ	ĺ	兼1		現代教育について考える(6)(未開講)	1.24		1							Ľ
	現代教育について考える(6)			1			l		ĺ	ĺ	兼3		現代教育について考える(o)	1 · 2 ③		1							13
		1 - 2(4)	ì	1	1		l	1	l	l	兼3		現代教育について考える(d)	1 · 24	Ī	1	1					l	3
	現代教育について考える(d)	0											man and Atlanta and a second and a second										1
	連代被背について考える(d) 心理学の探求(A)	1 • 24		2							兼1		現代教育について考える(e) 心理学の探求(A)	1·2個 1·2前		1 2							

F		配	į	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	* =		配	j	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	芸術への招待(A) 芸術への招待(B)	1・2前		2							<b>兼</b> 1		芸術への招待(A) 芸術への招待(B)	1・2前		2							兼1
	芸術への招待(B) 芸術への招待(C)	1・2後		2							兼4 兼1		芸術への招待(B) 芸術への招待(C)	1・2後		2							<b>兼1</b> 兼1
	現代と言語(a)	1.23									兼1		現代と言語(a)	1.2(2)		1							兼1
	現代と言語(b)	1-24		1							兼1		現代と言語(b)	1.24		1							兼1
	現代と文学(a)	1-20-0		1							兼1		現代と文学(a)	1-200-00		1							兼1
	現代と文学(c)(未開講)	1・2前		1							兼1		現代と文学(o)(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代と文学(d)(未開講)	1・2前		1							兼1		現代と文学(d)(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代と文学(e)	1-2①		1							<b>#</b> 1		現代と文学(e)(未開講)	1-2①		1							<b>#</b> 1
	現代と文学(f)	1-2(2)		1							兼1		現代と文学(f)(未開講)	1.2(2)		1							兼1
	現代世界の形成と課題(a)	1-24		1							兼1		現代世界の形成と課題(a)	1.22		1							兼1
	現代世界の形成と課題(b)	1-23		1							兼5		現代世界の形成と課題(b)	1.23		1							兼1
	現代世界の形成と課題(o)	1-24		1							兼1		現代世界の多成と課題(6)(未開請)	1-24		1							兼1
現												現	現代世界の形成と課題(d)	1-2①		1							兼1
代												代	現代世界の形成と課題(e)	1 - 24		1							兼1
教養												教養	現代世界の形成と課題(f)	1.23		1							兼1
料												科	現代世界の形成と課題(g)	1 - 24		1							兼1
目	暮らしの中の憲法	2前-後		2							<b>∰</b> 3	目	暮らしの中の憲法	2前・後		2							兼5
	最先端の法学(A)(未開講)	1・2前		2							兼1		最先端の法学(A)(未開講)	1・2前		2							兼1
													最先端の法学(B)	1・2後		2							兼1
	現代社会と経済(A)	1-2後		2							<b>兼</b> 1		現代社会と経済(A)	1・2後		2							兼1
Ī													現代社会と経済(B)	1・2後		2			İ				兼1
Ī	現代社会と経済(a)	1-23		1							兼1		現代社会と経済(a)(未開講)	1 - 23		1			İ				#1
Ī	現代社会と経済(b)	1-24		1							兼1		現代社会と経済(b)(未開講)	1 · 24		1			l				兼1
Ī	現代社会と経済(c)(未開講)	1・2前		1							兼1		現代社会と経済(0)(未開講)	1・2前		1			İ				兼1
Ī	現代社会と経済(d)(未開講)	1・2後		1							兼1		現代社会と経済(d)(未開講)	1・2後		1			l				兼1
Ī	現代社会と経済(e)(未開講)	1・2後		1							兼1		現代社会と経済(e)(未開騰)	1・2後		1			l				兼1
Ī	現代の政治(a)	1-23		1							<b>兼</b> 1		現代の政治(a)(未開講)	1-23		1			İ				兼1
	現代の政治(b)	1-2②		1							兼1		現代の政治(b)(未開講)	1.22		1							兼1
													現代の政治(6)	1.23		1							兼1
	学際科目1	1-280-80		1							兼2		学際科目1(未開講)	1-298-96		1							兼2
	学際科目2	1-2②		1							兼1		学際科目2(未開講)	1.22		1							兼1
	学際科目3	1-23		1							兼2		学際科目3	1 · 2 ③		1							兼1
													学際科目4	1 · 2 ③		1							兼1
	日本事情(C)(未開講)	1・2前		2							兼5		日本事情(G)(未開講)	1・2前		2							兼5
	日本事情(D)(未開講)	1・2後		2							兼4		日本事情(D)(未開講)	1・2後		2							兼4
	小計(125科目)	-	0	186	0	0	0	0	0	0	兼130		小計(139科目)	-	0	203	0	3	2	0	0	0	兼130
	Introduction to Science and Technology I (a)(未完成)	1・2前		1							兼1		Introduction to Delenes and Yoshnology I (a)(19888)	1・2前		1							兼1
	introduction to Science and Technology I (b)	1-23		1							兼1		Introduction to Science and Technology I (b)	1.23		1							兼1
	introduction to Science and Technology I (a)	1-24		1							兼1		Introduction to Science and Technology I (e)	1 - 24		1							兼1
	introduction to Science and Technology I (d)	1-10-0-0		1							兼1		Introduction to Science and Technology I (d)	1:00-0-0		1		1					
	introduction to Science and Technology I (a)	1-00-0		1							兼1		Introduction to Science and Technology I (a)	10000		1		1					
	Introduction to Science and Technology E(a)(未被講)	1-2前-後		1							兼1		Introduction to Salance and Yoshnology II (n) (\$400)	1-2前-後		1							兼1
	Introduction to Science and Technology E(b)	1-10-0-6		1							兼1		Introduction to Solonco and Tooknology II (b)	1-0000		1		1					
	introduction to Science and Technology E(s)	1-10-0-6		1							兼1		Introduction to Solonco and Toohnology II (a)	140000		1		1					
													Introduction to Solonco and Toohnology II (d)	1 - 23		1		1					
	Socio-Cultural Studies(A)	1-2前-後		2							兼1		Socio-Cultural Studies(A)	1-2前-後		2							兼1
	Socio-Cultural Studies(D)	1-2前-前		2							兼1		Socio-Cultural Studies(D)	1-2前		2							兼1
	Socio-Cultural Studies(b)	1-20-0		1							兼1		Socio-Cultural Studies(b)	1-22-0		1							兼1
	Socio-Cultural Studies(c)	14000		1							兼1		Socio-Cultural Studies(c)	140000		1							兼1
	Socio-Cultural Studies(d)	14000		1							兼1		Socio-Cultural Studies(d)	140000		1							兼1
													Socio-Cultural Studies(e)	1-22-@		1							兼1
М												М	Socio-Cultural Studies(f)	1-20-@		1							兼1
u I												u I	Socio-Cultural Studies(g)	1-22-0		1			İ				兼1
ŧ												t	Socio-Cultural Studies(h)			1			İ				兼1
i d	Statistics(a)	1-2前-後		1							<b>兼</b> 1	i d	Statistics(a)	1-2数-後		1			l				兼1
i	Basic Economics(a)	1-2前-使		1							兼1	i	Basic Economics(a)	1-2第-後		1			l				兼1
С	Basic Economics(b)(未開講)	1・2後		1							兼1	С	Basic Economics(b)(未開業)			1			İ				兼1
i p	Visual Media(A)	1-2前-後		2							兼1	i p	Visual Media(A)	1-2前-後		2			İ				兼1
1	Music and Humanity(a)(未開講)	1・2前		1							兼1	1	Music and Humanity(a)(未開課)	1・2前		1			İ				兼1
i n	World History(a)	1-10-0-0		1							兼1	i n	World History(a)	10000		1			İ				兼1
a r	World History(b)	1-10-0-0		1							兼1	a r	World History(b)			1			İ				兼1
y	World History(c)	1-10-0-6		1							兼1	y	World History(e)(未開講)	1-20-0-0		1			İ				兼1
s	Academic Foundations(a)  Area Studies(a)	1-2前-後		1							<b>兼2</b>	s	Academic Foundations(a)  Area Studies(a)	1-2賞・後		1			l				<b>兼1</b> 並1
t	Area Studies(a)  Area Studies(b)	14000		1							兼1	t	Area Studies(a)  Area Studies(b)	1-20-0		1			l				兼1
u d		1.0**		1							兼1	u d							İ				
i	Area Studies(c)(未開講)	1・2前		1							兼1	i	Area Studies(c)(未開講)	1・2前		1			İ				兼1
e s	Area Studies(d)(未開講)	1・2前		1							兼1	e s	Area Studies(d)(未開講) Area Studies(E)(未開講)	1・2前		1			İ				兼1
Ī	Area Studies(E)(未開講)  Area Studies(e)	1-2前-後		1							兼3 兼1		Area Studies(E)(未開講) Area Studies(e)(未開講)			2			İ				兼3 <b>業1</b>
Ī	Area Studies(e)  Area Studies(f)	1-201-00		1 -									Area Studies(e)(宋明課) Area Studies(f)	1-2数-数		1 -			İ				
Ī	Area Studies(f)  Area Studies(g)	14000		1							兼1		Area Studies(f) Area Studies(g)			1			İ				兼1
Ī	Area Studies(g)  Area Studies(h)			1							兼1 #1		Area Studies(g) Area Studies(h)	,,,,,,,					l				兼1 兼1
	, a ve otugios(II)		l	1						l	兼1	1	Area Studies(h) Area Studies(i)	1-20-0	Ī	1	Ì	1	l	Ì			兼1
Ī	Comprehensive Facility Communication (*)			1							兼1		Comprehensive Fredish Communication (*)	1-20-6		1			İ				#1
Ī	Technical English Communication(a)	1-20-6											Tooknical English Communication(a)(京開館)	1-20-0		1			İ				
Ī	Technical English Communication(a)	1-200-0		1							兼1		Toubriosi English Communication(A)(京同盟)  Toubriosi English Communication(b)(京同盟)	1.20.0		1			İ				兼1
Ī	Technical English Communication(c)(未開度)	1・2(3)		1							兼1		Technical English Communication(A)(京問館)  Technical English Communication(a)(京問館)	1-2(3)		1			İ				兼1 兼1
Ī		1-2前-後									兼1		Technical English Communication (Communication)	1-2初-後					İ				兼1
Ī	Technical English Communication(d)(未開集)  Technical English Communication(s)			1									Technical English Communication(4)(京田田)  Technical English Communication(a)(京田田)			1			İ				
ł		1·2① 1·2前		2							<b>兼1</b>		Technical English Communication (a) (2000)	1.20		2			İ				<b>兼1</b> ※1
											兼1	1		1・2前			Ì		ı	i	i		兼1
	Technical English Communication(E)(未提講) Technical English Communication(f)	1-20-0									<b>#</b> 1		Technical English Communication(f)(金四崎)	1-200-00		1							- 本1
	Technical English Communication(f)	1-20-0		1							兼1 兼1		Technical English Communication(7(本理論)  Technical English Communication(3)(本理論)			1							兼1 兼1
											兼1 兼1		Technical English Communication(()(水田田) Technical English Communication(()(水田田) Technical English Communication(h)	1.20		1 1 1							兼1 兼1

		1	配		単位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼				配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・	科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
\$		Global Career Development(a)	1-10-0-4		1							兼2	8		Global Career Development(a)	1-10-0-0		1							兼1
1		Global Career Development(b)	1-24		1							兼2	4 y		Global Career Development(b)	1.24		1							兼1
	::	小計(43科目) 英語A-1	1前・後	1	47	0	0	0	0	0	0	兼14 兼18	-		小計(49科目) 英語A-1	一 1前·後	0	53	0	1	0	0	0	0	兼1:
		英語A-2	1前・後	1			1	1				兼20			英語A-2	1前・後	1								秦2
		英語B-1	1前・後	1			1	;				兼22			英語B-1	1前・後	1								兼1
		英語B-2	1前・後	1			1	1				兼13			英語B-2	1前・後	1								兼1
		英語0-1	210	1			1					兼18			<b>英語</b> C−1	2前	1								兼1
		英語C-2	2後	1				1				兼18			<b>英語C−2</b>	2後	1								兼1
		英語D-1	210	1								兼4			英語D-1(未開講)	2前	1								₩4
		英語D-2	2後	1								₩4			英語D-2(未開講)	2後	1								兼4
		ドイツ語A-1	1前		1							兼5			ドイツ語A-1	1前		1							兼5
		ドイツ語A-2	1後		1							兼5			ドイツ語A-2	1後		1							兼5
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2	1前		1							兼4			ドイツ語B-1 ドイツ語B-2	1前		1							兼4
		ドイツ語C-1	2前		1							兼4			ドイツ語C-1	2前		1							兼
		ドイツ語C-2	2後		1							兼5			ドイツ語C-2	2後		1							**
		ドイツ語D-1	2前		1							兼1			ドイツ語D-1(未開講)	2前		1							兼
		ドイツ語D-2	2後		1							兼1			ドイツ語D-2(未開講)	2後		1							兼1
		ドイツ語a-1	1前		1							兼2			ドイツ語a-1	1前		1							**
		ドイツ語a-2	1後		1							兼2			ドイツ語a-2	1後		1							兼
		フランス語A-1	1前		1							#3			フランス語A-1	1前		1							*
		フランス語A-2	1後		1							<b>₩</b> 3			フランス語A-2	1後		1							*
		フランス語B-1	1前		1							<b>兼</b> 4			フランス語B-1	110		1							*
		フランス語B-2	1後		1							₩4			フランス語B-2	1後		1							*
		フランス語C-1 フランス語C-2	2前 2後		1							<b>兼</b> 4			フランス語G-1 フランス語G-2	2前		1							*
		フランス語0-2 フランス語D-1	2依		1							<b>兼4</b> 兼1			フランス語D-1(未開講)	2後 2前		1							兼
		フランス語D-2	2後		1							兼1			フランス語D-2(未開業)	2後		1							兼
		フランス語a-1	1前		1							<b>#6</b>			フランス語a-1	1前		1							兼
		フランス語a-2	1後		1							<b>₩</b> 6			フランス語a-2	1後		1							兼
		中国語A-1	1前		1							<b>兼7</b>			中国語A-1	1前		1							*
		中国語A-2	1後		1							<b>業</b> 7			中国語A-2	1後		1							*
		中国語B-1	1100		1							<b>兼7</b>			中国語B-1	1前		-1							*
		中国語B-2	1後		1							<b>兼7</b>			中国語B-2	1後		1							*
		中国語C-1	2前		1							兼4			中国語C-1	2前		1							*
	外	中国語C-2	2後		1							₩4		外	中国語C-2	2後		1							*
基礎	⅓	中国語D-1	2前		1							兼1	基礎	国	中国語D-1(未開講)	2前		1							兼
科目	語科	中国語D-2 中国語a-1	2後		1							兼1	科目	語科	中国語D-2(未開講) 中国語a-1	2後 1前		1							兼
	目	中国語a-2	1後		1							兼2 兼2		目	中国語a-2	1後		1							兼
		コリア語A-1	1前		1							<b>#</b> 4			コリア語A-1	1前		1							*
		コリア語A-2	1後		1							₩4			コリア語A-2	1後		1							*
		コリア語B-1	190		1							<b>₩</b> 3			コリア語B-1	1前		1							*
		コリア語B-2	1後		1							<b>∰</b> 3			コリア語B-2	1後		1							*
		コリア語C-1	2前		1							<b>∰2</b>			コリア語C-1	2前		1							*
		コリア語C-2	2後		1							<b>兼2</b>			コリア語C-2	2後		-1							兼
		コリア語D-1	2前		1							兼1			コリア語D-1(未開講)	2前		1							兼
		コリア語D-2	2後		1							兼1			コリア語D-2(未開講)	2後		1							兼
1		コリア語a-1(未開講)	1前		1							兼1			コリア語a-1(未開講)	1前		1							兼
I		コリア語a-2(未開講) 日本語A-1	1後 1•2前		1							兼1 兼2			コリア語a-2(未開講) 日本語A-1	1後 1·2前		1							兼兼
		日本語A-2	1-2前-後		1							兼3			日本語A-2	1・2前後		1							<b>兼</b>
		日本語B-1	1-2前		1							兼2			日本語B-1	1・2前		1							**
1		日本語B-2	1・2後		1							<b>₩</b> 2			日本語B-2	1・2後		1							*
1		日本語C-1	1-2前		1							兼1			日本語C-1	1・2前		1							兼
		日本語C-2	1-2前-後		1							#3			日本語C-2	1-2前-後		1							*
I		日本語D-1	1・2前		1							<b>∰2</b>			日本語D-1	1・2前		1							*
		日本語D-2	1・2後		1							兼2			日本語D-2	1・2後		1							*
		英語 I −1	1100		1							₩4			英語 I -1	1前		1							*
		英語 I -2	1後		1							兼1			英語 I -2	1後		1							兼
1		英語 II -1(未開講)	2前		1							兼1			英語Ⅱ-1(未開講)	2前		1							兼
I		ドイツ語 I -1 ドイツ語 I -2	1前1後		1							兼2 兼2			ドイツ語 I -1 ドイツ語 I -2	1前		1							兼兼
I		ドイツ語 1-2	2前		1							<b>乗2</b> 兼1			ドイツ語 I-2	2前		1							兼
		ドイツ語 Ⅱ-2	2例		1							兼1			ドイツ語 II -2	2後		1							兼
1		ドイツ語皿-1(未開講)	2前		1							兼1			ドイツ語皿-1(未開講)	2前		1							兼
1		ドイツ語皿-2(未開講)	2後		1							兼1			ドイツ語 Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼
1		フランス語 I-1	110		1							兼2			フランス語 I-1	180		1							*
		フランス語 I -2	1使		1							兼2			フランス語 I -2	1後		1							*
		フランス語 II -1 (未開講)	1・2前		1							兼1			フランス語 II-1(未開講)	1・2前		1							兼1
		フランス語 II −2(未開講)	1・2後		1							兼1			フランス語 II-2(未開講)	1・2後		1							兼1
		フランス語 Ⅲ-1	2前		1	ĺ		ĺ			ĺ	兼1			フランス語 Ⅲ-1	2前		1							兼
1	1	フランス語 皿-2	2義	Ī	1	l		l	Ì	Ì	l	兼1	1		フランス語 Ⅲ-2	2後	l	- 1	l	I					兼

			配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置
科目区分	}	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助
T		中国語 I -1	1前	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 兼2		ī	中国語 I -1	1前	修	択 1	由	授	授	師	教	手 :
		中国語 I −2	1袋		1							兼2			中国語 I -2	1機		1						1
		中国語 II-1(未開講)	2前		1							兼1			中国語 II-1	2前		1						3
		中国語 II-2(未開講)	2後		1							兼1			中国語Ⅱ-2	2後		1						#
		中国語皿-1(未開講)	2前		1							兼1			中国語亚-1(未開講)	2前		1						¥
		中国語Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼1			中国語並-2(未開講)	2後		1						#
		コリア語 I -1 コリア語 I -2	1前 1後		1							兼2			コリア語 I -1 コリア語 I -2	1前		1						3
		コリア語 II-1	2前		1							兼1			コリア語 エー1	2前		1						3
		コリア語 Ⅱ-2	2後		1							兼1			コリア語 I-2	2後		1						3
		コリア語Ⅲ-1(未開講)	2前		1							兼1			コリア語 II-1 (未開業)	2前		1						3
		コリア語Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼1			コリア語Ⅲ-2(未開講)	2後		1						3
		ロシア語 I-1													ロシア語 I -1									
			1前		ļ '							兼1				1前		1						
		ロシア語 I -2	1後		1							兼1			ロシア語 I -2	1後		1						3
		ロシア語 II-1(未開講)	2前		1							兼1			ロシア語 II-1(未開講)	2前		1						3
		ロシア語 II-2(未開講)	2後		1							兼1			ロシア語 II-2(未開講)	2後		1						#
		スペイン器 I-1	1107		1							₩1			スペイン語 I-1	1100		1						1
	外国	スペイン語 I -2	1後		1							<b>兼</b> 1		外国	スペイン語 I -2	1後		1						4
	語科	スペイン語 Ⅱ -1	2前		1							兼1		語科	スペイン語 Ⅱ −1	2前		1						3
	目	スペイン語Ⅱ-2	2後		1							兼1		目	スペイン語 Ⅱ-2	2後		1						3
		イタリア語 I -1	1前		1							兼1			イタリア語 I -1	1前		1						
		イタリア語 I -2	1後		1							兼1			イタリア語 I -2	1後		1						3
		ラテン語 I -1	190		1							兼1			ラテン語 I -1	1100		1						1
		ラテン語 I -2	1義		1							兼1			<del>ラテ</del> ン語 I -2	1数		1						1
<b>选</b>													基礎		ヘプライ語 I-1	180		1						3
4													科		ヘプライ語 I -2	1後		1						3
3		日本語 I-1(未開講)	2前		1							兼1	目		日本語 I -1(未開講)	2前		1						3
		日本語 I -2	1-288-86		1							兼2			日本語 I -2	1-218-10		1						l.
		日本語 II-1(未開講)	2前		1							兼1			日本語 II-1(未開講)	2前		1						3
		日本語 II-2	1-2前-他		1							兼2			日本語 II-2	1-2第-後		1						1
		日本語Ⅲ-1	1-2前		1							#3			日本語Ⅲ-1	1・2前		1						1
		日本語Ⅲ-2	1-2前-夜		1							<b>₩</b> 6			日本語皿-2	1-2第-義		1						3
		日本語IV-1	180		1							兼1			日本語IV-1	1100		1						4
		日本語Ⅳ-2	1-2前-後		1							兼8			日本語Ⅳ-2	1-2賞・褒		1						3
-		情報基礎A	1前	1								<b>#</b> 10		<u> </u>	情報基礎A	1前	1							#
	情報	情報基礎B												情報	情報基礎B									
	科目		1後	1								兼10		科目		1後	1							*
L		情報処理概論	2後	1								兼8			情報処理概論	2後	1							ŧ
R	巴後熊	本学	10-0-6	1								兼16		肥後的	本学	10-0-0	1							#
		微分積分I	1前	2				1				兼10			微分積分I	1前	2							#
		微分積分Ⅱ	1数	2				1				#8			微分積分Ⅱ	1後	2							1
		微分積分概論(未開講)	1前		2							兼1			微分積分額論(未開請)	1前		2						3
		線形代数I	1後	2								兼12	1	1	線形代数I	1前	2							*
	理系	線形代数Ⅱ											1	理系	線形代数II									
	基礎		1後	2	l							兼11	1	基礎		1後	2							*
	科目	線形代数概論(未開講)	1後		2							兼1	1	科目	線形代數板論(未開講)	1後		2						#
		数学板論	1前		2							兼2	1	H	数学振論	1前		2						3
		統計学I	210		2							兼3	1		統計学I	210		2						3
		統計学II	2後		2							兼2	1		統計学Ⅱ	2後		2						3
					i	l		I	l	1			1		1						Ì	1		

投業科目の名称   投業科目の名称   投	任・兼担 兼 兼 集 兼 集 兼 3 兼 5		助	講		教	自	選	必	当	授業科目の名称	日公	科
特理学    1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1前   2     1   1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1   1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1   1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1   1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1   1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1   1       1	兼3 兼4 兼1 兼4 兼2 兼3	_			7X							//	区
##理学Ⅱ 1後 2	兼4 兼1 兼4 兼2 兼3	Ŧ	教	師	授	授	由	択	修	火		_	
物理学   1前   2   1前   2   1前   2   1   1前   2   2   2   2   2   3   3   3   3   3	兼1 兼4 兼2 兼3							2		1前	物理学I		
物理学基盤実験	兼4 兼2 兼3							2		1後	物理学Ⅱ		
化学    1前   2	兼2 兼3							2		1前	物理学		
世界	<b>₩</b> 3							1		1-20-0-0	物理学基盤実験		
世界	<b>₩</b> 3							2		1前	化学I		
基礎機利目													
世報日日	〒5									1100		系基	#
### 日   日   生物学1   1前   2   1   1前   2   1   1前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1										1-10-0-0			礎
生物学基盤実験 1 1 2 2 3 3 3 3 3 4 2 2 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 2 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 2 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 2 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 7 科目 1 1 2 2 4 4 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	兼2							2		1前	生物学I		料目
地学日   1前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	兼2							2		1後	生物学Ⅱ		
地学耳   1後   2	兼2							1		1:0000	生物学基盤実験		
佐育-スポーツ科学   1911 位   1   1   1   1   1   1   1   1   1	兼2							2		1前	地学I		
佐育-スポーツ科学   1911 位   1   1   1   1   1   1   1   1   1	<b>#</b> 2										地学Ⅱ		
体育・スポーツ科学	兼1							_		· 100.			
小計(131科目)	兼1 <b>姜10</b>									1前1-29		休夸-	
キャリア科目2     1・2前       キャリア科目3     1・2後       キャリア科目5     1・2後       キャリア科目6     1・2後       キャリア科目7     1・2後       キャリア科目8     1・2後       キャリア科目9     1・2前       キャリア科目10     1・2後       キャリア科目11     1・2前       キャリア科目12     1・2後       キャリア科目13     2       キャリア科目14     1・2後       キャリア科目15     1・2後       キャリア科目16     1・2後       キャリア科目17     1・2       キャリア科目18     1・2を       キャリア科目50     1       キャリア科目51     1・10・0       キャリア科目52     1       キャリア科目53     1       キャリア科目54     1・20・1       キャリア科目55     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1       1     1・20・1 </td <td>兼10 兼185</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>_</td> <td>20</td> <td>- 1811・192</td> <td></td> <td></td> <td></td>	兼10 兼185	0	0	0	6	4	0	_	20	- 1811・192			
キャリア科目3 1-2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1					1		2					
キャリア科目4 (未開講) 1・2後 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 1 1	兼7					1							
キャリア科目6 1・2前 2 1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2前 2 1・2前 2 1・1・2前 2 1・1・2前 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 2 1・1・2枚 1・1・2	<b>来</b> / 兼1												
キャリア科目の(未開演)     1・2後       キャリア科目の(未開演)     1・2前       キャリア科目の(ま)     1・2前       キャリア科目の(ま)     2       キャリア科目の(ま)     2       キャリア科目の(ま)     2       キャリア科目の(ま)     2       キャリア科目の(ま)     1・2前       キャリア科目の(ま)     2       キャリア科目の(ま)     1       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼3												
キャリア科目9(未開講)     1・2前       キャリア科目10     1・2後       キャリア科目11     1・2後       キャリア科目12     1・2後       キャリア科目13     2       キャリア科目14     1・2後       オャリア科目51     1・2後       キャリア科目51     1       キャリア科目52     1       キャリア科目53     1       キャリア科目54     1・20       キャリア科目55     1・20       キャリア科目55     1・20       1     1       1     1・20	兼3 兼3												
キャリア科目10 1-2後 2 3 4 4 7 9 7 9 1 1 1 2 8 2 1 1 2 8 3 1 1 2 8 2 1 1 1 2 8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1							2			キャリア科目8(未開講)		
キャリア科目11 1・2前 2 1・2本 1・2本 2 1 1 1・2	<b>兼9</b> 兼1									133			
キャリア科目12 1・2後 2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1	来! 兼1							_					
日 キャリア科目51 +-18-8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1											F	4
日 キャリア科目51 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1											r J	4
日 キャリア科目51 +-18-8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												P :I	7
キャリア科目52 1:20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								١.			+.5UZ利用61	Ī	Ē
キャリア科目54 <b>1・22</b> 1 キャリア科目55 <b>1・23</b> 1	兼2				'					1-24			
キャリア科目55 1・23 1	兼2									1-28-8			
	兼7 兼1												
	兼1							1		1-22	キャリア科目56		
	兼1 兼1												
キャリア科目59 1・22 1	兼2							1		1-22	キャリア科目59		
キャリア科目60 1・2③ 1	兼1							1		1-23	キャリア科目60		
小計(24科目) - 0 38 0 2 1 0 0 0 3	兼27	0	0	0	1	2	0	38	0		小計(24科目)		
開放科目1 1・2前 2 ;	兼1							2					
	兼1 兼1							_		133			
開放科目4 1-2後 2	兼1										開放科目4		
	兼1							_					
	兼1												
開放科目8 1・2前 2	兼1									1・2前	開放科目8	Ŧ	В
	∰1											女 斗	方 乖
B 22211 E 1	<mark>兼1</mark> 兼1												
	∰1									- 1			
	兼1 兼1 兼1 兼1									1.910	開放減日13		
開放科目15 1-2後 2	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1												
開放科目16 1・2後 2	兼1 兼1 兼1 兼1							1		1・2後	開放科目14 開放科目15		

		1										兼
科	В		配当		単位数					の配	-	任
Z	分	授業科目の名称	年次	必修	選択	血 田	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
		物理学I	1前	PS-	2	Ш	-IX	JX.	ph	7/		₩4
		物理学Ⅱ	1後		2							兼4
		物理学	1前		2							兼1
		物理学基盤実験	- 133		1							兼1
		化学I	1前		2							*2
	理	化学II	1後		-							兼2
±	系基	化学基盤実験	190		2							
基礎科	料				1							兼1
目	目	生物学I	1前		2							兼2
		生物学Ⅱ	1後		2							兼2
		生物学基盤実験	140000		1							兼1
		地学I	1前		2							兼2
		地学Ⅱ	1後		2							兼2
		地学基盤実験	14000		1							兼1
		スポーツ科学	1前·後	•	2		_					兼10
	小計(	133科目) キャリア科目1	1・2前	20	133 2	0	0	0	0	0	0	<b>兼185</b> 兼1
		キャリア科目2	1・2後		2							兼1
		キャリア科目3	1・2後		2							兼1
		キャリア科目4(未開講) キャリア科目5	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1
	理系基礎科目	キャリア科目6	1・2前		2							兼1
		キャリア科目7	1・2後		2							兼1
		キャリア科目8(未開講) キャリア科目9(未開講)	1・2前		2 2							兼1 兼9
		キャリア科目10	1-2前		2							兼1
	理系基礎科目	キャリア科目11	1・2前		2							#1
=		キャリア科目12 キャリア科目13	1・2後		2							兼1
-		キャリア科目13	1・2前		2 2							兼1 兼1
-	7	キャリア科目15	1・2前		2							<b>#</b> 1
1	a ≣	キャリア料目16	1・2後		2							兼1
		キャリア科目51 キャリア科目52	1-28-8		1							兼1
		キャリア科目52	1:20		1							兼1 兼1
		キャリア科目54	1.22		1							兼1
		キャリア科目55	1 · 2(3)		-1							兼1
		キャリア科目56	1.22		-1							兼1
		キャリア科目57 <b>キャリア科目58(未開業)</b>	1·2③ 1·2前		1							兼1 兼1
		キャリア科目59	1.2(2)		1							<b>兼1</b>
		キャリア科目60	1 - 23		1							兼1
		キャリア科目61	1.23	_	1							兼1
		小計(27科目) 開放科目1(未開講)	1・2前	0	<b>43</b>	0	0	0	0	0	0	<b>兼27</b> 兼1
		開放料目2(未開講)	1・2前		2							兼1
		開放科目3(未開講)	1・2後		2							兼1
		開放科目4(未開講)	1・2後		2							兼1
		開放科目5(未開講) 開放科目6(未開講)	1・2前		2							兼1 兼1
		開放科目7(未開講)	1・2版		1							兼1
E	網	開放科目8(未開講)	1・2前		2							₩1
ħ	女斗	開放科目9	1・2後		1							兼1
1	Ī	開放科目10(未開講) 開放科目11	1·2前 1·2後		1 2							<b>兼1</b> 兼1
		開放科目12(未開講)	1・2後		2		1					AK I
		開放料目13	1・2前		1							#1
		開放科目14	1・2後		1							兼1
		開放科目15(未開講) 開放科目16	1·2後 1·2後		2 2							兼1 兼1
		開放科目17	1・2後	L	2		L	L	L	L	L	· 兼1
		1 01 (100)									. —	

변변하는 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	510			配 単位数 専任教		任教	員等	の配				配业								兼任				
照示性語	科目 区分	授業科目の名称						教				兼	科目区分	授業科目の名称						教				兼
### PARTICIPATION OF THE PAR		物理·化学 I			択	由	授	_	師	教	手	担	-	物理·化学 I			択	由	授		師	教	手	担
변경함	工学		12	2				2					工学		12	2				2				
Marie								13											1					
一	料		_				'	2		•			科		_							′		
*** *** *** *** *** *** *** *** *** *					0	0	6		0	7	0	0					0	0	1		0	7	0	0
### 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	I		2前	1								兼1	ı		2前	1			1	2				
### 1995	学			-									学						2	2				
□ 마찬(全科目) - 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	語											ı	8 <del>5</del>											兼2 兼2
변화으로 등 1월 2 2 0 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1	目				0	0	0	0	0	0	0		目				0	0	3	2	0	0	0	兼2
か計(名料目) - 2 2 2 0 2 1 0 2 1 0 2 0 0 0	€4 pg C	社会と企業	1後	2			1	1					5-1 pm C	社会と企業	1後	2			2					
開発性が登載と 19 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目連C		_			_			_		_	_	目連C		_	_				_			_	-tr- 4
開催化学型域 100 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 1					2	0		1	0	2	0	0					2	0		0	U	1	0	兼1
無理学型は 100 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															_				1					
本語の		有機化学基礎	13	2				1						有機化学基礎	13	2				1				
無理化学1 20 2 2 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_	2				2								2				2				
無理を担いる 20 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 2							1	1							_				1	1				
공상구수단한 1 20 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1															_					1				
의한대으로 20 2 2 1 1								l	l	l		兼1			_					l				兼1
변변으로 1 20 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															_					1				
報告部で 20 2 2 1 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	214		_					l	l	l										l				
월 배스에 무슨 10 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科												科		_				1					
利料力学   100   2   2   1   1   1   1   1   1   1   1	盤	結晶学	_		2		1						##	結晶学	_		2		1					
野級通産胎   100   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1																	_		1					
技術図と他力学   100   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			_				'	1											1	1				
工学教育 1 2 2 2 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4							1												1					
一型		工学数学 I	2①		2							兼1		工学数学 I	2①		2							兼1
プロダケナデザイン湯百   3前   2   2   3前   2   3前   2   3前   2   3前   2   3前   2   3前   3章   3章   3章   3章   3章   3章   3章			_									ı			_									兼1
プログケデザイン漢言目 3級 2 2   1												ı												兼1 兼1
安全工学 3前 2 2					2							ı												兼1
小計 (24科目)				2								ı				2								兼1
物理化学   2-0   2   1   1   2   2   1   1   2   2   2				10		0	10	6	0	0	_	_				10		_	•	7	•	0	0	兼1
及応工学 23 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1					37	U		0	U	U	U	来/				_	3/	U		/	U	U	U	来り
無機化学Ⅱ 30 2 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2		分析化学Ⅱ	3①	2			1								3①	2			1					
無機化学用 30 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1			_												_				1	1				
置きたいできた。 1 日本の				_												_			1					
							ľ	1							_					1				
プロ		化学実験 I	23	4				1		2					23	4						2		兼1
グ用 うき 命 人化 等限分 科育 日育         1 2 30 4 30 4 30 2 30 2 30 30 30 30 30 4 30 2 30 30 30 30 4 30 30 30 4 30 30 30 4 30 30 4 30 30 4 30 30 4 4 30 4 4 30 4 4 4 4	→												_ →		_					1				
	応用		_						l				プロ用		_							2		
A 化 寄字 門教育 目	ㅋ풏						1		l	l			9 <del>5</del>		_				1	-				
電気化学 30 2 2 1 1	ムル		23	2			1	l	l	l			ムル 専 学	有機分子構造化学	23	2			1	l				
電気化学 32 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1	門教科育						1	l	l	l			門教科会						-1	l				
環境ISO 33 1 1 1 1 1	B **			2	,				l	l			B <sup>™</sup>			2	,							
化学物質管理学 20									l	l														
応用物質化学 (化学コミュニケーション 43 10 1 8 8 8 6 mm) を素研究 4週 10 8 8 8 6 mm) を素研究 4週 10 8 8 8 0 6 0 兼実研究 4週 10 8 8 8 0 6 0 兼実研究 4週 10 8 8 9 0 6 0 兼実研究 4週 10 8 8 9 0 6 0 兼工					1			l	l	l		兼1			_					l				兼1
化学コミュニケーション 存棄研究     43 10 1 8 8 8 6 6 8 8 6 7 八計(21科目)     1 8 8 8 6 6 7 八計(21科目)     1 8 8 8 6 6 7 八計(21科目)     1 8 8 9 6 6 7 八計(21科目)     1 8 9 0 6 6 7 八計(21科目)     1 8 9 0 6 7 0 8 9 0 6 0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								l	l	l										l				兼1
卒業研究     4通     10     8     8     6       小計(21科目)     -     48     7     0     8     8     0     6     0     兼2       広 物理化学Ⅱ     20     2     1     0     8     8     0     6     0     兼2       成 物理化学Ⅱ     20     2     1     0     6     0     ★3     9     0     6     0       成 の							۰		l	_		兼1			- 1				۰			<b>a</b>		兼1
小計(21科目)				10					l							10								
所				48	7	0	8	8	0	6	0	兼2				48	7	0	8	9	0	6	0	兼2
物 反応工学 23 2 1 1 質 反応工学 23 2 1 1 質 反応工学 33 2 1 1 質 反応工学 33 2 1 1 質 反応工学 33 2 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 32 2 1 1 単独化学Ⅱ 33 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1																								
化     無機化学耳     3③     2     1       学門教育目育     電子化学     3②     2     1       日育了     型子化学     3③     2     1       日子口     化学実験I     2③     4     1     2       化学実験I     2④     4     2     1     2       が     化学実験I     2④     4     1     2       ム     化学実験I     2④     4     1     2       ム     化学実験II     3①     4     1     2       人     化学実験II     3①     4     1     2	物							l	l	l			物											
門	化												化							l				
ロ 化学実験 I     23     4     1     2     1     化学実験 I     23     4     2     1     2     が 化学実験 I     24     4     1     2       ム 化学実験 I     3(1)     4     1     2     4     1     2	門学 門教												門教											
ロ 化学実験 I     23     4     1     2     1     化学実験 I     23     4     2     1     2     が 化学実験 I     24     4     1     2       ム 化学実験 I     3(1)     4     1     2     4     1     2	目す		_						l	l			目プ		_					1				
ラ ルチ来級エ 3① 4 1 2									l															兼1
	ラ								l				ラ		- 1									
		化学実験Ⅳ	32	4				2	l	1				化学実験Ⅳ	32	4				3				

利日		配	Ĺ	单位数	女	専	兼任				
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
応	化学実験Ⅴ	3(3)	4			1	2				
用物	電気化学	32	2				1				
質	分離工学	<b>3</b> ①	2			1					
化学	高分子物理化学	24	2			1					
教	有機分子構造化学	23		2		1					
育 プ	環境ISO	3(3)		1			-1				
	化学物質管理学	<b>2</b> ①		1							兼1
グ ラ	応用物質化学	<b>3</b> ①		1							兼1
ム	応用生命化学	3②		1							兼1
専門	化学コミュニケーション	43		1		8	8		6		
科	卒業研究	4通	10			8	8		6		
目	小計(21科目)	-	48	7	0	8	8	0	6	0	兼2
	格子欠陥学	23	2			1					
	結晶塑性学	24	2			1					
	物性物理学	23	2				1				
	固体物性学	24	2			1					
	固体内の拡散	23	2				1				
	相変態論	24	2			1					
	材料物理化学	2①	2				1				
	材料電気化学	24	2				1				
	破壞工学	<b>3</b> ①		1		1					
	塑性加工学	3(3)		1			1				
物	電子材料工学	3(2)		1			1				
質	機能材料学	34		1		1					
材料	磁性材料工学 [	<b>3</b> ①		1		1					
工 学	磁性材料工学Ⅱ	32		1		1					
教	粉体加工学I	3(3)		1		1					
育 プ	粉体加工学 II	34		1		1					
	鉄鋼材料学	3①		1		1					
グ ラ	非鉄金属学	3(3)		1			1				
4	凝固工学	3(3)		1			1				
専門	鉄鋼製錬工学	<b>3</b> ①		1			1				
科	非鉄製鍊工学	3(2)		1			1				
目	腐食防食学	34		1			1				
	セラミックス材料工学	3(3)		1		1					
	プログラミング演習	2①	2			1					
I	機器製作実習	2前	1			1	1				
	機械設計製図演習	2後	1			1			1		
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1			5	6		1		
	物質材料工学実験·応用編	3後	2			5	6		1		
	産業応用演習	3(3)	2			1			1		
	物質材料工学演習	4①	2			5	6		1		
	卒業研究	4通	10			5	6		1		
	小計(31科目)	ı	35	15	0	5	6	0	1	0	0
合	計(574科目)	_	66	613	0	13	14	0	7	0	兼426

卒業要件及び履修方法

①教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基 盤科目の必修科目23単位を修得すること。

②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目

190年世代、子行金連行日送5代日の一代三版教育プログラム専門科目の選択科目 単位、および600日関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目 と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用物 質化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認

ある [応用物質化学教育プログラム] 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目 48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目の3 単位、および600関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目 と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生 命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認 は、2

るので 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目 73単位、子林基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18 単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目 と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上

N.C.		配	į	単位数			専任教員等の配置					
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・	
E-71		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担	
応	化学実験Ⅴ	3(3)	4			1	2	Pile	-2/			
用	電気化学	3(2)	2				1					
物質	分離工学	<b>3</b> ①	2			1						
化	高分子物理化学	24	2			1						
学 教	有機分子構造化学	23		2		1						
育プ	環境ISO	3(3)		1			1					
	化学物質管理学	2①		1							兼1	
グ ラ	応用物質化学	<b>3</b> ①		1							兼1	
4	応用生命化学	3②		1							兼1	
専門	化学コミュニケーション	43		1		8	9		6			
科	卒業研究	4通	10			8	9		6			
目	小計(21科目)	-	48	7	0	8	9	0	6	0	兼2	
	格子欠陥学	23	2			1						
	結晶塑性学	24	2			1						
	物性物理学	23	2				-1					
	固体物性学	24	2			1						
	固体内の拡散	23	2				1					
	相変態論	24	2			1						
	材料物理化学	<b>2</b> ①	2			1						
	材料電気化学	24	2			1						
	破壊工学	<b>3</b> ①		1		1						
	塑性加工学	3(3)		1			1					
物	電子材料工学	32		1			1					
質材	機能材料学	34		1		1						
料	磁性材料工学 [	<b>3</b> ①		1		1						
工学	磁性材料工学 Ⅱ	32		1		1						
教	粉体加工学I	3(3)		1		1						
育プ	粉体加工学 II	34		1		1						
	鉄鋼材料学	<b>3①</b>		1		1						
グ ラ	非鉄金属学	3(3)		1			1					
4	凝固工学	3(3)		1			1					
専門	鉄鋼製鍊工学	<b>3</b> ①		1			1					
料	非鉄製鍊工学	32		1			1					
目	腐食防食学	34		1		1						
	セラミックス材料工学	3(3)		1		1						
	プログラミング演習	<b>2</b> ①	2			1						
	機器製作実習	2前	1			2	1					
	機械設計製図演習	2後	1						1			
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1			6	6		2			
	物質材料工学実験・応用編	3後	2			6	6		2			
	産業応用演習	3(3)	2			1			1			
	物質材料工学演習	<b>4</b> ①	2			6	6		2			
	卒業研究	4通	10			6	6		2			
	小計(31科目)	ı	37	15	0	6	6	0	2	0	0	
合	計(108科目)	-	52	660	0	14	14	0	8	0	兼424	
	-	ケ洲と田	1 AH- 174	イド四引	14 H-3	+-						

卒業要件及び履修方法

①教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基 盤科目の必修科目23単位を修得すること

23つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目

の中から、 【応用生命化学教育プログラム】応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目 48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13 める

の令 [応用物質化学教育プログラム] 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目 48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13 単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目 と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生 命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認 水本

びる 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目 73単位、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目8 単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目 と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

  - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を

  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

  - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。) 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。 「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、

#### 【平成30年度】

```
・教育上の効果を高めるため、
                   「文系のための数学入門(C)」を新設。
                   「物理学入門(B)」を新設。
「生物の世界(h)」を新設。
 教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「地球環境の現状と人類(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「地球環境の現状と人類(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「倫理学入門(C)」を新設。
「倫理学入門(g)」を新設。
「倫理学入門(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「心と世界(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「現代心理行動学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「現代心理行動学(d)」を新設。
                   「現代心理行動学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「芸術文化論(B)」を新設。
                   「モノが語る歴史(e)」を新設。
 教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、「モノが語る歴史(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「地域の世界史(i)」を新設
・教育上の効果を高めるため、「日本社会の歴史(e)」を新設。
                  「日本社会の歴史(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、・教育上の効果を高めるため、
                  「法学の基礎(D)」を新設。
「法学の基礎(E)」を新設。
                   「法学の基礎(F)」を新設。
「現代政治の諸相(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「最前線の社会文化研究(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「現代社会の解読(e)」を新設。
「自然と人間の地理学(a)」を新設。
「自然と人間の地理学(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「自然と人間の地理学(c)」を新設。
                  「数学と文化(c)」を新設。
「数学と文化(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、「物理学の世界(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(E)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(F)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「暮らしと化学(G)」を新設。
                  「化学と環境(a)」を新設。
「化学と環境(b)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「最先端の生命科学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「最先端の生命科学(f)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「健康の科学(C)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                   「病気の医科学(C)」を新設
・教育上の効果を高めるため、
                   「臨床医学の最前線(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「現代社会と医学(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                   「心身の健康と看護(D)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                   「心身の健康と看護(E)」を新設
・教育上の効果を高めるため、「医療における理工学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「現代医療と生命科学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「薬科学入門(a)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「薬科学入門(b)」を新設。
                  「現代教育について考える(a)」を新設。
「現代教育について考える(b)」を新設。
「現代教育について考える(c)」を新設。
「現代教育について考える(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「現代と文学(e)」を新設。
「現代と文学(f)」を新設。
「現代世界の形成と課題(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                   「暮らしの中の憲法」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                   「現代社会と経済(A)」を新設。
                   「現代の政治(a)」を新設。
「現代の政治(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                   「Introduction to Science and Technology I (b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology I (c)」を新設。
```

```
教育上の効果を高めるため、
                  「Introduction to Science and Technology I (d)」を新設。
                  「Introduction to Science and Technology I (e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Introduction to Science and Technology II(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Introduction to Science and Technology I (c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「Socio-Cultural Studies(D)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Socio-Cultural Studies(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Socio-Cultural Studies(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Statistics(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Academic Foundations(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Area Studies(e)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「Area Studies(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Area Studies(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「Area Studies(h)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「Comprehensive English Communication (a)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「Technical English Communication(e)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                  「Technical English Communication(h)」を新設
・教育上の効果を高めるため、
                  「英語C-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「英語C-2」を新設
・教育上の効果を高めるため、
                  「英語Ⅰ-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「英語 I-2」を新設
・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語 I-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「フランス語 I -1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「フランス語 I -2」を新設。
                  「中国語 I-1」を新設。
「中国語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                  「コリア語 I-1」を新設
・教育上の効果を高めるため、
                  「コリア語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「ロシア語 I-1」を新設。
                  「ロシア語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「スペイン語I-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「スペイン語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「イタリア語 I-1」を新設。
                  「イタリア語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「ラテン語Ⅰ-1」を新設。
                  「ラテン語 I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「数学概論」を新設。
                  「キャリア科目11」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「キャリア科目12」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「キャリア科目13」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「キャリア科目14」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「キャリア科目59」を新設。
                  「キャリア科目60」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「開放科目12」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                  「開放科目13」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「開放科目14」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                  「開放科目15」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「開放科目16」を新設。
・クォーター制への移行により、「数学の世界(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
                   「数学の世界(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②・③」に変更。「物理学入門(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                   「物理学入門(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
「物理学入門(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                    「物理学入門(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「物理学入門(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                    「物理学入門(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①・②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                   「物理学入門(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
「物理学入門(h)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、「物理学入門(j)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更
クォーター制への移行により、「教養の化学(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
                   「教養の化学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
                   「教養の化学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                   「生物の世界(B)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                    「生物の世界(D)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
                   「生物の世界(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「生物の世界(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                   「生物の世界(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                   「生物の世界(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
・クォーター制への移行により、「生物の世界(e)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、「生物の世界(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、「生物の世界(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
```

```
クォーター制への移行により、「豊かさを持続させるものづくり(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、・クォーター制への移行により、
                     「豊かさを持続させるものづくり(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。「豊かさを持続させるものづくり(C)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。「日々の生活に垣間見る情報と通信(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「日々の生活に垣間見る情報と通信(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
                     「倫理学入門(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
「倫理学入門(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「倫理学入門(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
「倫理学入門(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
    -ター制への移行により、
                     「倫理学入門(e)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォー
                     「倫理学入門(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
・カリキュラム編成の調整により、「芸術文化論(A)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。・クォーター制への移行により、「言語の諸相(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。・クォーター制への移行により、「言語の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「言語の諸相(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「言語の諸相(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
                     「文学の諸相(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
「文学の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「地域の世界史(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「地域の世界史(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
                     「地域の世界史(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
「地域の世界史(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、「地域の世界史(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
    -ター制への移行により、
                     「日本社会の歴史(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「日本社会の歴史(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
                     「日本社会の歴史(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「日本社会の歴史(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「現代政治の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「現代政治の諸相(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
・クォーター制への移行により、・クォーター制への移行により、
                     「現代政治の諸相(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
「現代政治の諸相(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
                     「最前線の社会文化研究(A)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
「最前線の社会文化研究(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「最前線の社会文化研究(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「最前線の社会文化研究(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
                     「最前線の社会文化研究(f)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
「最前線の社会文化研究(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「現代社会の解読(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「現代社会の解読(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
                     「現代社会の解読(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「物理学の世界(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「暮らしと化学(B)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
 クォーター制への移行により、
                     「暮らしと化学(C)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「最先端の生命科学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「最先端の生命科学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
                     「最先端の生命科学(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「最先端の生命科学(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
                     「地球環境科学の最前線(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
                     「地球環境科学の最前線(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2後」に変更。
「地球環境科学の最前線(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(f)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(h)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
                     「地域づくりと科学技術(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更、「地域づくりと科学技術(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更、「地域づくりと科学技術(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「地域づくりと科学技術(D)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
「地域づくりと科学技術(E)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「ものづくりの科学と技術(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、「ものづくりの科学と技術(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
                     「ものづくりの科学と技術(C)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
ウォーター制への移行により、
                     「ものづくりの科学と技術(D)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「ものづくりの科学と技術(E)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「ものづくりの科学と技術(F)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
「ものづくりの科学と技術(G)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「ものづくりの科学と技術(H)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「暮らしと情報・通信技術(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「暮らしと情報・通信技術(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、「暮らしと情報・通信技術(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。・クォーター制への移行により、「健康の科学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。・クォーター制への移行により、「健康の科学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
```

```
クォーター制への移行により、
                        「医療における理工学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
・クォーター制への移行により、・クォーター制への移行により、
                         「医療における理工学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
                         「医療における理工学(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                         「医療における理工学(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
                         「現代の医学検査(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
クォーター制への移行により、
                         「現代の医学検査(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
                         「現代医療と生命科学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「現代医療と生命科学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                         「薬科学入門(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                          「心理学の探求(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更
・カリキュラム編成の調整により、「心理学の探求(B)」の配当年次を「1 · 2後」から「1 · 2前」に変更。
                        「現代と言語(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更「現代と言語(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                         「現代と文学(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③・④」に変更。
「現代と文学(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③・④」に変更。
「現代世界の形成と課題(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                        |現代世界の形成と課題(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
「現代世界の形成と課題(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
「現代社会と経済(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
「現代社会と経済(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
、「学際科目1」の配当年次を「1・2後」から「1・2①」に変更。
「学際科目2」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「学際科目3」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・カリキュラム編成の調整により、
・クォーター制への移行により、・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                         「Socio-Cultural Studies(b)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2②・④」に変更。
                        「Basic Economics(a)」の配当年次を「1・2前・後」がら「1・2回・後」に変更。
「World History(a)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前・後」に変更。
「World History(b)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・②・③・④」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
・クォーター制への移行により、
 クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                        「World History(c)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・②・④」に変更。
                        「Area Studies(a)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・②・③・④」に変更。
「Area Studies(b)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・②・③」に変更。
「Technical English Communication(a)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・④」に変更。
「Technical English Communication(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                        ・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                          「英語D-1」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
「英語D-2」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
「ドイツ語A-2」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                          「ドイツ語B-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「フランス語A-2」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、
                          「フランス語B-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「フランス語B-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「中国語A-2」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
カリキュラム編成の調整により、カリキュラム編成の調整により、
                          「中国語B-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
                          「コリア語A-2」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
カリキュラム編成の調整により、
                          「コリア語R-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「コリア語B-1」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「日本語A-1」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語B-1」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
                          「日本語B-2」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語0-1」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
「日本語0-1」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「日本語D-2」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「フランス語Ⅲ-1」の配当年次を「1・2前」から「2前」に変更。
                          「フランス語Ⅲ-2」の配当年次を「1・2後」から「2後」に変更。
「日本語 I-2」の配当年次を「2後」から「1・2前・後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語Ⅱ-2」の配当年次を「2後」から「1・2前・後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語Ⅲ-1」の配当年次を「2前」から「1・2前」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語Ⅲ-2」の配当年次を「2後」から「1・2前・後」に変更。
「日本語Ⅳ-1」の配当年次を「2後」から「1・2前・後」に変更。
「日本語Ⅳ-1」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                         「日本語Ⅳ-2」の配当年次を「2後」から「1・2前・後」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
・クォーター制への移行により、「肥後熊本学」の配当年次を「1前・後」から「1①・②・③」に変更。・カリキュラム編成の調整により、「微分積分II」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
                         「統計学I」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
「統計学II」の配当年次を「1後」から「2後」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、
                        「物理学基盤実験」の配当年次を「1前・後」から「1①・②・③・④」に変更。
「化学基盤実験」の配当年次を「1前・後」から「1①・②・③・④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
、「キャリア科目5 1」の配当年次を「1・2 前」から「1・2 前・後」に変更。
「キャリア科目5 1」の配当年次を「1・2 前」から「1・2 前・後」に変更。
「キャリア科目5 2」の配当年次を「1・2 前」から「1・2 前・後」に変更。
、「キャリア科目5 3」の配当年次を「1前・後」から「1・2 前・後」に変更。
「キャリア科目5 4」の配当年次を「1・2 前」から「1・2 ②」に変更。
「キャリア科目5 5」の配当年次を「1・2 後」から「1・2 ③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・クォーター制への移行により、
・カリキュラム編成の調整により、
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                        「キャリア科目56」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、「キャリア科目57」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
```

```
教育上の効果を高めるため、「文系のための数学入門(A)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
教育上の効果を高めるため、「数学の世界(a)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
カリキュラム編成の調整により、
                        「生物の世界(D)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                        「日々の生活に垣間見る情報と通信(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                        「日々の生活に垣間見る情報と通信(B)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                        「こころの科学(A)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                        「最先端の生命科学(a)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼1」に変更
カリキュラム編成の調整により、
                        「最先端の生命科学(b)」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「地球環境科学の最前線(h)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
                     「地域づくりと科学技術(A)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「地域づくりと科学技術(B)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                     「地域づくりと科学技術(F)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼9」に変更
                     「ものづくりの科学と技術(G)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
「ものづくりの科学と技術(H)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「暮らしと情報・通信技術(a)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
                     「暮らしと情報・通信技術(b)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「暮らしと情報・通信技術(c)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
                        「健康の科学(B)」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「薬科学入門(A)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
                        「芸術への招待(A)」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(b)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(b)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼18」に変更
・教育上の効果を高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼16」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」「兼20」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」「兼22」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」「兼13」に変更。
                     「英語D-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「英語D-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「ドイツ語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                     「ドイツ語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
                     「ドイツ語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                     「ドイツ語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「ドイツ語C-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語a-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語a-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
                     「フランス語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
教育上の効果を高めるため、
                     「フランス語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                     「フランス語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。「フランス語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。「フランス語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。「フランス語0-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「フランス語G-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「フランス語a-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「フランス語a-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
「フランス語a-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
「中国語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
「中国語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「中国語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
「中国語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「中国語C-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「中国語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「中国語a-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「中国語a-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
                     「コリア語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                     「コリア語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「コリア語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「コリア語B-2」の専任教員等の配置を「兼 1」から「兼 3」に変更。
「コリア語B-2」の専任教員等の配置を「兼 1」から「兼 3」に変更。
「コリア語C-1」の専任教員等の配置を「兼 1」から「兼 2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「コリア語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                     「日本語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「日本語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、「日本語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「日本語8-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「日本語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
                     「日本語D-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「日本語D-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「日本語D-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「日本語 I-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「日本語 I-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「日本語皿-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                     「日本語Ⅲ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
「日本語Ⅳ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「情報基礎A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更、「情報基礎B」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更、「情報基礎B」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                     「肥後熊本学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼16」に変更。
「微分積分Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼10」に変更。
「微分積分Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼8」に変更。
「線形代数Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「進教授1」「兼8」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                     「線形代数II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼11」に変更。
 教育上の効果を高めるため、「統計学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果を高めるため、「統計学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果を高めるため、「統計学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果を高めるため、「物理学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
```

```
・教育上の効果を高めるため、「物理学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
                         「物理学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                         「化学!」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                         「化学!!」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                         「化学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                         「生物学」」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
                         「生物学!!」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「生物学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                         「地学」」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                         「地学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
                         「体育・スポーツ科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                         「キャリア科目1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
「キャリア科目2」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                         「キャリア科目3」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                         「キャリア科目5」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目6」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目7」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目9」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼9」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目51」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目52」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目52」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目53」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目54」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「開放科目8」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「開放科目10」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
・クォーター制への移行により、「物理・化学 I 」の配当年次を「1前」から「1①」に変更。・クォーター制への移行により、「物理・化学 II 」の配当年次を「1前」から「1②」に変更。
・担当教員の昇任により、「工学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授14」がら「教授5」「准教授13」に変更。
・クォーター制への移行により、「数学演習Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1①」に変更。
・担当教員の昇任により、「数学演習 I」の専任教員等の配置を「助教 7」から「教授 1」「助教 6」に変更。
・クォーター制への移行により、「数学演習 II」の配当年次を「1前」から「1②」に変更。
・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語Ⅱ」の名称を「工学英語Ⅲ」に変更。
・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語Ⅱ」の名称を「工学英語Ⅳ」に変更。
・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語Ⅱ」を新設。
・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語Ⅱ」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「社会と企業」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更。
・クォーター制への移行により、「インターンシップ」の配当年次を「3前」から「3(②)」に変更。
・クォーター制への移行により、「物質材料工学基礎」の配当年次を「1後」から「1④」に変更。
・クォーター制への移行により、「無機化学基礎」の配当年次を「1後」から「1④」に変更。
・クォーター制への移行により、「有機化学基礎」の配当年次を「1後」から「1③」に変更。
・クォーター制への移行により、「物理学基礎」の配当年次を「1後」から「1③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                          「生化学 I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更
                          「無機化学 I 」の配当年次を「2前」から「2①」に変更
「有機化学 I 」の配当年次を「2前」から「2①」に変更
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                          「環境調和化学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
「高分子化学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
「分析化学I」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                          「物理化学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2②」に変更
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                          「物性物理学基礎」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
クォーター制への移行により、
                          「結晶学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
・担当教員の昇任により、「結晶学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・クォーター制への移行により、「結晶回析学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
・クォーター制への移行により、「材料力学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
・担当教員の昇任により、「材料力学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・クォーター制への移行により、「移動速度論」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                          「状態図と熱力学」の配当年次を「2前」から「2③」に変更。
・クォーター制への移行により、「工学数学 I 」の配当年次を「2 前」から「2 ①」に変更。
・クォーター制への移行により、「工学数学 I 」の配当年次を「2 前」から「2 ①」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習 I 」の単位数を「1」から「2 」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習 I 」の単位数を「1」から「2 」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習 I 」の単位数を「1」から「2 」に変更。
・クォーター制への移行により、「物理化学 II 」の配当年次を「2 後」から「2 ④」に変更。
                          「分析化学Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
「反応工学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、「無機化学II」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。・クォーター制への移行により、「有機化学II」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。・クォーター制への移行により、「量子リーの配当年次を「3後」から「3③」に変更。・クォーター制への移行により、「量子」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
・クォーター制への移行により、「化学実験 I 」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
```

```
クォーター制への移行により、「化学実験Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「化学実験Ⅲ」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
・クォーダーが、いないにより、「化学実験IV」の配当年次を「3削」がら、300」に変更。
・クォーター制への移行により、「化学実験V」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
・クォーター制への移行により、「化学実験V」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
・担当教員の昇任により、「化学実験 V」の専任教員等の配置を「助教 1」から「教授 1」に変更。
・クォーター制への移行により、「有機分子構造化学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「生化学Ⅱ」の配当年次を「3後」から「3④」に変更
                    「バイオテクノロジー」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                    「電気化学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更
・クォーター制への移行により、
                    「環境ISO」の配当年次を「3後」から「3③」に変更
・クォーター制への移行により、
                    「化学物質管理学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更
                    「応用生命化学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
「応用物質化学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                    「化学コミュニケーション」の配当年次を「4後」から「4③」に変更。
・担当教員の昇任により、「化学コマニー・フィック」の専任教員等の配置を「教授7」「助教7」から「教授8」「助教6」に変更。
・担当教員の昇任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」「助教7」から「教授8」「助教6」に変更。
・クォーター制への移行により、「分離工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「高分子物理化学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
・クォーター制への移行により、「格子欠陥学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
                    「結晶塑性学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                    「物性物理学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「固体物性学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更
クォーター制への移行により、
                    「固体内の拡散」の配当年次を「2後」から「2③」に変更
・クォーター制への移行により、
                     「相変態論」の配当年次を「2後」から「2④」に変更
                    「材料物理化学」の配当年次を「2後」から「2①」に変更。
「材料電気化学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                    「破壊工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更
                    「塑性加工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更
クォーター制への移行により、
                    「電子材料学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
「機能材料学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                    「機能材料工学 I」の配当年次を「3 後」から「3 ①」に変更。
「磁性材料工学 I」の配当年次を「3 前」から「3 ①」に変更。
「粉体加工学 I」の配当年次を「3 後」から「3 ②」に変更。
「粉体加工学 I」の配当年次を「3 後」から「3 ④」に変更。
「鉄鋼材料学」の配当年次を「3 前」から「3 ④」に変更。
「鉄鋼材料学」の配当年次を「3 後」から「3 ①」に変更。
「非鉄金属学」の配当年次を「3 後」から「3 ③」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                    「凝固工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更
・クォーター制への移行により、「鉄鋼製錬工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
     -ター制への移行により、
                    「非鉄製錬工学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「腐食防食学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「セラミックス材料工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
・クォーター制への移行により、
                    「プログラミング演習」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
・担当教員の昇任により、「物質材料工学実験・基礎編」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変
更
・担当教員の昇任により、「物質材料工学実験・応用編」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変
       -制への移行により、「産業応用演習」の配当年次を「3後」から「3③」に変更
                より、「物質材料工学演習」の配当年次を「4前」から「4①」に変更。
「物質材料工学演習」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。
クォーター制への移行により、
・担当教員の昇任により、「物質材料工学演習」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。
・担当教員の昇任により、「物質材料工学教育プログラム専門科目」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授
```

#### 【令和元年度】

5」「准教授6」に変更。

```
・教育上の効果を高めるため、
               「数学の世界(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「教養の化学(c)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「教養の化学(d)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「倫理学入門(D)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「倫理学入門(E)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「倫理学入門(i)」を新設。
               「倫理学入門(j)」を新設
教育上の効果を高めるため、
               「現代心理行動学(f)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
               「地域の世界史(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、法学の基礎(G)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「現代政治の諸相(A)」を新設
               「最前線の社会文化研究(i)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
               「最前線の社会文化研究(j)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
               「最前線の社会文化研究(k)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
               「現代社会の解読(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解読(g)」を新設
・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解読(h)」を新設。
```

```
・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「自然と人間の地理学(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「暮らしと化学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「暮らしと化学(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「健康の科学(D)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「心身の健康と看護(F)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代教育について考える(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代世界の形成と課題(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代世界の形成と課題(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代世界の形成と課題(f)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                    「現代世界の形成と課題(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「最先端の法学(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代社会と経済(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「現代の政治(c)」を新設。
                    「学際科目4」を新設。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                    「Introduction to Science and Technology II(d)」を新設。
                    「Socio-Cultural Studies(e)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                    「Socio-Cultural Studies(f)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                    「Socio-Cultural Studies(g)」を新設。
                    「Socio-Cultural Studies(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                    「Area Studies(i)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「ヘブライ語 I-1」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                    「ヘブライ語Ⅰ-2」を新設
・教育上の効果を高めるため、
                    「キャリア科目15」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「キャリア科目16」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                    「キャリア科目61」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「開放科目17」を新設。
・クォーター制への移行により、
                     「数学の世界(b)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①·2」に変更。
クォーター制への移行により、
                     「物理学入門(h)」の配当年次を「1·2前」から「1·2③」に変更。
                      「生物の世界(c)」の配当年次を「1·2後」から「1·2①」に変更
クォーター制への移行により、
                     「生物の世界(d)」の配当年次を「1·2前」から「1·2③」に変更。
クォーター制への移行により、
                      「生物の世界(e)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「生物の世界(f)」の配当年次を「1·2前」から「1·2③」に変更。
                     「豊かさを持続させるものづくり(B)」の配当年次を「1·2前」から「1·2②」に変更。
「現代心理行動学(a)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更。
「現代心理行動学(b)」の配当年次を「1·2後」から「1·2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代心理行動学(e)」の配当年次を「1·2②·④」から「1·2①」に変更。
                     「言語の諸相(b)」の配当年次を「1·2前」から「1·2④」に変更。
「文学の諸相(a)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更。
「文学の諸相(b)」の配当年次を「1·2前」から「1·2②」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「文学の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
「文学の諸相(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
「文学の諸相(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「地域の世界史(d)」の配当年次を「1·2前」から「1·2②」に変更
                     「日本社会の歴史(c)」の配当年次を「1·2後」から「1·2④」に変更
クォーター制への移行により、
・カリキュラム編成の調整により、「日本社会の歴史(e)」の配当年次を「1·2②」から「1·2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「日本社会の歴史(f)」の配当年次を「1\cdot 2①」から「1\cdot 2②」に変更・クォーター制への移行により、「現代政治の諸相(a)」の配当年次を「1\cdot 2前」から「1\cdot 2②」に変更。・クォーター制への移行により、「最前線の社会文化研究(a)」の配当年次を「1\cdot 2前」から「1\cdot 2①」に
                       「日本社会の歴史(f)」の配当年次を「1·2①」から「1·2②」に変更。
                      「最前線の社会文化研究(a)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更。
・クォーター制への移行により、
                     「現代社会の解読(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
「現代社会の解読(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
クォーター制への移行により、
・カリキュラム編成の調整により、「現代社会の解読(e)」の配当年次を「1\cdot 2④」から「1\cdot 2③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「数学と文化(c)」の配当年次を「1·2③」から「1·2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「数学と文化(d)」の配当年次を「1·2④」から「1·2②」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「化学と環境(b)」の配当年次を「1・2②·3」から「1·2②·4」に変更。
                     「最先端の生命科学(d)」の配当年次を「1·2後」から「1·2③」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                     「地球環境科学の最前線(g)」の配当年次を「1·2前」から「1·2②」に変更
・クォーター制への移行により、
                     「ものづくりの科学と技術(B)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「臨床医学の最前線(A)」の配当年次を「1·2前」から「1·2後」に変更。
・クォーター制への移行により、
・クォーター制への移行により、
                      「心身の健康と看護(A)」の配当年次を「1·2前」から「1·2①」に変更
                     「医療における理工学(a)」の配当年次を「1·2前」から「1·2③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代教育について考える(E)」の配当年次を「1·2後」から「1·2前」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代教育について考える(a)」の配当年次を「1·2③」から「1·2④」に変更。
クォーター制への移行により、
                      「現代と言語(a)」の配当年次を「1·2後」から「1·2②」に変更
・クォーター制への移行により、
                     「現代世界の形成と課題(a)」の配当年次を「1·2前」から「1·2②」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology I (d)」の配当年次を「1・2①・②・③・④」から「1・2①・②・
③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology II(b)」の配当年次を「1・2②·③·④」から「1·2①·②·③)」
に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology II (c)」の配当年次を「1・2②・③・④」から「1・2①・②・③)
に変更。
カリキュラム編成の調整により、
                      「Socio-Cultural Studies(D)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
・クォーター制への移行により、「Area Studies(a)」の配当年次を「1·2前・後」から「1·2①·②·④」に変更。
                      「Area Studies (b)」の配当年次を「1·2前・後」から「1·2①·③」に変更。
・クォーター制への移行により、
クォーター制への移行により、
                     「肥後熊本学」の配当年次を「1前・後」から「1①・②・③・④」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「線形代数I」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・カリキュラム編版の調整により、「緑形で数1」の配当年次を「1後」がら「1・2前・後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「統計学概論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「キャリア科目10」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
・クォーター制への移行により、「キャリア科目52」の配当年次を「1・2前から「1・2①」に変更。
```

```
・教育上の効果を高めるため、「Area Studies(E)」の単位数を「1」から「2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「物理学入門(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「物理学入門(B)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により「持続可能な都市と地域づくり(B)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                      「現代心理行動学(e)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
                       「現代政治の諸相(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代政治の諸相(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代政治の諸相(d)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
                       「現代政治の諸相(e)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、
                      「最前線の社会文化研究(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「物理学の世界(A)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
                      「最先端の生命科学(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
「最先端の生命科学(e)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                       「地球環境科学の最前線(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
                      「地球環境科学の最前線(d)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
「地球環境科学の最前線(g)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、カリキュラム編成の調整により、
・教育上の効果を高めるため、「ものづくりの科学と技術(D)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ものづくりの科学と技術(E)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ものづくりの科学と技術(F)」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ものづくりの科学と技術(G)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「ものづくりの科学と技術(H)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
                      「健康の科学(B)」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼1」に変更。
                       「健康の科学(C)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼4」に変更。
「病気の医科学(A)」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代社会と医学(B)」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼1」に変更
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、カリキュラム編成の調整により、
                       「心身の健康と看護(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
                       「現代の医学検査(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「薬科学入門(B)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                       「現代社会と薬学(A)」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼1」に変更。
                       「現代教育について考える(C)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
「現代教育について考える(D)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、
                       「現代教育について考える(c)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
「現代教育について考える(d)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                      「芸術への招待(B)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしの中の憲法」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                    「Introduction to Science and Technology I (d)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
                    「Introduction to Science and Technology I (e)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 教育上の効果を高めるため、
                    「Introduction to Science and Technology II (b)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                   「Introduction to Science and Technology II (c)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・カリキュラム編成の調整により、「Academic Foundations(a)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Global Career Development(a)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、
                      「Global Career Development(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼13」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼22」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼19」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼19」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「英語C-1」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「英語C-2」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「フランス語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
                   「フランス語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
「フランス語C-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                    「フランス語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                    「日本語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
「日本語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                    「日本語 I-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
「日本語皿-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                    「日本語Ⅲ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
                    「日本語Ⅳ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                    「日本語Ⅳ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                    「肥後熊本学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼12」に変更
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                    「微分積分 I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
                    「微分積分II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
「線形代数I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
「線形代数I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼11」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                    「統計学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
教育上の効果を高めるため、
                   「物理学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
「化学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
・カリキュラム編成の調整により、「キャリア科目59」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
```

- ・教育上の効果を高めるため、「物理・科学I」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」へ変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「工学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授13」「助教1」から「教授1」「准教授1
- ・カリキュラム編成の調整により、「数学演習 I 」の専任教員等の配置を「教授1」「助教6」から「准教授1」「助教7」へ変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「工学英語 I」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授2」に変更。 ・教育上の効果を高めるため、「工学英語 II」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授2」「准教授2」に変更。 ・教育上の効果を高めるため、「社会と企業」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」へ変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物質材料工学基礎」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「高分子化学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「反応工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験 I 」の専任教員等の配置を「准教授 1 」「助教 2 」から「助教 2 」「兼担 1 」へ変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授1」「助教2」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「化学実験Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授3」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「化学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授8」「助教6」から「教授8」「准教 授9」「助教6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、 「応用生命化学教育プログラム専門科目」及び「応用物質化学教育プログラム専門科目」における「卒業研 究」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授8」「助教6」から「教授8」「准教授9」「助教6」に変更。 ・担当教員の昇任により、「材料物理化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「材料電気化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- ・担当教員の昇任により、「物行電気に子」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「腐食防食学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・教育上の効果を高めるため、「機器製作実習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「機械設計製図演習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「助教1」へ変更。 ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学実験・基礎編」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」 「准教授6」「助教2」に変更。
- ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学実験・応用編」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」 「准教授6」「助教2」に変更。
- ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学演習」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」「准教授 6 | 「助教2 | に変更
- 担当教員の昇任人の採用により、「物質材料工学教育プログラム 授6」「助教1」から「教授6」「准教授6」「助教2」に変更。 「物質材料工学教育プログラム専門科目」における「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教

#### 【令和2年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「文系のための数学入門(B)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「文系のための数学入門(a)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「数学の世界(B)」を新設。

- ・カリキュラム編成の調整により、「数学の世界(b)」の配当年次を「1·2①·②」から「1·2③·④」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理学入門(B)」の配当年次を「1·2①」から「1·2②」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理学入門(f)」の配当年次を「i・2①・②」から「i・2①・③」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「物理学入門(g)」の配当年次を「i・2①」から「i・2③」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「教養の化学(e)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「教養の化学(f)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、「生物の世界(a)」の配当年次を「1·2②」から「1·2③」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「生物の世界(d)」の配当年次を「1·2③」から「1·2④」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、
- ・教育上の効果を高めるため、「生物の世界(i)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「生物の世界(j)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「生物の世界(k)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、「豊かさを持続させるものづくり(A)」の配当年次を「1·2②」から「1·2①」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「豊かさを持続させるものづくり(B)」の配当年次を「1·2②」から「1·2後」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(F)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(N)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(I)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、 「現代心理行動学(c)」の配当年次を「1·24」から「1·22」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学(g)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、「言語の諸相(a)」の配当年次を「1·2①」から「1·2②」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「言語の諸相(b)」の配当年次を「1·2④」から「1·2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「モノが語る歴史(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2①」に変更。 ・クォーター制への移行により、「モノが語る歴史(d)」を配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
- 「地域の世界史(e)」を再開講。 教育上の効果を高めるため、
- 「地域の世界史(f)」の配当年次を「1·2後」から「1·2②」に変更 クォーター制への移行により、
- ・カリキュラム編成の調整により、「地域の世界史(i)」の配当年次を「1・2②」から「1・2③」に変更。

- ・教育上の効果を高めるため、「地域の世界史(j)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「日本社会の歴史(g)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、「日本社会の歴史(h)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、 「法学の基礎(A)」の配当年次を「1·2後」から「1·2前」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(I)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(J)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(a)」を新設。
- 「現代政治の諸相(B)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、
- ・教育上の効果を高めるため、「現代政治の諸相(C)」を新設。 ・教育上の効果を高めるため、 「最前線の社会文化研究(C)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(E)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、 「最前線の社会文化研究(1)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(m)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、 「最前線の社会文化研究(n)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解読(f)」を再開講。
- ・教育上の効果を高めるため、 「現代社会の解読(i)」を新設。
- ・カリキュラム編成の調整により、「自然と人間の地理学(b)」の配当年次を「1·2②」から「1·2③」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「自然と人間の地理学(f)」の配当年次を「1·2③・④」から「1·2③」に変更。

```
「物理学の世界(a)」の配当年次を「1·2①·②」から「1·2②」に変更。
「暮らしと化学(G)」の配当年次を「1·2前」から「1·2後」に変更。
「化学と環境(a)」の配当年次を「1·2①·③」から「1·2①」に変更。
 カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により、カリキュラム編成の調整により、
                          「地球環境科学の最前線(a)」の配当年次を「1·2③」から「1·2①・③」に変更。
「地球環境科学の最前線(b)」の配当年次を「1·2④」から「1·2②・④」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
カリキュラム編成の調整により。
                          「地球環境科学の最前線(g)」の配当年次を「1·2②」から「1·2③」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「地域づくりと科学技術(B)」を新設。
・カリキュラム編成の調整により、「ものづくりの科学と技術(D)」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしと情報・通信技術(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしと情報・通信技術(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「暮らしと情報・通信技術(C)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                       「健康の科学(C)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
                      「病気の医科学(B)」を再開講。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                       「病気の医科学(C)」を再開講
                      「臨床医学の最前線(B)」を再開講
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                       「心身の健康と看護(G)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「心身の健康と看護(a)」を新設
・教育上の効果を高めるため、「心身の健康と看護(b)」を新設
・カリキュラム編成の調整により、「医療における理工学(a)」の配当年次を「1·2③」から「1·2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「医療における理工学(c)」の配当年次を「1·2③」から「1·2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「薬科学入門(B)」の配当・教育上の効果を高めるため、「現代社会と薬学(B)」を新設。
                          「薬科学入門(B)」の配当年次を「1·2前」から「1·2後」に変更
・教育上の効果を高めるため、「現代社会と集子(D)」を制設。
・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(b)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(e)」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(f)」を新設。
教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(h)」を新設。
・カリキュラム編成の調整により、「現代と言語(a)」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(A)」を新設
・教育上の効果を高めるため、「暮らしの中の憲法」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                      「最先端の法学(C)」を新設。
・カリキュラム編成の調整により、「現代社会と経済(B)」の配当年次を「1·2後」から「1·2前」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「現代社会と経済(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、「現代社会と経済(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                      「現代の政治(A)」を新設。
教育上の効果を高めるため、
                       「現代の政治(a)」を再開講。
                      「学際科目5」を新設
教育上の効果を高めるため、
                       「学際科目31」を新設
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                      「学際科目32」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
                      「学際科目33」を新設。
                      「学際科目34」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
カリキュラム編成の調整により、
                         「Introduction to Science and Technology II (b)」の配当年次を「1·2①·②·③·④」から「1·2①·②·
④」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Socio-Cultural Studies(c)」の配当年次を「1·2①·②·③·④」から「1·2①·③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Socio-Cultural Studies(d)」の配当年次を「1·2①·②·③·④」から「1·2①·②·③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                          「Socio-Cultural Studies(f)」の配当年次を「1·2①・④」から「1·2①・③」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、
                          「Socio-Cultural Studies(g)」の配当年次を「1·2②·③」から「1·2②·④」に変更。
                      「Socio-Cultural Studies(i)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・カリキュラム編成の調整により、「Area Studies (a)」の配当年次を「1・2①・②・④」から「1・2①・②・③・④」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Area Studies (f)」の配当年次を「1・2①・②・③・④」から「1・2②・④」に変更。
・カリキュラム編成の調整により、「Area Studies (g)」の配当年次を「1・2①・②・③・④」から「1・2①・②・④」に変更。
・前年度未記入のため、「Area Studies(i)」の単位数を追記。
・カリキュラム編成の調整により、「物理学入門(A)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「兼2」に変更。・教育上の効果を高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼14」に変更。・教育上の効果を高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼22」から「兼21」に変更。
・教育上の効果を高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼19」から「兼18」に変更・教育上の効果を高めるため、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼14」から「兼15」に変更
                      「ドイツ語A-1」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
「ドイツ語A-2」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                       「ドイツ語C-1」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                       「ドイツ語C-2」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更
・教育上の効果を高めるため、
                       「フランス語A-1」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更
教育上の効果を高めるため、
                       「フランス語A-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                      「コリア語A-1」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
「コリア語A-2」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
カリキュラム編成の調整により。
                          「日本語C-2」の配当年次を「1·2前·後」から「1·2後」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
                       「日本語C-2」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
教育上の効果を高めるため、
                       「英語Ⅰ-1」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
                      「コリア語 |-2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
「日本語 |-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・カリキュラム編成の調整により、
                          「日本語Ⅱ-1」の配当年次を「2前」から「1·2前」に変更
                      「日本語Ⅱ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
「日本語Ⅱ-2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                       「日本語Ⅲ-1」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更。
                       「日本語Ⅲ-2」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                       「日本語Ⅳ-1」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
                       「日本語IV-2」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
                       「微分積分Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼8」に変更
                       「線形代数Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼11」から「兼10」に変更
教育上の効果を高めるため、
                       「体育・スポーツ科学(a)」を新設。
「体育・スポーツ科学(b)」を新設。
「キャリア科目17」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
・教育上の効果を高めるため、
                       「キャリア科目62」を新設。
「キャリア科目63」を新設。
・教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、
教育上の効果を高めるため、「開放科目1」を再開講。
```

- ・教育上の効果を高めるため、「開放科目5」を再開講。 ・教育上の効果を高めるため、「開放科目6」を再開講。

- ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目12」の配当年次を「1·2後」から「1·2①」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目12」の配当年次を「1·2後」から「1·2前・後」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目14」の面・教育上の効果を高めるため、「開放科目18」を新設。・教育上の効果を高めるため、「開放科目19」を新設。

- ・担当教員の昇任及び教育上の効果を高めるため、「工学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授13」から「教授2」「准教
- 「数学演習 I 」の専任教員等の配置を「准教授 1 」「助教 7 」から「准教授 1 」「助教 6 」へ変更。 ・カリキュラム編成の調整により、
- ・教育上の効果を高めるため、「工学英語I」の専任教員等の配置を「教授 1」「准教授 2」「海教授 1」「北教授 2」「兼 1」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「工学英語 I」の専任教員等の配置を「教授 2」「准教授 2」「准教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮教授 2」「淮 1」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「工学英語II」の専任教員等の配置を「兼 2」から「准教授 2」「兼 2」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「工学英語III」の専任教員等の配置を「兼 2」から「淮教授 2」「兼 1」へ変更

- ・カリキュラム編成の調整により、「社会と企業」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」 「准教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「有機化学基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「化学実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教2」から「准教授2」「助教1」へ変更。 ・教育上の効果を高めるため、「化学実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教2」から「准教授3」へ変更。

- ・教育上の効果を高めるため、「化学実験II」の専任教員等の配直を「准教授1」「明教2」がら「准教授3」へ変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験II」の専任教員等の配置を「推教授3」から「准教授2」「助教1」へ変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験II」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「准教授1」「助教2」へ変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、「生化学II」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」へ変更。
  ・教育上の効果を高めるため、「バイオテクノロジー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
  ・教育上の効果を高めるため、「電気化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「推教授2」へ変更。
  ・教育上の効果を高めるため、「電気化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「推教授2」「本教授2」「「本教授2」「大教授2」「開教6」がは「教授2」「

- ・担当教員の昇任により、「化学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授9」「助教6」から「教授9」「准教授 8」「助教6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「応用生命化学教育プログラム」及び「応用物質化学教育プログラム」における「卒業研究」の専任教員等の配置 を「教授8」「准教授9」「助教6」から「教授9」「准教授8」「助教6」に変更。 ・カリキュラム編成の調整により、「機器製作実習」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「助教1」へ変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「産業応用演習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」へ変更。
- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科日数

	設置時	の計画			変更	備考			
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 右	
73 科E	393 科目	0 科目	466 科目	77 科目 [4]	543 科目 [150]	0 科目 [0]	620 科目 [154]		

(注) · <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,	代替措置の有無
1	物理学入門(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
2	物理学入門(i)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
3	地球環境の現状と人類(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
4	倫理学入門(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
5	心と世界(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
6	思考と論理(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
7	モノが語る歴史(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
8	モノが語る歴史(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
9	地域の世界史(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 0	法学の基礎(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
1 1	現代経済問題の諸相(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 2	最前線の社会文化研究(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 3	最前線の社会文化研究(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 4	自然と人間の地理学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 5	自然と人間の地理学(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 6	自然と人間の地理学(C)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 7	数学と文化(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 8	数学と文化(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
1 9	暮らしと科学(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
2 0	暮らしと化学(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
2 1	化学と環境(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
2 2	化学と環境(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
2 3	化学と環境(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
2 4	最先端の生命科学(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
2 5	健康の科学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
2 6	心身の健康と看護(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
2 7	心身の健康と看護(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
	現代教育について考える(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
	現代教育について考える(0)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無	
3 0	現代と文学(c)	-	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無	
3 1	現代と文学(d) 最先端の法学(A)	2	1・2前	一般 一般 一般	選択選択	休講、代替措置無 休講、代替措置無	
3 3	現代社会と経済(c)	1	1・2前 1・2前		選択	休講、代替措置無	
3 4	現代社会と経済(d)	1	1・2後		選択	休講、代替措置無	
3 5	現代社会と経済(d) 現代社会と経済(e)	1	1・2後		選択	休講、代替措置無	
3 6	日本事情(C)	2	1・2版		選択	休講、代替措置無	
3 7	日本事情(D)	2	1・2街		選択	休講、代替措置無	
3 8	口平于1月(D) Introduction to Science and Technology I (a)	1	1・2前		選択	休講、代替措置無	
3 9	Introduction to Science and Technology II (a)	1	1・2前・後		選択	休講、代替措置無	
4 0	Basic Economics (b)	1	1・2億		選択	休講、代替措置無	
4 1	Music and Humanity(a)	1	1・2前		選択	休講、代替措置無	
4 2	Area Studies(c)	1	1・2前		選択	休講、代替措置無	
4 3	Area Studies(d)	1	1・2前		選択	休講、代替措置無	
4 4	Area Studies(E)	2	1・2前・後		選択	休講、代替措置無	
4 5	Technical English Communication(c)	1	1・2前・後		選択	休講、代替措置無	
4 6	Technical English Communication(d)	1	1・2前・後		選択	休講、代替措置無	
	5 :	· '	-33 12	rix.	~=1/\		

4 7	Technical English Communication(E)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
4 8	コリア語a-1	1	1前	一般	選択	休講、代替措置無
4 9	コリア語a-2	1	1後	一般	選択	休講、代替措置無
5 0	英語 Ⅱ -1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 1	ドイツ語皿-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 2	ドイツ語皿-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 3	フランス語 Ⅱ-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 4	フランス語 Ⅱ-2	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 5	中国語皿-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 6	中国語皿-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 7	コリア語皿-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 8	コリア語皿-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 9	ロシア語 Ⅱ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 0	ロシア語Ⅱ-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置無
6 1	日本語 I -1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 2	微分積分概論	2	1前	一般	選択	休講、代替措置無
6 3	線形代数概論	2	1後	一般	選択	休講、代替措置無
6 4	キャリア科目4	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
6 5	キャリア科目8	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 6	キャリア科目58	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 7	開放科目 2	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 8	開放科目3	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
6 9	開放科目7	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

### (4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養教育の開講科目については、各教員の授業コマ数等に応じて毎年度変更を行っており、履修上の 問題はない。

学生への周知方法としては、開講する科目の時間割表を配付し、さらに掲示版に最新の時間割表を貼付すること等により、十分周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

## 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分						内					;	容				備考
(1)		区	分			専	F	3	;	共	用		共用する 学校等の				計		放送大学熊本学習セン ターとの共用623㎡ 地上権設定者:財団法 人熊本テクノポリス財
		校翁	舎 敷 坩	<u>t</u>		475, 0	24 (20,	770) m²			623r	ที่		(	)m²	475, 6	647 (20,	, 770) m <sup>°</sup>	団 地上権設定期間: H29.9.1から3年間 19,945㎡
校		運動	协場用地	ļ.		39, 7	52 (	0) m²			0r	ń		(	)m²	39, 7	'52 (	0) m <sup>8</sup>	貸与者:熊本市 借用期間:H29.4.1か らH30.3.31(以降、毎
地		小	<del>āl</del>	-		514, 7 <sup>°</sup>	76 (20,	770) m <sup>*</sup>			623r	ń		(	)m²	515, 3	399 (20,	, 770) m <sup>*</sup>	年度更新)494㎡ 貸与者:益城町 借用期間:H30.10.1か らR2.9.30(以降、毎
等		7	の他	ļ.		144, 2	93 (	0) m²			0r	ń		(	)m²	144, 2	93 (	0) m <sup>8</sup>	年度更新) 331㎡
		合	ā	-		659, 0	69 (20,	770) m <sup>‡</sup>			623r	ń		(	)m²	659, 6	92 (20,	, 770) m <sup>°</sup>	
						専	用	1	;	共	用		共用する 学校等の				計		
(2) 校			舎				457	, 740m²			0r		1 12 13 03	1, 112	2m²		458	8, 852m²	放送大学熊本学習セン ターの専用1,112㎡
					(	4	457, 74	0m²)	(		0m²)	(	1,	112m²)	(		458, 85	52 <b>m</b> ²)	) () () () () () () () () () () () () ()
		講義室			演習	室室		実験実	習室	情報処	1理学習	施設	語	学学習:	施設				
(3) 教		室	等			122	室		90	0室		1, 206室		職員	9室 6人)	(補助	肋職員	13室 3人)	大学全体
(4) 南	 					親	f設学部	等の名	称				室		数			専任教員の就任等のため	
(4) ਚ	工事	ラック	ι±				工学部	<b>材料</b>	・応用	化学科	ļ			39	38			室	(2)
				[	図	書		学術	雑誌				視聴覚	咨判	機械・	架目	標	本	
(5)	亲	新設学語 の名		〔う	ち外国	国書〕		〔うちタ	【鲁囯/		電子ジャー	ーナル	176400 50	. <del>.</del>	152,152	THE 75	175	~	
							₩			種	[うち外]	国書〕		点		点		点	
図書		大学全	·休	1, 255, 9	75 (48	2, 340)	2	1, 266 [	7, 207)	17	7, 031 〔15,	706)		2, 184	6	7, 684		35	
· 設		<i>/</i> / 1 -	·rr	(1, 255	, 975 [4	82, 340)	) (2	21, 266 (	7, 207)	)	(17, 031 [15	5, 706〕)	(2, 1	84)	(67, 6	84)	(	35)	
備		計		1, 255, 9	75 (48	2, 340)	2	1, 266 [	7, 207)	17	7, 031 〔15,	706)	2	2, 184	67	, 684		35	
		н		(1, 255	, 975 (4	82, 340)	) (2	21, 266 (	7, 207)	)	(17, 031 [15	5, 706〕)	(2, 1	84)	(67, 6	84)	(	35)	
(6) 図		書	館		面		ħ	責			閲覧座	席数		収	!納 雨	可 能	₩	数	大学全体
(0)			и					12, 347	7 m²				936				1, (	035, 084	
(7) 体							ħ	責			1	本育館以	外のスポ	ーツ施	設の概要	更			大学全体
,						8, 245	m 陸」	上競技	場、ラグb	一場、十	ナッカー	場、テ	ニスコー	-ト 🤄	等				
		経費	D	Σ	分		開設	年度	完成	年度	区	分	開設前	ī年度	開設年	F度	完成	<b></b>	
(8) 奴弗 <i>(</i> 7			教員 1	人当り	研究	費等		千円		千円		構入費		千円		千円		千円	ł
経費の積り及	びど		共 同	研 3				千円		千円	1	構入費	<u> </u>	千円		千円		千円	
	維持方法の概要			第	1 年 2		第	2年次		第34	-	第 4 年		第	5年次	-	第6年		
	納付金					千円		<del>f</del>	円		千円		千円		千	H		千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要						既要												

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4. 既設大学等の状況

大学の名称	熊	本 大	学										備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度			年度		
【学部】			人											
文学部	4	170	10	700		1.06	1. 05	_		熊本県熊		区黒髪 2		
総合人間学科	4	55	_	220	学士	1. 03	1. 01	_	平成17年度	1 8 4 01	同上			
歴史学科	4	35	_	140	学士	1. 07	1. 05	_	平成17年度		同上			
文学科	4	50	_	200	(文学) <b>学士</b> (文学)	0. 96	0. 94	_	平成17年度		同上			
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士	1. 27	1. 33	-	平成17年度		同上			
学部共通			3年次 10	20	学士	-	-	-	平成11年度		同上			
教育学部	4	230	-	920		1. 06	1. 05	-		熊本県熊	本市中央 番1号	区黒髪 2		
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士	1. 02	1. 01	-	昭和24年度		同上			
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士 (教育学)	1. 12	1. 11	-	昭和24年度		同上			
特別支援教育教員 養成課程	4	20	-	80	学士	1. 11	1. 05	-	平成19年度		同上			
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1. 04	1. 03	-	昭和52年度		同上			
法学部	4	210	10	860		1. 02	1. 01	-		熊本県熊	本市中央 番1号	区黒髪2		
法学科	4	210	-	840	学士	1. 02	1. 01	-	平成16年度		同上			
学部共通			3年次 10	20	学士	-	-	-	平成12年度		同上			
理学部	4	200	-	800		1. 02	1. 02	-		熊本県熊		区黒髪2		
理学科	4	200	-	800	学士	1. 02	1. 02	-	平成16年度		同上			
<u>医学部</u>														
<u>医学科</u>	6	110	-	685	学士	1. 00	1.00	令和2年度					定員変更	₹ (△5)
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1. 02	1. 01	-	平成15年度	熊本県熊2	本市中央 4番1号	区九品寺		
保健学科共通			3年次 16	32	学士(看護学、保健学)	-	-	-	平成18年度		同上			
薬学部														
薬学科	6	55	-	330	学士	1. 02	1. 03	-	平成18年度	熊本市中 1号	央区大江	本町5番		
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1. 05	1. 08	-	平成18年度		同上			
<u>工学部</u>	4	513	45	1584		1. 02	1. 01	-		熊本県熊	本市中央 番1号	区黒髪2		
<u>土木建築学科</u>	4	124	3年次 10	382	学士	1. 04	1. 02	-	平成30年度		同上			
機械数理工学科	4	109	3年次 10	337	学士	1. 01	0. 99	-	平成30年度		同上			
<u>情報電気工学科</u>	4	149	3年次 20	467	学士 <sup>(エ学)</sup>	1. 03	1. 03	-	平成30年度		同上			
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	398	学士 <sup>(工学)</sup>	1. 01	1. 01	-	平成30年度		同上			
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 <sup>(エ学)</sup>	-	-	-	平成18年度		同上		募集停止	
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 <sup>(エ学)</sup>	-	-	-	平成18年度		同上		募集停止	
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 <sup>(エ学)</sup>	-	-	-	平成18年度		同上		募集停止	
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 <sup>(エ学)</sup>	-	-	-	平成18年度		同上		平成30年 募集停止	より学生
建築学科	4	-	-	-	学士 <sup>(エ学)</sup>	-	-	-	平成18年度		同上		募集停止	
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 <sup>(工学)</sup>	-	-	_	平成18年度		同上		平成30年 募集停止	より学生

数理工学科	4	_	_	_	学士	_	_	_	平成18年度	同上	平成30年より学生
	4	_	3年次	-	学士	_	-	-	1 72 1 12	同上	募集停止 平成30年より学生
学部共通			-	_	(工学)	_		_	平成10年度	旧工	募集停止
大学院教育学研究科											
(修士課程)											
学校教育実践専攻	2	_	_	_	修士	_	_	_	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	令和2年より学生募
教科教育実践専攻	2	_	_	_	修士	_	_	_	平成21年度	T 目 4 0 番 1 号 同上	集停止 令和2年より学生募
(専門職学位課程)					(教育学)				1 10,21 7 10	PJ	集停止
教職実践開発専攻	2	30	_	45	教職修士	1. 09	0. 93	_	平成29年度	同上	研究科の専攻の設
<u> </u>		00		40	(専門職)	1.00	0.00		1 10,20 - 10	PJ	置(事前伺い)
大学院社会文化科学教育部											
(博士前期課程)											
法政・紛争解決学専攻	2	25	_	44	修士	0. 50	0. 60	_	<b>今和元年度</b>	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
					(法学、公共政策 学、学術)	0.00	0.00				平成31年より学生
公共政策学専攻	2	_	-	-	(公共政策学、学 術)	-	-	-	平成20年度	同上	募集停止 平成31年より学生
法学専攻	2	-	-		修士 (法学) 修士	-	-	-	平成20年度	同上	募集停止
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	(文学、法学、学 術)	1. 08	1. 16	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士修士	1. 10	1. 05	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	2	15	-	30	<b>『多 上</b> (教授システム 学、学術)	1. 16	1. 13	-	平成20年度	同上	
(博士後期課程)					博士						
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	(文学、法学、公 共政策学、学術)	0. 94	1. 33	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0. 27	0. 16	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1. 11	1.00	-	平成20年度	同上	
<u>大学院自然科学教育部</u>											
(博士前期課程)											
理学専攻	2	110	-	220	修士	0. 76	0. 73	-	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	150	修士	1. 15	1. 13	-	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	130	修士	1. 21	1. 23	-	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	206	修士	1. 05	1. 04	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻	2	90	-	180	修士	0. 98	0. 97	-	平成30年度	同上	
(博士後期課程)											
<u>理学専攻</u>	3	12	-	36	博士	0. 82	0. 66	-	平成30年度	同上	
<u>工学専攻</u>	3	46	-	138	博士	0. 58	0. 39	-	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科											
(博士前期課程)					htr !					************	平成30年より学生
理学専攻	2	-	-	-	修士	-	-	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	平成30年より学生 募集停止 平成30年より学生
数学専攻	2	-	-	-	修士	-	-	-	平成22年度	同上	平成30年より学生 募集停止 平成30年より学生
建築学専攻	2	-	-	-	修士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
(博士後期課程)					. 4.						亚라20左上니쓰上
理学専攻	3	-	-	-	博士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止 平成30年より学生
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止 平成30年より学生
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
大学院医学教育部											
(修士課程)					ļ						

Ī	1 1	l i	I	Ī	<i>₩</i> <del>-</del> _∟	1 1	l i		i	Ì	ı
医科学専攻	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生 命科学)	0. 92	1. 00	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1 丁目1番1号	
(博士課程)											
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科 学、健康生命科 学)	0. 83	0. 71	-	平成20年度	同上	
					77						
大学院保健学教育部											
(博士前期課程)											
保健学専攻	2	24	-	48	修士 (保健学、看護 学)	0. 93	1. 08	-	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺 4丁目24番1号	
(博士後期課程)											
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護 学)	1.00	1. 00	-	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部											
(博士前期課程)											
創薬・生命薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生 命科学)	1. 00	1. 00	-	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番 1号	
(博士後期課程)											
創薬・生命薬科学専攻	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科 学、健康生命科 学)	1. 26	1.00	-	平成24年度	同上	
(博士課程)					<del>+</del> )						
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士	0. 81	1. 00	-	平成24年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学部 材料・応用化学科>

(1)一① 担当教員表

【認可時又は届出時】	【平成30年度】	【令和元年度】	【令和2年度】

							_						
職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任	-	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任	且・ 壬	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名				担当授業科目名				担当授兼科目名				担当授業科目名
	安藤 新二 <平成30年4月> 博士(学術)				安藤 新二 <平成30年4月> 博士(学術)				安藤 新二 <平成30年4月> 博士 (学術)				安藤 新二 <平成30年4月> 博士 (学術)
教授	エ学と受験 イン質を発生を 生物を 生物を を を で で で で で で で で で で で で で		専	教授	工学基礎・文字を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	専	*	教授	インターンシップ インターンシップ インターンシップ 特殊の大学学 報報では学 破球プラミング演習 物質材料工学実験・応用編 物質研究に相第工学演覧 が質研大学、変 物質が成立で、 1 社会とでより の科学と技術(H) 開放科目12	Ę	<b>事</b>	教授	インターンシップ 格子最繁性学 プラミング演習 機器を対する主要性学 受けままで実験・必用 機器を対料工で実験・必用編 物質材料工で実験・必用編 物質を対料工で変換する の質が対対による。 の利学と技術(H) 開放料目12
	伊田 進太郎				伊田 進太郎				伊田 進太郎				伊田 進太郎
	<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)
教授	無機化学基礎 無機化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)		専	教授	無機化学基礎 無機化学耳 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	*	教授	工学美語 Ⅰ 無機化学基礎 無機化学 Ⅱ 化学 □ ミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) 社会と企業	Ī	専	教授	工学英語 I 無機化学基礎 無機化学 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
	井原 敏博				井原 敏博				井原 敏博				井原 敏博
	<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)
教授	分析化学 I 分析化学 II 化学コミュニケーション 卒業研究 (応用生命化学・応用 物質化学)		専	教授	分析化学 I 分析化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	孝	教授	分析化学 I 分析化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	=	專	教授	分析化学 I 分析化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
	河村 能人	i			河村 能人				河村 能人				河村 能人
	<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)
教授	工学基礎実験 物質材料工学基礎 磁性材料工学 II 粉体加工学 II 粉体加工学 II 粉質材料工学 EI 粉質質料料工学实験 · 基礎編 物質材料工学实験 · 亦用編 物質材料工学演習 不可能的物質材料工学。 新期報工学等。 新期報工学的 等可能到工作。 等可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能		専	教授	工学基礎実験 物質材料工学 ! 磁性材料工学 ! 粉体加工学 ! 粉体加工学 ! 粉体加工学 !! 粉質材料工学実験 · 応用編 物質材料工学実験 · 応用編 物質材料工学演演材料工学 全業研究 (りの科学と技術(H)	専	*	教授	磁性材料工学 I 磁性材料工学 II 粉体加工学 I 粉体加工学 I 粉体加工学 I	Į	事.	教授	磁性材料工学 I 磁性材料工学 II 粉体加工学 I 粉体加工学 II 粉体加工学 II 物質材料工学実験 · 基礎編 物對和工學実験 · 应用編
					QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 博士(工学)				QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 博士(工学)				QUITAIN ARMANDO TIBIGIN 〈平成30年4月〉 博士(工学)
			専	教授	数学演習 I 化学実験 V 化学コミユニケーション・ 本業研究(応用生命化学・応 用物質化学) Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology I (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (b)	專	4	教授	化学実験V 化学コミュニケーション 李書研究(佐用生命化学・ 応用物質化学) Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology II (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (d)	THE STATE OF THE S	<b>事</b> 守	教授	化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・ 応用機宜化学) Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology I (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (c) Introduction to Science and Technology II (d)
	教授教授教授	職名	職名	世界 (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学)	職名	展名 (年 (年 (年 ) 年 ) 年 ) 年 ) 年 ) 年 ) 年 ) 年 )	展生・ (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	展名	無名	## 1	## 1	### (	### ( # 20

亩に.		-	<b>*</b>	α.			亩圧			亩圧		<del>                                     </del>
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専兼兼	担・任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		木田 徹也	<b> </b>			木田 徹也			木田 徹也			木田 徹也
		<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専		反応工学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学) 分離工学		専	教授	反応工学 化化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) 分離工学	専	教授	工学英語 I 反応工学	専	教授	工学英語 I 反応工学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)分離工学
		國武 雅司				國武 雅司			國武 雅司			國武 雅司
		<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専		高分子化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)		専	教授	高分子化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)	専	教授	化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)	専	教授	社会と企業 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)
		栗原 清二	-			栗原 清二			栗原 清二			栗原 清二
		<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 辛業研究(応用生命化学・応用 物質化学) ものづくりの科学と技術€	:	専	教授	有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術€	専	教授	有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	教授	有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
										*	教授	高島 和希 〈令和2年4月〉 工学博士  破地工学  鉄鋼材料学
												高藤 誠 〈平成30年4月〉 博士(学術)
										専	教授	工学基礎実験 有機化学基礎 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		連川 貞弘				連川 貞弘			連川 貞弘			連川 貞弘
		<平成30年4月> 博士(工学)				<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専		工学基礎実験 結晶回因 計學 村変解材学 村変解材料学 機器製作其工学 質材料工学等 物質材料工学 完體 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等		専	教授	工学基礎実験 結晶回と熱力学 相整原於 財力学 相整原材料学 機器製作実習 等等 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学实験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	教授	結晶回折学 状態図と熱力学 柱変態論 動物質材料学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験 必質材料工学実験 卒業研究(物質材料工学)	専	教授	結晶回折学 状態図と熱力学 相変態論 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
		新留 琢郎 <平成30年4月> 博士(理学)				新留 琢郎 <平成30年4月> 博士(理学)			新留 琢郎 <平成30年4月> 博士(理学)			新留 琢郎 <平成30年4月> 博士(理学)
専		生化学 I 生化学 I 生化学 I 化学コミュニケーション 字書研究(応用生命化学・応用 物質化学) ものづくりの科学と技術(G)		専	教授	生化学 I 生化学 I 生化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学・ 社会と企業 ものづくりの科学と技術(G) キャリア科目52 キャリア科目53	専	教授	工学英語 II 生化学 I 生化学 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(G)	専	教授	工学英語 I 生化学 I 化学コミューケーション バイオテクノロジー 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(G)

専任・		r. 9	専任・		E 8	専任・		т. 9	専任・		E 8
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		町田 正人			町田 正人			町田 正人			町田 正人
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士 (工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	物理化学 I 物理化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究 (応用生命化学・応用 物質化学)	専	教授	物理化学 I 物理化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	教授	物理化学 I 物理化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	教授	物理化学 I 物理化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		松田 元秀			松田 元秀			松田 元秀			松田 元秀
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	工学基礎実験 物性物理学基礎 固体的性学 堪能材料学 七方前对料工学等 的質材料工学等実験,必用編 物質材料工学实験。必用編 物質材料工学资質 等研究(物質材料工学)	専	教授	工学基礎実験 物性物理学基礎 固体物性学 セラは料工学、表示 ・ 本語 中華 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本語 ・ 本	専	教授	物性物理学基礎 固体物性学 機能材料学 セラミックス材料工学 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	幸	教授	物性物理学基礎 固体物性学 セライスを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
					峯 洋二			峯 洋二			峯 洋二
					<平成30年4月> 博士			<平成30年4月> 博士			<平成30年4月> 博士
			専	教授	工学基礎実験 結晶学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験。応用編 物質材料工学美演習 卒業研究(物質材料工学)	専	教授	結晶学 材料力学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	教授	結晶学 材料力学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
								山崎 倫昭			山崎 倫昭
								<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
						専	教授	工学基礎実験 材料物理化学 成准的 (本學 成會的 (本學 物質材料工学更 (本學 物質材料工学実験) 小的質材料工学实験 的質材料工学, 等類研究(物質材料工学) 物質材料工学, 等類研究(物質材料工学) 等質研究(物質材料工学) 等質材料工学)	専	教授	工学基礎理化学 材料物電気化学 簡食防食企学 物質材料工工学实際 物質材料工工学实験 亦成用編 物質材料工工学实质 卒業研究(物質材料工学) 物質材料工学主機
								大山 順也			大山順也
								<平成30年6月> 博士 (工学)			<平成30年6月> 博士(工学)
						*	准教 授	工学英語 I 工学英語 I 数学演習 I 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・ 応用物質化学)	*	准教授	工学基礎実験 工学英語 I 工学英語 I 数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・ 応用物質化学)
		鯉沼 陸央			鯉沼 陸央			鯉沼 陸央			鯉沼 陸央
		<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	工学基礎実験 無機化学 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	准教授	工学基礎実験 無機化学I 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教授	物理・化学 I 工学基礎実験 無機化学 I 化学字験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教授	物理・化学 I 工学基礎実験 無機化学 I 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		小塚 敏之			小塚 敏之			小塚 敏之			小塚 敏之
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専		工学基礎実験 教学演習I 移制速度論 裁固翻製製工学 數數數科料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学等 物質材料工学等 物質材料工学等 等。 不可能 等。 不 等。 不 等。 不 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	専	准教授	工学基礎實工 移動生演度 終顯製鍊工学 辨類製鍊工学 物質材料工学字験,必是編編 物質材料工工学演習材料工学) 物質材料工学演習 卒業研究(物) 物質材料工学) 物質材料型、企業和 學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	専	准教授	工学基礎実験 移動に度論 数固工学学 禁鉄製製練工学 物質材料工学実験・基礎編編 物質材料工学実験。応用編 物質材料工学資材料工学 李業研究(物質材料工学) 物理学の世界(A)	専	准教授	工学基礎実験 移動速度等 級固工建築 鉄鋼製建工学 物質材料工工学実験・応用編 物質材料工工学実演 で業研究(物質材料工工学) 物理学の世界(A)
専		製学數層習 I 移動 E 移動 E 發射 E 發射 E 發射 E 等 E E E E E E E E E E	専		移動速度論 凝固工学 對類製鍊工学 非數類執工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理學人門(A)	専		移動速度論 凝固工學 致數類學工学 非教質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験。 吃用編 物質材料工学實質 物質材料工学實質 物質材料工学的質材料工学)	専		移凝鉄非物物物容業物物質業

職名	氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名	専任・		E 50	専任・	l	i I
	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
İ	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
							坂田 眞砂代			坂田 眞砂代
						***	<平成31年4月> 博士 (工学)		**	<平成31年4月> 博士 (工学)
					*	授	物理·化学 I 高分子化学	#	授	物理·化学 I 高分子化学
	佐々木 満 <平成30年4月>			佐々木 満 <平成30年4月>			佐々木 満			佐々木 満 <平成30年4月>
	博士(工学)		V4 ML	物理・化学Ⅱ		VI ML	博士(工学)			博士(工学)
授	化学実験 V 環境150 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	授	工学基礎実験 化学実験 V 環境 ISO 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(0)	専	授	上子基礎美限 <b>反応工学</b> 化学実験 V 環境 ISO 保学コニュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	授	工学基礎実験 <b>亿字実験Ⅲ</b> 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
	杉本 学 <平成30年4月>			杉本 学 <平成30年4月>			杉本 学 <平成30年4月>			杉本 学 <平成30年4月>
	博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)
授	量子化学 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用	専	准教 授	工学基礎実験 量子化学 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(6)	専	准教 授	工学基礎実験 量子化学 化学コミット 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教 授	工学基礎実験 量子化学 化学工学験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
	高藤 誠			高藤 誠			高藤 誠			
	<平成30年4月> 博士(学術)			<平成30年4月> 博士(学術)			<平成30年4月> 博士(学術)			
授	有機化学基礎 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用	専	准教 授	工学基礎実験 有機化学基礎 化学実験II 化学コニュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教 授	工学基礎実験 有機化学基礎 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)			
	西山 勝彦			西山 勝彦			西山 勝彦			西山 勝彦
	<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
按	化学実験♥ 電気化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験V 電気化学・ 電気化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験V 電気化学 電気化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験工 電気化学ュニンケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
	橋新 剛			橋新 剛			橋新 剛			橋新 剛
	<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
授	工学基礎実験 数学演習 II 数子材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習	専			専	准教 授	物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 数学演習Ⅱ 電子材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教 授	物理·化学工工学基礎實施 工学基礎實施 電子材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学表數·応用編 物質軟料工学表數·応用編 物質軟工學表數
	深港 豪 <平成30年4月> 博士(丁学)			深港 豪 <平成30年4月> 博士(丁学)			深港 豪 <平成30年4月> 博士(丁学)			深港 豪 < 平成30年4月> 博士(工学)
<b>作</b> 数 7			准邺	サエ (エナ/		准邺			<b>.4.9</b>	物理・化学Ⅰ
	化学実験 Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用	専	授	有機化学 I 化学実験 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	授	物理・化学 I 有機化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	授	<b>物理・化子</b> 工 <b>学基礎実験</b> 有機化学 I <b>化学実験 V</b> 化学コミュニケーション で第750 (応用生命化学・応 用物質化学)
the state of the s	型         教長         教長         教長         教長	※ 表示	教授   (本学)   本   (本学)   本   (本学)   本   (本学)   本   (本学)   本   (本学)   本   (本学)   (x   x   x   x   x   x   x   x   x	本表   本表   本表   本表   本表   本表   本表   本表	マー成30年4月>   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   博士(工学)   東   准教   世学基礎実験   世学基礎実験   世学基礎実験   世学素研究(応用生命化学・応用物質化学)   ものづくりの科学と技術(0)   杉本 学   「平成30年4月>   博士(工学)   東   上学基礎実験   世学素研究(応用生命化学・応用物質化学)   中   中   上学基礎実験   世学素研究(応用生命化学・応用物質化学)   中   中   上学基礎実験   世学素研究(応用生命化学・応用物質化学)   中   「中   上学基礎実験   世学表研究(応用生命化学・応用物質化学)   中   一   上学基礎実験   世学素研究(応用生命化学・応用物質化学)   中   東   上学基礎実験   世学実言ユニケーション   平成30年4月>   博士(工学)   東   上学基礎実験   世学実言ユニケーション   平成30年4月>   博士(工学)   東   上学基礎実験   世学実言ユニケーション   平成30年4月>   博士(工学)   東   上学基礎実験   世報士(工学)   東   上学基礎実験   世報士(工学)   東   上学基礎実験   世報士(工学)   東   上学表研究(応用生命化学・応用物質化学)   東   上学基礎実験   世報士(工学)   東   上学基礎実験   世報士(工学)   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   世報子研究(応用生命化学・応用物質化学)   東   上学基礎実験   世報子研究(応用生命化学・応用物質化学)   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   東   上学基礎実験   本   上学表研究(応用生命化学・応用編物質材料工学実験 - 基礎網   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   上学表研究(物理材工学)   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   東   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   東   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   東   上学表研究(物理材工学)   東   東   上学表研究(物理材料工学)   東   上学表研究(地学学、応用格研学学、応用格研学学、応用格研学学、応用格研学学、応用格研学学、応用格研学学、応用格研学学、定用格研学学、企用格研学学、定用格研学学、企用格研学学、定用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企用格研学学、企	(佐々木 漢)	(使々々本 酒	(塩々木 満   (塩々木 満   (塩々木 満   (塩々木 満   (里水が生き目)   (塩々木 満   (里水が生き目)   (塩々木 満   (里水が生き目)   (塩々木 満   (里水が生き目)   (塩木 (工字)   (塩々木   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (塩ҳ   (шҳ	## (本の本 漢	### (本の本 選

亩ヶ			また		1	また	1		末尺		
専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								松川養孝			松川養孝
								<平成31年2月> 博士 (工学)			<平成31年2月> 博士 (工学)
						*	准教授	工学英語 I 工学英語 I 工学基礎実験 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	*	准教授	工学英語 I 工学英語 I 工学英語 I 工学英語 I 社会と企業 非統会與学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
		松田 光弘			松田 光弘			松田 光弘			松田 光弘
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士 (工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	准教授	物理・化学 I 工学基礎実験 固体器與作業 物質材料工工学実験 · 基礎編 物質材料工工学实验 · 店用編 物質研料工工学实验 可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	専	准教授	物理·化学I 工学基礎実験 固体内の拡散 機器製作家習 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学支演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教授	物理・化学 I 工学基礎実験 固体内の拡散 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教授	物理·化学工工学英語Ⅲ 工学英語Ⅲ 团体内部址学实验Ⅲ 物質材料工学实验 种質材料工学实验 卒業研究(物質材料工学)
		眞山 剛			眞山 剛			眞山 剛			眞山 剛
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	准教 授	工学基礎実験 物理学基礎 對性加工学 非數質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教授	工学基礎実験 物理学基礎 塑性加工学 非鉄位 医学 非铁位 医学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教授	工学基礎実験 數學實學基礎 塑性加工学 非鉄造區學 優數數作文學 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)	専	准教授	工学基礎實置工工學表語U 工學英語U 工學英語U 地理学基語 物質材料工学学表験 · 応用編 產業的用減量 物質材料工學資演 物質材料工學
		峯 洋二 <平成30年4月> 博士(工学)									
専	准教授	工学基礎実験 結晶料力学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 平業研究(物質材料工学)									
		森村 茂			森村 茂			森村 茂			森村 茂
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	准教 授	工学基礎実験 化学実験面 バイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学) ものづくりの科学と技術(D)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験皿 パイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験Ⅱ 化学実験Ⅲ パイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験 I 生化学 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
		山崎 倫昭 <平成30年4月> 博士(工学)			山崎 倫昭 <平成30年4月> 博士(工学)						
専	准教 授	工学基礎実験 材料物理化学 材料電気化学 腐食防食学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質或研究(物質材料工学) 字業研究(物質材料工学)	専	准教 授	工学基礎実験 材料物気化学 腐食防食学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 等で死、(物質材料工学) 社会と企業 ものづくりの科学と技術(H)						

専任・			専任・		I	専任・	1		専任・	ī	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	等担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		横井 裕之			横井 裕之			横井 裕之			横井 裕之
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	准教 授	工学基礎実験 物理學基礎 物性物理学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A)	専	准教 授	工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学実演習 卒業研究(物質材料工学) 物理學人門(B)	専	准教 授	工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験·基礎編 物質材料工学実演習 卒業研究(物質材料工学) 物理科人門(B)	専	准教 授	工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験·応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理學人門(B)
		吉本 惣一郎			吉本 惣一郎			吉本 惣一郎			吉本 惣一郎
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	准教 授	物理・化学 II 工学基礎実験 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学) ものづくりの科学と技術(E)	専	准教 授	物理・化学II 工学基礎実験 化学実験I - ケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学・応 ものづくりの科学と技術(E)	専	准教 授	工学基礎実験 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(E)	専	准教 授	工学基礎実験 化学実験面 電気化学 環境150 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学) ものづくりの科学と技術(E)
		井上 尚夫			井上 尚夫						
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
専	准教 授		専	准教 授	微分積分I 微分積分II 文系のための数学入門(A) 数学の世界(a)						
		村里 泰昭			村里 泰昭						
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
専	准教 授		専	准教 授	英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-2 キャリア科目51						
								郭 光植			郭 光植
								<平成31年4月> 博士 (工学)			<平成31年4月> 博士 (工学)
						*	助教	物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 本業研究(物質材料工学)	*	助教	物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 本業研究(物質材料工学)
		勝田 陽介			勝田陽介			勝田 陽介			勝田陽介
		<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士(理学)
専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	インターンシップ 数学演習 I 化学実験 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	インターンシップ 数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		北原 弘基			北原 弘基			北原 弘基			北原 弘基
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	エ学基礎実験 イセターンシップ 模様対計製図演習 物質材料工学実験・応用編 産物質研料工学演験・応用編 産物質研究(物質研究) 産物質研究(物質研究)	専	助教	工学基礎実験 インターンショット 機械設計製学シップ 機械設計製学実験・応用 物質材料工学実験・応用編 産業応用演選学演習 演習 等で用類な関係を で発表した。 を で を で を で の で の で の で の で の で の で の で	専	助教	数学演習 I インターンップ 機械設計製学学 物質材料工学実験・応用編 整定業応用演習演習 物質材料工学実験・応用編 を産業応用演習演習 演習 本業研究(物質材料工学)	専	助教	インターンシップ 機器製作実習 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
		QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 博士(工学)									
専	助教	数学演習 I 化学実験 V 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			保有学位等 			保有学位等 ————————————————————————————————————			保有学位等 ————————————————————————————————————
		北村 裕介			北村 裕介			北村 裕介	-		北村 裕介
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コニーケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		金 善南 <平成30年4月> 博士(工学)			金 善南 <平成30年4月> 博士(工学)			金 善南 <平成30年4月> 博士(工学)			金 善南 <平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学主義 I 化学コミュニケーション 卒業研究 (応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 I 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		桑原 穣			桑原 穣			桑原 穣			桑原 穣
		<平成30年4月> 博士			<平成30年4月> 博士			<平成30年4月> 博士			<平成30年4月> 博士
専	助教	数学演習 I 化学実験 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 II 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験 V 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
		日隈 聡士 〈平成30年4月〉 博士 (工学)			日隈 聡士 〈平成30年4月〉 博士 (工学)						
専	助教	数学演習 I インターンシップ 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I インターンシップ 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)						
								芳田 嘉志			芳田 嘉志
								<平成31年4月> 博士 (工学)			<平成31年4月> 博士(工学)
						*	助教	数学演習 I 化学コミュニケーション 本業研究(応用生命化学・ 応用物質化学)	*	助教	数学演習 I 化学実験IV 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・ 応用物質化学)
		渡邉 智			渡邉 智			渡邉 智			渡邉 智
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	数学演習 I 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用 物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)	専	助教	数学演習 I 化学実験▼ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応 用物質化学)
					相田 光宏			相田 光宏			
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)			
					最先端の生命科学 (e)			最先端の生命科学 (e)			
		赤井 一郎			赤井 一郎			赤井 一郎			赤井 一郎
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授	開放科目2	兼担	教授	物理学! 物理学!! 物理学基盤実験	兼担	教授	物理学I 物理学II	兼担	教授	物理学I 物理学II
		安仁屋 勝			安仁屋 勝			安仁屋 勝			安仁屋 勝
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (学術)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)
		物理学入門(c) 物理学入門(d)		兼担 教技	物理学入門(c) 物理学入門(d)			物理学入門(c) 物理学入門(d)			物理学入門(c) 物理学入門(d)
				兼担 教授	新井 英永			新井 英永			新井 英永
			# 40		〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)
			<b>本</b> 型	***	現代世界の形成と課題 (b)	<b>本</b> 型	**12	現代世界の形成と課題(b) 現代世界の形成と課題(e)	<b>本社</b>	****	現代世界の形成と課題(b)

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
L	L	担当授業科目名	]		担当授業科目名			担当授業科目名	L	L	担当授業科目名
		荒木 不次男			荒木 不次男			荒木 不次男			
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(工学)			
	2.4.2.	医療における理工学(c)			医療における理工学(b) 医療における理工学(e)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		医療における理工学(b)			
		荒木 喜美									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	41								
		最先端の生命科学(a)									
			1		有次 正義						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					暮らしと情報・通信技術(b)						
		有馬 英俊 〈平成30年4月〉									
兼担	教授	現代社会と薬学(A)	11								
			┨┣—		Array Arts			飯田 全広	-		
					飯田 全広 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			
			兼担	教授	(十成30年4月/	兼担	教授	博士(工学)			
					暮らしと情報・通信技術(b)			暮らしと情報・通信技術(b)			
					池上 知顯			池上 知顧			池上 知顧
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(工学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (工学)
					暮らしと情報・通信技術(o)			暮らしと情報・通信技術(o)			暮らしと情報・通信技術(C)
		磯部 博志			磯部 博志			磯部 博志			磯部 博志
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授		兼担	教授	地学基盤実験 地球環境の現状と人類(a)	兼担	教授	地球環境の現状と人類(a) 地球環境の現状と人類(b)	兼担	教授	地球環境の現状と人類(a) 地球環境の現状と人類(b)
		地球環境の現状と人類(A) 地球環境科学の最前線(g)			地球環境の現状と人類 (b) 地球環境科学の最前線 (g)			日本株様の銀衣と入類(0)			地本編集の確保と入業(0)
		市川 聡夫	1		市川 聡夫			市川 聡夫			市川 聡夫
***		〈平成30年4月〉	1		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授	物理学入門(a)	兼担	教授	物理学基盤実験	兼担	教授	物理学基盤実験	兼担	教授	物理学入門(a)
		物理学入門(b)	]		物理学基盤実験 物理学入門(a) 物理学入門(b)			物理学基盤実験 物理学入門(a) 物理学入門(b)			物理学入門(b)
		逸見 泰久 〈平成30年4月〉									
兼担	教授	生物の世界(D)	11								
			┨┣—		p 共 + 株/4-1				-		
		伊藤 茂樹 〈平成30年4月〉			伊藤 茂樹 (平成30年4月)						
兼担	教授	医療における理工学(d)	兼担	教授	医療における理工学(d)						
		■ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<b>↓</b>		■ M (						in the series
											伊藤 隆明 〈令和2年4月〉
			4						兼担	教授	医学博士
											病気の医科学(B)
		伊藤 仁一	1 🗀								
兼担	教授	〈平成30年4月〉	] [								
	-	数学と文化(b)									
		伊藤 正彦	1 🗀		伊藤 正彦			伊藤 正彦			伊藤 正彦
-رجو	#L1-	〈平成30年4月〉	** 15	ge_J==	〈平成30年4月〉	age in	#r.1	〈平成30年4月〉 博士(文学)	** 15	±4.1	〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担	教授	地域の世界史 (g) 地域の世界史 (h)	兼担	教授	地域の世界史(g)	兼担	教授	地域の世界史(A)	兼担	教授	地域の世界史 (A)
			J L								
									-		

専任・			専任・	1		専任・			専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	乗担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		伊東 龍一			伊東 龍一			伊東 龍一			伊東 龍一
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
兼担	教授	地域づくりと科学技術 (C) 地域づくりと科学技術 (F)	兼担	教授	地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)	兼担	教授	地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)	兼担	教授	地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)
					井福 裕俊			井福 裕俊 〈平成30年4月〉			井福 裕俊 〈平成30年4月〉
			兼担	教授	体育・スポーツ科学	兼担	教授	博士 (医学)	兼担	教授	博士 (医学) 体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
		105 ±± 600 PF	<b>∤</b>						-		稲葉 継陽
		稲葉 継陽 〈平成30年4月〉									〈平成30年4月〉
兼担	教授	肥後熊本学	1						兼担	教授	博士(文学)
		<b>心</b> 皮麻本于									10000000000000000000000000000000000000
		乾 誠治 〈平成30年4月〉									
兼担	教授	開放科目7									
		入江 徹美	┨┝		入江 徹美			入江 徹美			入江 徹美
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	教授	現代社会と薬学(A)	兼担	教授	(1,7,22,1,7,7)	兼担	教授	博士(薬学)	兼担	教授	博士(薬学)
		現代社会と業子(A) 開放科目9 開放科目10			開放科目9 開放科目10			開放科目9			開放科目9
		入江 亮			入江 亮			入江 亮			入江 亮
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	(平成30年4月) 博士 (理学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学II 暮らしと化学(a) 暮らしと化学(b)			化学II <b>暮らしと化学(G)</b>			暮らしと化学(6)			暮らしと化学(8)
		岩本 和也									
兼担	教授	病気の医科学(A)	11								
		M3X(0) 8214 7- (1)	<b>↓  </b>								
					権田 均 〈平成30年4月〉						
			兼担	教授							
			***	W.D.	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2						
			┨╟─		上田 裕市	$\vdash$			-		
					〈平成30年4月〉						
			兼担	教授	暮らしと情報・通信技術(a)						
			┨ ├──			$\vdash$		上田 理恵子	-		
				- سو	上田 理恵子 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (法学)			
			兼担	教授	暮らしの中の憲法	兼担	教授	暮らしの中の憲法			
		上野 眞也	+		上野 眞也	$\vdash$			-		
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
兼担	教授	現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)	兼担	教授	現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)						
		魚住 弘久	┧┝─					魚住 弘久	-		魚住 弘久
		無任 弘久 〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	教授	(   MOV T 7/1/	$\{ \mid \mid$			兼担	教授	博士(法学)	兼担	教授	博士(法学)
		現代政治の諸相(a)						現代政治の諸相(a)			現代政治の諸相(a)
					1						L

亩仁.			市/二			市/4		T T	専任・	1	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								宇宿 功市郎			
								〈平成31年4月〉 博士(医学)			
			1			兼担	教授				
								臨床医学の最前線(A)			
		梅田 素博									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4								
		芸術への招待(A)									
		尾池 雄一	1 -					尾池 雄一			
		〈平成30年4月〉						〈平成31年4月〉 博士(医学)			
兼担	教授					兼担	教授				
		病気の医科学(A)						病気の医科学(A)			
		大石 康晴			大石 康晴			大石 康晴			大石 康晴
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	(平成30年4月) 博士(医学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(医学)
	27.22	体育・スポーツ科学 キャリア科目6		2.7.2.	体育・スポーツ科学		27.2	体育・スポーツ科学		27.12	体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
		キャリア科目6 キャリア科目7	<b>↓</b>					+224 247			神音・スポーツ科子(0)
								大河内 彩子 〈平成31年4月〉			
						兼担	教授	博士(保健学)			
								キャリア科目16			
											大澤・博明
					大澤 博明 〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉
			兼担	教授					兼担	教授	修士
					現代の政治(a)						現代の政治(a)
		大谷 順			大谷 順			大谷 順			
		<平成30年4月> 博士(土木工学)			<平成30年4月> 博士(土木工学)			<平成30年4月> 博士(土木工学)			
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授				
		持続可能な都市と地域づくり(B)			持続可能な都市と地域づくり(B)			持続可能な都市と地域づくり			
								(B)			
					大概・範男						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					薬科学入門(A)						
		大塚 雅巳									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4								
		薬科学入門(B)									
			1		高島 和希						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					ものづくりの科学と技術(H)						
		大坪 和明	+		大坪 和明			大坪 和明	-		大坪 和明
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(薬学)			〈平成30年4月〉 博士 (薬学)
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
		現代医療と生命科学(a)			現代医療と生命科学(a)			現代医療と生命科学(a)			現代医療と生命科学(a)
					大野 龍浩			大野 龍浩			
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	-	〈平成30年4月〉 修士			
			水但	<b>黎撰</b>	英語A-2 英語B-1 英語B-2	水型	教授	英語A-2			
			1 🖳		英語8-2			英語B-2 英語C-2			
		大林 光念			大林 光念						
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
		現代の医学検査(b)			現代の医学検査(b)						
			J L			Щ_				<u> </u>	1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	教授	大森 久光 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(o)						
兼担	教授	大本 照憲 〈平成30年4月〉 持続可能な都市と地域づくり(B)	兼担	教授	大本 照憲 〈平成30年4月〉 持続可能な都市と地域づくり(B)						
兼担	教授	大屋 夏生 〈平成30年4月〉 臨床医学の最前線(A)									
兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉 肥後熊本学	兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 キャリア料目13	兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉 博士 (法学) キャリア料目13			
兼担	教授	緒方 信行 〈平成30年4月〉 芸術への招待(A)									
						兼担	教授	岡本 友子 〈平成31年4月〉 修士 (法学) 是先端の法学(B) 配会数本学	兼担	教授	岡本 友子 (平成31年4月) 修士(法学) 配後徽本学
兼担	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 現代の医学検査(a)	兼担	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 現代の医学検査(a)	兼担	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 現代の医学検査(a)	兼担	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 現代の医学検査(a)
兼担	教授	押海 裕之 〈平成30年4月〉 病気の医科学(A)									
兼担	教授	小畑 弘己 〈平成30年4月〉 日本事情(C) モノが語る歴史(a) モノが語る歴史(b)	兼担	教授	小畑 弘己 〈平成30年4月〉 モノが語る歴史(a) モノが語る歴史(f)	兼担	教授	小畑 弘己 〈平成30年4月〉 博士 (文学) モノが響る歴史(e) モノが弱る歴史(f)			
			兼担	教授	折田 充 〈平成30年4月〉 英語A-1 英語B-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2	兼担	教授	折田 克 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 美語A-2 美語B-2 美語O-1 美語O-2	兼担	教授	折田 充 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英丽A-2 英丽B-2 英丽C-1 英丽C-2
兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉 自然と人間の地理学(A)	兼担	教授	庶嶋 洋 〈平成30年4月〉 自然と人間の地理学(a) 自然と人間の地理学(b)	兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 自然と人間の地理学(a)	兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 自然と人間の地理学(a) 自然と人間の地理学(b)
兼担	教授	勝木 淳 〈平成30年4月〉 暮らしと情報・通信技術(c)	兼担	教授	勝木 淳 〈平成30年4月〉 暮らしと情報・通信技術(c)						加藤 黄彦
									兼担	教授	〈令和2年4月〉 医学博士 病気の医科学(C)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡)  <就任 (予定) 年月 >  保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡)  <就任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名
		шахжина	- 兼担	教授	門岡 康弘 〈平成30年4月〉 現代社会と医学(A)	兼担	教授	門岡 康弘 (平成30年4月) 博士 (医学) 現代社会と医学(A)	兼担	教授	門岡 康弘 (平成30年4月) 博士 (医学) 現代社会と医学(A)
兼担	教授	川越 保徳 <平成30年4月> 博士 (工学)  地域づくりと科学技術(B)	兼担	教授	川越 保徳 〈平成30年4月〉 博士 (工学)  地域づくりと科学技術(B)	兼担	教授	川越 保徳 〈平成30年4月〉 博士 (工学) 地域づくりと科学技術(B)			
			兼担	教授	河野 宏明 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(E)						
兼担	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉 芸術への招待(B)	兼担	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉 芸術への招待(B)						
兼担	教授	岸田 光代 〈平成30年4月〉 Introduction to Science and Technology I (a) Introduction to Science and Technology II (a)	-								
兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉 情報処理概論	兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉 「情報基礎B 情報処理概論	兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉 博士(工学)  情報基礎B 情報処理概論	兼担	教授	喜多 敏博 《平成30年4月》 博士(工学) 情報基礎B 情報処理概論
						兼担	教授	北 直泰 〈平成31年4月〉 博士(數理学) 微分積分1	兼担	教授	北 直泰 〈平成31年4月〉 博士 (數理学) 撒分積分I
			兼担	教授	木村 博子 〈平成30年4月〉 芸術文化論(A)  木村 弘信			木村 弘信			
			禁担	教授	《平成30年4月》 整分種分I 數分種分II	兼担	教授	(平成30年4月) 博士(理学) 微分複分I			
			- 兼担	教授	Gilbert Richard Hill 〈平成30年4月〉 英語A-1 英語C-1 英語C-2			<u> </u>			A +B
			- 兼担	教授	金 大弘 〈平成30年4月〉 最分徵分1	兼担	教授	金 大弘 (平成30年4月) 博士 (理学)  報分報分II	兼担	教授	金 大弘 《平成30年4月》 博士 (理学) 教分積分I
			- 兼担	教授	國校 春惠 〈平成30年4月〉 芸術文化論(B)	兼担	教授	種枝 春惠 〈平成30年4月〉 修士 (芸術学) 芸術文化論(B)	兼担	教授	國技 春惠 〈平成30年4月〉 修士 (芸術学) 芸術文化論(B)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					限元 貞広			限元 貞広			限元 貞広
			兼担	教授	〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1 英語C-1	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (比較社会文化) 美丽A-2 英丽B-1 英丽C-1	兼担	教授	《平成30年4月》 博士 (比較社会文化) 英語A-2 英語B-1 英語O-1
									兼担	教授	倉田 賀世 (令和2年4月) 博士 (法学)
											法学の基礎(J)
		KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉			KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉			KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉 博士			KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉 博士
兼担	教授	World History (a) World History (b) Basic Economics (a) Basic Economics (b)	兼担	教授	World History (a) World History (b)  Academic Foundations (a)	兼担	教授	World History (a) World History (b)  Academic Foundations (a)	兼担	教授	ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 World History (a) World History (b)  Academic Foundations (a)
		Music and Humanity (a) Area Studies (a) Area Studies (b) Area Studies (c) Area Studies (d) Global Career Development (a) Global Career Development (b)			Area Studies (a)  Global Career Development (a) Global Career Development (b)			Area Studies (a)  Area Studies (i) Global Career Development (a) Global Career Development			Area Studies (i) Global Career Development (a)
					drobal dareer beveropment (b)			(b)			Global Career Development (b)
					小出 眞路			小出 眞路			小出 眞路
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (理学)
					物理学II			物理学II			物理学[[
			兼担	教授	香月 博志 〈平成30年4月〉						
					薬科学入門(A)						
		児玉 望			児玉 望			児玉 望 〈平成30年4月〉			児玉 望 〈平成30年4月〉
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	修士(文学)	兼担	教授	修士(文学)
		言語の諸相(c) 言語の諸相(d)			言語の諸相 (c) 言語の諸相 (d)			言語の諸相(c) 言語の諸相(d)			言語の諸相 (c) 言語の諸相 (d)
		後藤 知己			後藤 知己						後藤 知己
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉				兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (医学)
		健康の科学(B)			健康の科学(B) 健康の科学(C)						健康の科学(B)
								紺屋 博昭			
						兼担	教授	〈平成31年4月〉 博士 (法学)			
								法学の基礎(G)			
		斉藤 寿仁			斉藤 寿仁			斉藤 寿仁			斉藤 寿仁
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(農学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(農学)
本担	拟仅	生物学Ⅰ		拟坟	生物学Ⅰ	本担	拟仅	生物学I	水坦	叔按	生物の世界(j) 生物学!
								齋藤 靖			齋藤 靖
		齋藤 靖 〈平成30年4月〉			齋藤 靖 〈平成30年4月〉			原際 明 〈平成30年4月〉 修士(文学)		4	爾滕 明 〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	教授		兼担	教授	英語A-1 英語B-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 キャリア科目1 キャリア科目2	兼担	教授	英語B-2 英語C-1 キャリア科目1 キャリア科目2	兼担	教授	英語A-2 英語B-2 英語C-1
									兼担	教授	坂下 玲子 (令和2年4月) 博士(教育学)
											体育・スポーツ科学(a)
***	#r.i=	佐久川 貴志 〈平成30年4月〉									
兼担	教授	日々の生活に垣間見る情報と通信									
		(A)									

		情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉	兼担	教授	杉谷 賢一	兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉 博士 (工学)	兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉 博士 (工学)
			兼担	教授	暮らしと情報・遺信技術(b)			40 E2			+/ \( \sigma \) = 17
					末吉 敏剛						
兼担	教授	〈平成30年4月〉 芸術への招待(A)									
		神野 雄二									
兼担	教授	最前線の社会文化研究(c) 最前線の社会文化研究(d)	兼担	教授	最前線の社会文化研究(c) 最前線の社会文化研究(d)	兼担	教授	最前線の社会文化研究(k)	兼担	教授	最前線の社会文化研究(I) 最前線の社会文化研究(II)
		シンジルト 〈平成30年4月〉			シンジルト 〈平成30年4月〉			シンジルト 〈平成30年4月〉 博士 (社会学)			シンジルト 〈平成30年4月〉 博士 (社会学)
			兼担	教授	線形代数I 線形代数II	兼担	教授	線形代数I 線形代数II	兼担	教授	線形代数I 線形代数II
			-		城本 啓介 〈平成30年4月〉	an an		城本 啓介 (平成30年4月) 博士 (理学)	***	مدريق	城本 啓介 〈平成30年4月〉 博士 (理学)
兼担	教授	(平成30年4月7 医療における理工学(a)									
		白石 順二									
			兼担	教授	物理学I	兼担	教授	物理学I物理学II	兼担	教授	博士(理学) 物理学I 物理学II
					下條 冬樹			下條 冬樹			下條 冬樹
			兼担	教授	〈平成30年4月〉 英語B-1 英語B-2	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語B-1 英語B-2	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語8-1 英語8-2
		暮らしと化学(C) 			暮らしと化学(C) 島谷 浩			暮らしと化学(C) 島谷 浩			暮らしと化学(C) <b>島谷 浩</b>
兼担	教授	島田 秀昭 〈平成30年4月〉	兼担	教授	島田 秀昭	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(薬学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		地学[			地学[			地学 [ <b>地学基盤実験</b> 島田 秀昭			地学I 島田 秀昭
兼担	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉	兼担	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉	兼担	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉 博士 (理学)	兼担	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉 博士 (理学)
				WASK	肥後熊本学	A 100	4000	肥後龍本学			35.00 E.E.
			兼担	教授	澤 智裕 〈平成30年4月〉	兼担	教授	澤 智裕 (平成30年4月) 博士 (工学)			
兼担	教授	生物学Ⅱ	兼担	教授	生物学Ⅱ	兼担	教授	生物学!!	兼担	教授	生物学!!
		澤 進一郎			澤 進一郎			澤 進一郎			澤 進一郎
			兼担	教授	《平成30年4月》 暮らしと情報・通信技術(b)						
		担当授業科目名	l		担当授業科目名 標井 保志	-		担当授業科目名	-		担当授業科目名
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	<b>!</b>		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	杉本 幸彦 〈平成30年4月〉 薬科学人門(B) 開放科目8	1								
			兼担	教授	鈴木 桂樹 〈平成30年4月〉 現代政治の簡相(g)						
兼担	教授	鈴 伸也 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(d)	兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	<ul><li>鈴 伸也</li><li>〈平成30年4月〉</li><li>博士 (医学)</li><li>最先端の生命科学(d)</li></ul>
兼担	教授	雙田 珠己 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(B)									
			兼担	教授	副島 顯子 〈平成30年4月〉  生物学! 最先輩の生命科学(f)	兼担	教授	副島 順子 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物学I	兼担	教授	副島 順子 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物学I
兼担	教授	外川 健一 〈平成30年4月〉 現代経済問題の諸相(a) 現代社会と経済(c)	-						兼担	教授	外川 健一 〈平成30年4月〉 Doctor of Economics 現代社会と経済(f)
兼担	教授	苑田 亜矢 〈平成30年4月〉 法学の基礎(B)									
			兼担	教授	高野 博嘉 〈平成30年4月〉	兼担	教授	高野 博嘉 〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	教授	高野 博嘉 (平成30年4月) 博士 (理学)
					生物学II			生物学II			生物学II
兼担	教授	高宮 正之 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 生物の世界(A)	- 兼担	教授	高宮 正之 〈平成30年4月〉 生物の世界(A)						
兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉 生物の世界(d)	- 兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉 生物の世界(d)	兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物の世界(d)	兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物の世界(d)
兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉 生物の世界(f)	兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉 生物の世界(f)	兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物の世界(f)			
			禁担	教授	竹内 格 〈平成30年4月〉 フランス語0-1 フランス語0-2 フランス語0-1 フランス語0-1 フランス語1-1 フランス語1-1 フランス語1-2	兼担	教授	竹内 格 〈平成30年4月〉 修士 (学術) フランス語0-1 フランス語0-2	兼担	教授	竹内 格 (平成30年4月) 修士 (学術) フランス額0-1 フランス額0-2
兼担	教授	武田 珠美 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(C)	兼担	教授	武田 珠美 〈平成30年4月〉 <b>現代教育について考える(o)</b> 現代教育について考える(d)						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
** //11	798-0	保有学位等 担当授業科目名	ויני	79/10	保有学位等 ————————————————————————————————————	ויני ככי	799-12	保有学位等 ————————————————————————————————————	2270	79% 12	保有学位等 ————————————————————————————————————
		田中 朋弘			田中 朋弘	-		田中 朋弘	-		田中 朋弘
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(文学)			〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担	教授	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	兼担	教授	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	兼担	教授	倫理学入門(a) 倫理学入門(b)	兼担	教授	倫理学入門(F)
		田邊 力			田邊 力			田邊 力			田邊 力
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
,	2012	最先端の生命科学(c)		10.10	最先端の生命科学(c)		2012	最先端の生命科学(c)			最先端の生命科学(c)
		知久馬 義朗									
兼担	教授	〈平成30年4月〉									
		こころの科学(A)									
					塚本 佐知子						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					業科学入門(A)						
					塚本 光夫			塚本 光夫			
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(工学)			
					キャリア科目6 キャリア科目7			キャリア科目6 キャリア科目7			
		辻本 剛三			辻本 剛三			辻本 剛三			
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授				
		持続可能な都市と地域づくり(B)			持続可能な都市と地域づくり(B)						
		都竹 茂樹			都竹 茂樹	-		都竹 茂樹	-		
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(医学)			
兼担	教授	Area Studies (E)	兼担	教授	Area Studies (e)	兼担	教授	健康の科学(D)			
					趙 華安						趙 華安
			***	44.400	〈平成30年4月〉				****		〈平成30年4月〉 博士(工学)
			兼担	教授	暮らしと情報・通信技術(b)				兼担	教授	暮らしと情報・通信技術(B)
					寺沢 宏明						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					薬科学入門(A)						
		寺本 渉			寺本 渉			寺本 渉			寺本 渉
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)
		心理学の探求(A)			心理学の探求(A)			心理学の探求(A)			心理学の探求(A)
					黨 武彦	-		黨 武彦	-		黨 武彦
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(文学)			〈平成30年4月〉 博士(文学)
			兼担	教授	中国語A-1	兼担	教授	中国語A-1	兼担	教授	中国語A-1
					中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2			中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2			中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
		戸田 敬			戸田 敬			戸田 敬			戸田 敬
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学! 化学と環境(A)			化学と環境(a)			化学と環境 (a)			化学と環境(a)
		戸田 真志			戸田 真志			戸田 真志			戸田 真志
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (工学)			〈平成30年4月〉 博士(工学)
兼担	教授		兼担	教授	情報基礎A	兼担	教授		兼担	教授	
		情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		富口 静二			富口 静二				-		
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
		医療における理工学(b)			医療における理工学(e)						
		富澤 一仁									
兼担	教授	〈平成30年4月〉									
		病気の医科学(A)									
		鳥居修一			鳥居 修一			鳥居 修一			鳥居 修一
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(工学)			〈平成30年4月〉 博士(工学)
兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり(A)	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり
					(A) Introduction to Science and Technology I (b)			Introduction to Science and Technology I (b)			(A) Introduction to Science and Technology I (b)
					Introduction to Science and Technology I (c)			Introduction to Science and Technology I (c)			Introduction to Science and Technology I (c)
					中内 哲	-					中内 哲
			兼担	教授	〈平成30年4月〉				兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士 (法学)
			米担	98.192	法学の基礎(F)				米坦	90.192	暮らしの中の憲法
		中瀉 直己				-					
兼担	#4-110	〈平成30年4月〉									
末担	教授	最先端の生命科学(b)									
								+W **			
		中川輝彦			中川 輝彦			中川 輝彦 〈平成30年4月〉			
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	修士(人間科学)			
		日本事情(D) 現代社会の解読(c)			現代社会の解読(c)			現代社会の解読(d)			
		現代社会の解読(d)			現代社会の解読(d)						
		仲里 仁史			仲里 仁史						
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
		健康の科学(B)			健康の科学(B) <b>健康の科学(C)</b>						
					中島 誠			中島 誠	-		中島は
					イ			〈平成30年4月〉 博士 (薬学)			〈平成30年4月〉 博士 (薬学)
			兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
					薬科学入門 (A)			薬科学入門 (A)			薬科学入門 (A)
		中西 義孝			中西 義孝			中西 義孝			中西 義孝
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(工学)			〈平成30年4月〉 博士(工学)
兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり(B)	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり	兼担	教授	豊かさを持続させるものづくり
		ものづくりの科学と技術(B)			(B) ものづくりの科学と技術(B)			(B) ものづくりの科学と技術(B)			(B)
		中野 裕司			中野 裕司			中野 裕司			中野 裕司
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授		兼担	教授	情報基礎A 情報基礎B	兼担	教授	情報基礎A 情報基礎B	兼担	教授	情報基礎A 情報基礎B
		情報処理概論			情報基礎B 情報処理概論			情報基礎B 情報処理概論			情報基礎B 情報処理概論
					中村 輝			中村 輝			
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士 (理学)			
					開放科目16			開放科目16			
					中村 有水						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					暮らしと情報・適信技術(o)						
		中山 玄三			中山 玄三						中山 玄三
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉				兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士(教育学)
AL IE	ナ人1ズ	現代教育について考える(D)	AKIE	7212	現代教育について考える(D)				ANTE	4×1×	現代教育について考える(e)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	*#担	教授	担当授業科目名 西谷 陽子 〈平成30年4月〉 病気の医科学(C)			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉	兼担	教授	西野 宏	兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉 博士 (理学)	兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		肥後熊本学	****	46.100	暮らしと化学(E) 西本 昌彦 〈平成30年4月〉			肥後熊本学			肥後熊本学
			* 禁担	教授	暮らしと情報・通信技術(a) 西模 偉			西槇 偉			西植作
			兼担	教授	〈平成30年4月〉 中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1	兼担	教授	(平成30年4月) 博士(学術)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術) 中國語A-1
					中國語D-1 中國語D-2			中国語0-1 中国語0-2 中国語II-1 中国語II-2			中国版A-2 中国版B-1 中国版B-2
兼担	教授	袴田 和泉 〈平成30年4月〉 芸術への招待(A)									
兼担	教授	荻野 蔵平 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2	兼担	教授	荻野 歳平 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語A-2	兼担	教授	荻野 蔵平 (平成30年4月) 修士 (文学) ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ <mark>語G-1</mark>			
兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語D-1 コリア語D-1	兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語D-1 コリア語D-2	兼担	教授	朴 美子 (平成30年4月) 博士 (文学) コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語II-1	兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉 博士 (文学) コリア語A-1 コリア語A-2
兼担	教授	長谷中 利昭 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(g) 開放科目4	兼担	教授	長谷中 利昭 〈平成30年4月〉    登載本学 地球環境科学の最前線(g) 開放科目4 ・ 地球環境科学の最前線(h) 開放科目15			□ 9 万曜11-2			<b>コリア語 II-2</b>
兼担	教授	烟 裕之 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(b)	- 兼担	教授	畑 裕之 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(b)	兼担	教授	畑 裕之 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 現代医療と生命科学(b)			
兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉 フランス語D-1 フランス語D-2	兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉 フランス器A-1 フランス器A-2 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1 フランス器-1	兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉 修士 フランス編A-1 フランス編A-2 フランス編G-1 フランス編G-2 フランス編G-2	兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉 修士 フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語O-1 フランス語O-2 フランス語III-2
兼担	教授	濱名 裕治 《平成30年4月》  文系のための数学入門(A) 数学の世界(a) 数学の世界(b) キャリア科目2 キャリア科目51	兼担	教授	濱名 裕治 〈平成30年4月〉 総形代数1 数学の世界(b)	兼担	教授	演名 裕治 〈平成30年4月〉 博士(数理科学) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			

専任・兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
兼任の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	衆任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	衆仕の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	┨ ┣━		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
l		林 一郎 〈平成30年4月〉			林 一郎 〈平成30年4月〉						
兼担	教授	日本事情(D) 法学の基礎(C)	兼担	教授	法学の基礎(C)						
		速水 真也			速水 真也			速水 真也 〈平成30年4月〉 博士(理学)			速水 真也 〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授	教養の化学(A)	兼担	教授	化学!! 教養の化学(A)	兼担	教授	化学!! 教養の化学(A)	兼担	教授	<b>化学!!</b> 教養の化学(A)
		原岡 喜重 〈平成30年4月〉			原岡 喜重			原岡 喜重 (平成30年4月) 博士 (理学)			原岡 喜重 〈平成30年4月〉 博士 (理学)
兼担		微分積分 I 微分積分 II 線形代数 I 線形代数 II	兼担	教授	微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II	兼担	教授	数学の世界A 微分積分I 微分積分II 線形代数II	兼担	教授	文系のための数学入門(B) 文系のための数学入門(a) 微分積分I 微分積分II
		原田 信志			原田 信志						
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
		地域づくりと科学技術(F)			地域づくりと科学技術(F)						
			1 -								HARI PRASAD DEVKOTA
			_						兼担	教授	〈令和2年4月〉 PhD in Pharmaceutical Sciences
											Socio-Cultural Studies (i)
								春田 直紀			春田 直紀
								〈平成31年4月〉 修士(文学)			〈平成31年4月〉 修士(文学)
						兼担	教授	肥後熊本学	兼担	教授	肥後熊本学
$\vdash$			l					ハンセン ケリー			ハンセン ケリー
								〈平成31年4月〉 博士			〈平成31年4月〉 博士
						兼担	教授	英語A-1 英語C-1	兼担	教授	英語A-1 英語C-1
		平田 純生									
***	#4. 1177	〈平成30年4月〉									
兼担	教授	現代社会と薬学(A) 開放科目10									
$\vdash$		深町公信	-		深町 公信						深町 公信
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉				兼担	教授	〈平成30年4月〉 法学修士
A-1-	7012	法学の基礎 (A)		7010	法学の基礎 (A)				****		法学の基礎(A)
			- 兼担	教授	藤瀬 昇 〈平成30年4月〉						
					現代社会と医学(C)						
$\vdash$		藤田 豊			藤田豊			藤田 豊			藤田豊
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	《平成30年4月》	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(教育心理学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(教育心理学)
AN IE	对状	こころの科学(A)		纵仅	こころの科学(A)	本担	拟权	こころの科学(A)	本担	拟权	こころの科学(A)
$\vdash$		藤本 斉	1		藤本 斉			藤本 斉			藤本 斉
		除本 対 〈平成30年4月〉			藤本 戸 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	教授	教養の化学(a) 教養の化学(b)	兼担	教授	教養の化学(a) 教養の化学(b) <b>喜らしと化学(F)</b>	兼担	教授	暮らしと化学(F)	兼担	教授	暮らしと化学(F)
		藤原 和人			藤原 和人			藤原 和人			藤原 和人
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)
		ものづくりの科学と技術(A)			ものづくりの科学と技術(A)	7114 Jim			F114 Jim		

専任・			専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					藤吉 孝則						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					暮らしと情報・通信技術(c)						
		慶田 勝彦	1		慶田 勝彦						
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
	7212	最前線の社会文化研究(A) 肥後熊本学		70.10	最前線の社会文化研究(A) 肥後熊本学						
		東徹									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4								
		日本事情(C)									
		福迫 武	1		福迫 武						
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉						
AK JE	7212	暮らしと情報・通信技術(b)	38.12	70.10	暮らしと情報・通信技術(b)						
		福島和洋									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4								
		物理学入門(e)									
		福田 孝一									
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4								
		病気の医科学(A) 病気の医科学(B)									
		船間 芳憲			船間 芳憲			船間 芳憲			
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(工学)			
		医療における理工学(d)			医療における理工学(o)			医療における理工学(o)			
		古田 弘子			古田 弘子			古田 弘子			古田 弘子
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(心身障害学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(心身障害学)
		現代教育について考える(B) 開放科目1			現代教育について考える(a) 開放科目1			現代教育について考える(a)			開放科目1
		干川 隆						干川 隆			
***		〈平成30年4月〉	]					〈平成31年4月〉 博士(人間環境学)			
兼担	教授	現代心理行動学(a)				兼担	教授	現代心理行動学(a)			
		細川 伸也									細川 伸也
兼担	教授	〈平成30年4月〉	4						兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
-	-	開放科目6									<b>開放科目5</b> 開放科目6
		堀畑 正臣	+		堀畑 正臣			堀畑 正臣			堀畑 正臣
		《平成30年4月》			堀畑 正臣 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(文学)			〈平成30年4月〉 博士 (文学)
兼担	教授	言語の味相(e)	兼担	教授	言語の諸相 (a)	兼担	教授		兼担	教授	
		言語の諸相(a) 言語の諸相(b)			言語の諸相 (a) 言語の諸相 (b)			言語の諸相 (a) 言語の諸相 (b)			言語の諸相(a) 言語の諸相(b)
		牧野 厚史			牧野 厚史			牧野 厚史			牧野 厚史
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(社会学)			〈平成30年4月〉 博士(社会学)
兼担	教授	肥後熊本学 最前線の社会文化研究(D)	兼担	教授	肥後熊本学	兼担	教授	是前線の社会文化研究(i) 是前線の社会文化研究(j)	兼担	教授	是前線の社会文化研究 (j)
			$\ \cdot\ $		松井 啓隆						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
ı					臨床医学の最前線(B)	I I					

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		松浦 雄介			松浦 雄介						松浦 雄介
#10	#L :-	〈平成30年4月〉	** 15	***	〈平成30年4月〉				-	45,240	〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担		最前線の社会文化研究(e) 最前線の社会文化研究(f)	兼担	教授	最前線の社会文化研究 (e) 最前線の社会文化研究 (f)				兼担	教授	最前線の社会文化研究(E)
		松島 章			松島 章			松島 章			松島 章
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(工学)			〈平成30年4月〉 博士(工学)
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	.,	兼担	教授	
		日々の生活に垣間見る情報と通信 (A)			日々の生活に垣間見る情報と通信(A)			日々の生活に垣間見る情報と通信(A)			日々の生活に垣間見る情報と通信(A)
		松瀬 憲司			松瀬 憲司			松瀬 憲司			松瀬 憲司
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士(文学)			〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	教授	# A	兼担	教授	英語A-1	兼担	教授	<b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>   <b> </b>	兼担	教授	
		英語A-2 英語B-1			英語A-2 英語B-1			英語A-2			英語A-2 英語B-1
		英語B-2			英語B-2 <b>英語C-1</b>			英語B-2			英語B-2 <b>英語C-1</b>
		₩ III 14 48.			+/\ m _ 1#.#-			松田 博貴			キャリア科目17
		松田 博貴			松田 博貴			〈平成30年4月〉			
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	修士(理学)			
		地学基盤実験 地球環境科学の最前線 (A)			地球環境科学の最前線(A)			地球環境科学の最前線(A)			
		松田 真生			松田 真生			松田 真生			松田 真生
		松田 其生 〈平成30年4月〉			松田 真生 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	教授	(十成30年4月7	兼担	教授	(十成30年4月/	兼担	教授	博士(理学)	兼担	教授	博士(理学)
		教養の化学(B)			化学I 教養の化学(B)			化学I 教養の化学(B)			化学I 教養の化学(e) 教養の化学(f)
		松田 芳子			松田 芳子						松田 芳子
#10	##. 1100	〈平成30年4月〉	** 15	#4, 110	〈平成30年4月〉				-	-	〈平成30年4月〉 博士(医学)
兼担	教授	健康の科学(B)	兼担	教授	健康の科学(B) 健康の科学(C)				兼担	教授	健康の科学(0)
			兼担	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉	兼担	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉 博士 (学術)	兼担	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉 博士 (学術)
					暮らしと情報・通信技術(a)			暮らしと情報・通信技術(a)			暮らしと情報・通信技術(A)
					松原 弘信						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
			<b>本型</b>	#41X	法学の基礎(D) 法学の基礎(E)						
		丸茂 康男			丸茂 康男			丸茂 康男			丸茂 康男
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(工学)			〈平成30年4月〉 博士 (工学)
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	マエ (エナ/	兼担	教授	
		ものづくりの科学と技術(C)			ものづくりの科学と技術(C)			ものづくりの科学と技術(C)			ものづくりの科学と技術(C)
					三沢 正史			三沢 正史			
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			
			兼担	教授		兼担	教授				
					微分積分I 微分積分II			微分積分Ⅰ 像分積分Ⅱ			
											三隅 将吾
											〈令和2年4月〉
									兼担	教授	博士(薬学)
											現代社会と薬学(B)
		-v= -m÷	l		水元 豊文			水元 豊文			水元 豊文
		л. <del></del>						i l			i
		水元 豊文 〈平成30年4月〉			〈平成30年4日〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士(文学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士(文学)

専任・			専任・		1	専任・			専任・		<u> </u>
兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
ı		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		溝上 章志			溝上 章志			溝上 章志			溝上 章志
		<平成30年4月> 博士(工学)	-		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
兼担	教授	地域づくりと科学技術 (A)	兼担	教授	地域づくりと科学技術(A)	兼担	教授	地域づくりと科学技術(A)	兼担	教授	地域づくりと科学技術 (G)
兼担	教授	光永 正治 〈平成30年4月〉 物理学基盤実験									
兼担	教授	南 敬 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(b) 業科学入門(B)									
		**************************************				兼担	教授	三笘 里香 〈平成31年4月〉 博士 (看護学) 心身の健康と看護(A)			
$\rightarrow$		<b>京並</b> 初	$\mid \mid -$		<b>空山在</b> 黎元			宮﨑誓			宮﨑 誓
兼担	教授	宮崎 誓	兼担	教授	宮﨑 誓	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	教授	(平成30年4月) 博士 (理学)
		数学と文化(a)			数学と文化(c) 数学と文化(d)			数学と文化(c) 数学と文化(d)			数学と文化 (d)
兼担	教授	宮瀬 美津子 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(B)	兼担	教授	宮瀬 美津子 〈平成30年4月〉 <b>現代教育について考える(b)</b>				兼担	教授	宮瀬 美津子 〈平成30年4月〉 教育学修士 <b>現代教育について考える(b)</b>
									兼担	教授	吉縁 育夫 (令和2年4月) 理学博士 地球環境科学の最前線(g)
ı											地球機械サテル数制 (8)
兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉	兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉  (中成30年4月)	兼担	教授	武蔵 泰雄 《平成30年4月》 博士(学術)  情報基礎A 情報和理概論	兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉 博士(学術)  情報基礎人 情報基礎及
		村上 龍次									
兼担	教授	〈平成30年4月〉 医療における理工学(b)	1								
						兼担	教授	村里 泰昭 〈平成30年4月〉 修士 (教育学) <b>英語</b> A-2 美麗B-2 キャリア科目51	兼担	教授	村里 泰昭 〈平成30年4月〉 修士 (教育学) 美麗8-2 美麗6-2 キャリア科目51
$\overline{}$		森岡 弘志	$\dagger$		森岡 弘志			森岡 弘志			森岡 弘志
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(薬学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		薬科学入門(B)			業科学入門(a) 業科学入門(b)			薬科学入門 (B)			薬科学入門(B)
					柳沼 裕二						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		八幡 彩子			八幡 彩子			八幡 彩子			八幡 彩子
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	博士(学術)	兼担	教授	博士(学術)
		キャリア科目3			キャリア科目3			キャリア科目3			キャリア科目3
		八幡 英幸			八幡 英幸			八幡英幸			八幡 英幸
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)
		倫理学入門(e) 倫理学入門(f)			倫理学入門(e) 倫理学入門(f)			倫理学入門(i) 倫理学入門(j)			倫理学入門(k) 倫理学入門(l)
					矢原 隆行			矢原 隆行			矢原 隆行
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士(文学)	兼担	教授	《平成30年4月》 修士(文学)
					最前線の社会文化研究(D)			最前線の社会文化研究(D)			最前線の社会文化研究 (D)
		山縣 和也 〈平成30年4月〉									
兼担	教授	〈平成30年4月〉 病気の医科学(A)									
		山縣 ゆり子									
兼担	教授	〈平成30年4月〉									
		薬科学入門(B) 開放科目8									
					山下 撤			山下 撤			山下 徹
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	《平成30年4月》 修士 (教育学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 修士(教育学)
					英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2			英語A-2 英語B-2 英語C-2			英語A-2 英語B-2 英語C-2
		山下 裕作			山下 裕作			山下 裕作			山下 裕作
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)
		最前線の社会文化研究(a) 最前線の社会文化研究(b)			最前線の社会文化研究(B)			最前線の社会文化研究 (a)			最前線の社会文化研究(n) 現代社会の解読(i)
											山下 太郎 〈令和2年4月〉 博士 (医学)
									兼担	教授	降工 (位子/ 臨床医学の最前線(B)
											山田 秀
									兼担	教授	(令和2年4月) 法学博士
											法学の基礎(I)
					山田 裕史						山田 裕史 〈平成30年4月〉
			兼担	教授	〈平成30年4月〉				兼担	教授	理学博士
					線形代数I 線形代数II						線形代數I 線形代數II
兼担	教授	山梨 八重子 〈平成30年4月〉									
本理	7X1X	健康の科学(B)									
		山本 努			山本 努			山本 努			
兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)			
		現代社会の解読(a) 現代社会の解読(b)			現代社会の解読(a)			現代社会の解読(a) 現代社会の解読(b)			
兼担	教授	楊 萍 〈平成30年4月〉					_				
水但	拟按	日本事情(0)									
<u> </u>						<u> </u>			<u> </u>		

<b>+</b> 11	1		<b>=</b> /r		,	士 亿		·	±17		
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			1		葉 陂陂			莱 陵陵			莱 陵陵
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(法学)			〈平成30年4月〉 博士(法学)
			兼担	教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
		吉岡 英美									
兼担	教授	〈平成30年4月〉									
		現代社会と経済(d) 現代社会と経済(e)									
		SUVILLA CHIM (V)	┨								吉朝 朗
											〈令和2年4月〉
			4						兼担	教授	理学博士
											地学基盤実験
		594 +4-++	┨					劉静華			劉静華
		劉 静華 〈平成30年4月〉						〈平成31年4月〉			〈平成31年4月〉
		(平成30年4月)	4					博士(文学)			博士(文学)
兼担	教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2				兼担	教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	教授	中国語II-1 中国語II-2
			┨		*						
					若山 友彦						
			兼担	教授	〈平成30年4月〉						
					病気の医科学(B)						
					鷲見 直哉			鷲見 直載 〈平成30年4月〉			震見 直哉 (平成30年4月)
			兼担	教授	〈平成30年4月〉	兼担	教授	博士(理学)	兼担	教授	博士(理学)
				-		****		微分積分II 線形代数I 線形代数II	AR.22	****	微分積分I 線形代数I 線形代数II
					線形代數II			線形代數II			線形代數II
		渡邊 高志	1		渡邊 高志						渡邊 高志
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉 博士(薬学)
兼担	教授	肥後熊本学	兼担	教授	肥後熊本学				兼担	教授	
		開放科目8			開放科目8						肥後熊本学
			1 ⊨					波部 薫			渡部 薫
								〈平成31年4月〉			〈平成31年4月〉
			-			兼担	教授	博士(字椅)	兼担	教授	博士(学術)
								現代政治の諸相(A)			現代政治の蓄相(A)
								緒方 智成			緒方 智成
								<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)
			1			兼担	教授		兼担	教授	
								応用物質化学			応用物質化学
			1 -								大渕 慶史
											<令和2年4月> 博士(工学)
			4						兼担	准教 授	博士(工学)
											プロダクトデザイン演習 I プロダクトデザイン演習 I
		大西 康伸			大西 康伸			大西 康伸			大西 康伸
		<平成30年4月> 博士(学術)			<平成30年4月> 博士(学術)			<平成30年4月> 博士(学術)			<平成30年4月> 博士(学術)
			1		一年(子四)			171 (TM)			サ土(丁四)
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
		地域づくりと科学技術(D)			地域づくりと科学技術(D)			地域づくりと科学技術(D)			地域づくりと科学技術(D)
		ーロースノスフに付予技術(U)			プログランプで行子技術(U)			ーンダントラム行子技術(U)			プログス ノス ソ C 作子技術 (U)
			J								

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月>  保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
			-								
		竹内 裕希子 <平成30年4月> 博士 (理学)			竹内 裕希子 〈平成30年4月〉 博士 (理学)			竹内 裕希子 〈平成30年4月〉 博士(理学)			竹内 裕希子 <平成30年4月> 博士(理学)
兼担	准教授	肥後熊本学	兼担	准教授	地域づくりと科学技術(A)	兼担	准教授	肥後熊本学	兼担	准教授	肥後熊本学
		藤見 俊夫 <平成30年4月> 博士 (農学)			藤見 俊夫 <平成30年4月> 博士 (農学)			藤見 俊夫 <平成30年4月> 博士 (農学)			藤見 俊夫 <平成30年4月> 博士 (農学)
兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり(A)	兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり(A)	兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり (A)	兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり (A)
兼担任	准教授	川越 明日香〈平成30年4月〉	兼担任	准教授	川越 明日香〈平成30年4月〉	兼担	准教授	川越 明日香 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)	兼担	准教授	川越 明日香 〈平成30年4月〉 修士 (教育学) <b>現代心理行助学(e)</b>
					現代心理行動学(e)			現代心理行動学(e) 現代心理行動学(f)			現代心理行動学(f)
			兼担	准教授	岸木 数太 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	岸木 数太 〈平成30年4月〉 博士 (理学)	兼担	准教授	岸木 敬太 〈平成30年4月〉 博士 (理学)
					物理学入門(e)			物理学入門(e)			物理学入門(e)
兼担	准教授	高橋 慶太郎 〈平成30年4月〉 物理学入門(f) 物理学の世界(a) 開放科目5	兼担	准教授	高橋 慶太郎 〈平成30年4月〉 物理学入門(f) 物理学の世界(a)	兼担	准教授	高橋 慶太郎 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 物理学入門(f) 物理学の世界(a)	兼担	准教授	高橋 慶太郎 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 物理学入門(f) 物理学の世界(a)
兼担	准教授	小澄 大輔 〈平成30年4月〉 物理学入門(g) 物理学入門(h)	兼担	准教授	小澄 大輔 〈平成30年4月〉 物理学入門(g) 物理学入門(h)	兼担	准教授	小澄 大輔 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学入門(g) 物理学入門(h)	兼担	准教授	小澄 大輔 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学入門(g)
兼担	准教授	伊豆田 俊二 〈平成30年4月〉 生物の世界(B)	兼担	准教授	伊豆田 俊二 〈平成30年4月〉 生物の世界(B)	兼担	准教授	伊豆田 俊二 〈平成30年4月〉 博士 (薬学) 生物の世界(B)	兼担	准教授	伊豆田 俊二 〈平成30年4月〉 博士 (薬学) 生物の世界(B)
兼担	准教授	杉浦 直人 〈平成30年4月〉 生物の世界(C)	兼担	准教授	杉浦 直人 〈平成30年4月〉 生物の世界(C)	兼担	准教授	杉浦 直人 〈平成30年4月〉 博士 (農学) 生物の世界(C)	兼担	准教授	杉浦 直人 〈平成30年4月〉 博士 (農学) 生物の世界(C)
兼担	准教授	江頭 恒 〈平成30年4月〉 生物の世界(a)	兼担	准教授	江頭 恒 〈平成30年4月〉 生物の世界(a)	兼担	准教授	江頭 恒 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 生物の世界(a)	兼担	准教授	江頭 恒 〈平成30年4月〉 博士 (医学) 生物の世界(a)
兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉 生物の世界(b) 生物の世界(c)	兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉 生物の世界(b) 生物の世界(c)	兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉 博士 (農学) 生物の世界(b) 生物の世界(c)	兼担	准教授	武智 克彰 (平成30年4月) 博士 (農学) 生物の世界(b) 生物の世界(c)
兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉 生物の世界(e)	兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉 生物の世界(e)	兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物の世界(e)	兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉 博士 (理学) 生物の世界(e)
兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉 生物の世界(g)	兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉 生物の世界(g)	兼担	准教授	中山 由紀 (平成30年4月) 博士 (理学) 生物の世界(g)	兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉 博士 (理学) <b>生物の世界(k)</b>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					北野 健			北野 健			北野 健
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
					生物の世界(h)			生物の世界(h)			生物の世界(i)
		伊賀崎 伴彦			伊賀崎 伴彦			伊賀崎 伴彦			伊賀崎 伴彦
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (工学)			〈平成30年4月〉 博士(工学)
兼担	准教授	日々の生活に垣間見る情報と通信 (B) 暮らしと情報・通信技術(a)	兼担	准教授	日々の生活に垣間見る情報と通 信(B) 暮らしと情報・通信技術(a)	兼担	准教授	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	兼担	准教授	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)
								杉本 裕司			杉本 裕司
		杉本 裕司			杉本 裕司			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	修士(文学)	兼担	准教授	修士(文学)
		倫理学入門(A) 倫理学入門(B)			倫理学入門(A)			倫理学入門(A)			倫理学入門(A)
			-					立花 幸司	-		立花 幸司
								〈平成31年4月〉 博士(学術)			〈平成31年4月〉 博士(学術)
						兼担	准教授	停工 (子南) 倫理学入門(D)	兼担	准教授	停工(子幣) 倫理学入門(D)
								大辻 正晴			
		大辻 正晴			大辻 正晴			〈平成30年4月〉			大辻 正晴 〈平成30年4月〉
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	修士(文学)	兼担	准教授	修士(文学)
		思考と論理(A)			思考と論理(A)			思考と論理(A)			思考と論理(A)
								山田 高誌			山田 高誌
						兼担	准教授	〈平成31年4月〉 修士(文学)	兼担	准教授	〈平成31年4月〉 修士(文学)
						NK 3E	/E-WALK	芸術文化論(A)	AK-12	/E-9X1X	芸術文化論(A)
		Pt L ch Ar			Dr. L. ch.Ag			跡上 史郎			跡上 史郎
		跡上 史郎 〈平成30年4月〉			跡上 史郎 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	修士(文学)	兼担	准教授	修士(文学)
		肥後熊本学 文学の諸相 (a) 文学の諸相 (b)			文学の諸相 (a) 文学の諸相 (b)			文学の諸相 (a) 文学の諸相 (b)			文学の諸相(a) 文学の諸相(b)
		坂元 昌樹			坂元 昌樹			坂元 昌樹			坂元 昌樹
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (文学)			〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担		肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F) 日本事情(C) 文学の諸相(d)	兼担	准教授	肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F)	兼担	准教授	文学の諸相 (c) 文学の諸相 (d)	兼担	准教授	
		杉井 健						杉井 健			杉井 健
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士(文学)			〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	准教授	〒 / 48年 7 Ⅲ 中 / - \	兼担	准教授		兼担	准教授	192(X)7	兼担	准教授	
		モノが語る歴史(c) モノが語る歴史(d)			肥後熊本学			肥後熊本学			モノが語る歴史(c) モノが語る歴史(d)
		鈴木 寛之			鈴木 寛之			鈴木 寛之			鈴木 寛之
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士(文学)			〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	准教授	最前線の社会文化研究(g) 最前線の社会文化研究(h)	兼担	准教授	<b>肥後熊本学</b> 最前線の社会文化研究(g)	兼担	准教授	肥後熊本学	兼担	准教授	最前線の社会文化研究(0)
					多田 光宏			多田 光宏			多田 光宏
			<b>单</b> 极	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士 (文学)	維切	准教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)
			末担	在製費	現代社会の解読(e)	東担	在製費	現代社会の解除(e)	東担	在郵授	現代社会の解読(f)
		米島 万有子						米島 万有子 〈平成30年4月〉			米島 万有子 〈平成30年4月〉
		〈平成30年4月〉						博士(文学)			博士(文学)
兼担	准教授	自然と人間の地理学(B)				兼担	准教授		兼担	准教授	
		(投) 自然と人間の地理学(B)						1			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		保有字位寺 ————————————————————————————————————	-     "		保有字位寺 ————————————————————————————————————			保有字位寺 ————————————————————————————————————			任有字位寺 ————————————————————————————————————
		山本 耕三	┪┝─		山本 耕三			山本 耕三			山本 耕三
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士 (文学)			〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	准教授	自然と人間の地理学(C)	兼担	准教授	自然と人間の地理学(c)	兼担	准教授		兼担	准教授	
								自然と人間の地理学(f)			自然と人間の地理学(f)
		中村 政明	1 🖯					中村 政明			中村 政明
		〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	准教授	暮らしと化学(A)	11			兼担	准教授		兼担	准教授	
		400010100						暮らしと化学(o) 暮らしと化学(d)			暮らしと化学(c) 暮らしと化学(d)
		石川 勇人	1 -		石川 勇人			石川 勇人			石川 勇人
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	博士(薬学)	兼担	准教授	博士(薬学)
		暮らしと化学(B)			暮らしと化学(B)			暮らしと化学(B)			暮らしと化学(B)
			┥┝			-		村田 貴広			村田 貴広
		村田 貴広 〈平成30年4月〉			村田 貴広			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授		兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士(工学)	兼担	准教授	博士(工学)
		暮らしと化学(D)			暮らしと化学(D)			教養の化学(o) 教養の化学(d)			教養の化学(o)
			┧┕								教養の化学(d)
		大平 慎一			大平 慎一			大平 慎一			大平 慎一
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学と環境(B)			化学と環境(b)			化学と環境(b)			化学と環境(b)
			┥┝—					荒木 正健			荒木 正健
		荒木 正健			荒木 正健			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士(生命科学)	兼担	准教授	博士(生命科学)
		最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)			最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)			最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)			最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)
		横瀬 久芳	1		横瀬 久芳			横瀬 久芳			横瀬 久芳
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (学術)			〈平成30年4月〉 博士 (学術)
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	等工(子門)	兼担	准教授	母工 (子門)
Nr.1	711.7	地球環境科学の最前線 (a) 地球環境科学の最前線 (b)	36.12	/E-3A1A	地球環境科学の最前線 (a) 地球環境科学の最前線 (b)	NO.	7E-7A.JA	地球環境科学の最前線 (a) 地球環境科学の最前線 (b)	36.2	7117	地球環境科学の最前線 (a) 地球環境科学の最前線 (b) 配後能本学
		開放科目3									尼安服本于
		小松 俊文			小松 俊文			小松 俊文			小松 俊文
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士 (理学)
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
		地球環境科学の最前線(c)			<b>肥後熊本学</b> 地球環境科学の最前線(c)						
		地球環境科学の最前線(d)			地球環境科学の最前線 (d)			地球環境科学の最前線 (d)			地球環境科学の最前線(d)
		小島 知子	1		小島 知子			小島 知子			小島 知子
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	准教授		兼担	准教授	地学Ⅱ	兼担	准教授	地学!!	兼担	准教授	地学Ⅱ
		地球環境科学の最前線 (e) 地球環境科学の最前線 (f)			地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)			地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)			地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)
			<b>↓</b>								
		望月 伸竜			望月 伸竜			望月 伸竜 〈平成30年4月〉			望月 伸竜 〈平成30年4月〉
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士(理学)	兼担	准教授	博士(理学)
		地球環境科学の最前線(h)			地球環境科学の最前線 (h)			肥後熊本学			地学I
		三沢 純	$\dashv \vdash$		三沢・純			三沢 純			三沢 純
		二次 判《平成30年4月》			二次 純 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	肥後熊本学		准教授	肥後熊本学	兼担	准教授	修士(文学)	兼担	准教授	修士(文学)
		地域づくりと科学技術(F)	I NAME		地域づくりと科学技術(F)						現代世界の形成と課題(A)
								現代世界の形成と課題(f) 現代世界の形成と課題(g)			The second secon
		古川 昇	$\dagger$		古川昇			古川 昇			古川 昇
#10	₩±1::::	〈平成30年4月〉	** 10	******	〈平成30年4月〉	#-10	## ## 11P	〈平成30年4月〉 博士 (医学)	#10	*****	〈平成30年4月〉 博士 (医学)
兼担	准教授	피샤상소 L F 쓰 / D\	兼担	准教授	四歩社会 L 原典 (D)	兼担	准教授		兼担	准教授	
		現代社会と医学(B)	11	l	現代社会と医学(B)			現代社会と医学(B)			現代社会と医学(B)

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	R 4 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 石 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		坂梨 京子						坂梨 京子			坂梨 京子
		〈平成30年4月〉						《平成31年4月》 修士(経営学)			〈平成31年4月〉 修士(経営学)
兼担	准教授	心身の健康と看護(8)				兼担	准教授	心身の健康と看護(F)	兼担	准教授	心身の健康と看護(a)
		城野 博史	1					城野 博史			城野 博史
		〈平成30年4月〉						〈平成31年4月〉 博士 (薬学)			〈平成31年4月〉 博士 (薬学)
兼担	准教授		11			兼担	准教授	将工 (来于)	兼担	准教授	将工 (来子)
		現代社会と薬学(A)						現代社会と薬学(A)			現代社会と薬学(A)
		苫野 一徳			苫野 一徳			苫野 一徳			苫野 一徳
****	-44-1m	〈平成30年4月〉	****	144 #/L 110	〈平成30年4月〉	****	144 44L 100	〈平成30年4月〉 博士(教育学)	****	准教授	〈平成30年4月〉 博士 (教育学)
兼担	准教授	現代教育について考える(A)	兼担	准教授	現代教育について考える(A)	兼担	准教授	現代教育について考える(A)	兼担	准教授	現代教育について考える(A)
			┨ ┣━━								白石 陽一
											〈令和2年4月〉
			11						兼担	准教授	教育学修士
											現代教育について考える(h)
								吉村 昇			吉村 昇
						兼担	准教授	〈平成31年4月〉 修士(教育学)	兼担	准教授	〈平成31年4月〉 修士(教育学)
			1			AK SEL	在製貨	現代教育について考える(e)	AL SEL	准钢纹	現代教育について考える(e)
								現代教育について考える(6)			現代教育について考える(6)
		藤瀬 泰司			藤瀬 泰司			藤瀬 泰司			藤瀬 泰司
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(教育学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(教育学)
36.12	/E-9X1X	現代教育について考える(D)	NA.	7E-3X1X	現代教育について考える(D)	NA.	/E-3X.IX	現代教育について考える(D)	36.32	7E-7A.IX	キャリア科目62
			<b>↓</b>								
								安村明			安村明
						兼担	准教授	〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	准教授	〈平成31年4月〉 博士(学術)
								心理学の探求(B)			心理学の探求 (B)
		松永 拓己	1		松永 拓己			松永 拓己			松永 拓己
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	修士(芸術学)	兼担	准教授	修士(芸術学)
		芸術への招待(A) 芸術への招待(C)			芸術への招待(A) 芸術への招待(C)			芸術への招待(A) 芸術への招待(C)			芸術への招待(A)
		and the same	┨ ┣━━		. I . John . Alf. Date			山﨑 浩隆			山﨑 浩隆
		山﨑 浩隆 (平成30年4月)			山﨑 浩隆 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	(十成30年4月)	兼担	准教授		兼担	准教授	修士	兼担	准教授	修士
		芸術への招待(B)			芸術への招待(B) 開放科目14			<b>肥後熊本学</b> 芸術への招待(B) 開放科目14			開放科目14
					開放科目14						
		瀧川 淳			瀧川 淳			瀧川 淳			瀧川 淳
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(学術)
		芸術への招待(B)			芸術への招待(B) 開放科目13			開放科目13			開放科目13
		茂木 俊伸	1 📂		茂木 俊伸			茂木 俊伸			茂木 俊伸
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (言語学)			〈平成30年4月〉 博士(言語学)
兼担	准教授	7月/4 1. 奈奈 /_\	兼担	准教授	知(b.1. 春味 /-)	兼担	准教授		兼担	准教授	
		現代と言語 (a) 現代と言語 (b)			現代と言語 (a) 現代と言語 (b)			現代と言語 (a) 現代と言語 (b)			現代と言語 (a) 現代と言語 (b)
		仁野平 智明			仁野平 智明			仁野平 智明			仁野平 智明
	سديين	〈平成30年4月〉	44.15	·	〈平成30年4月〉		or 70	〈平成30年4月〉 修士(教育学)	***	u	〈平成30年4月〉 修士(教育学)
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
		現代と文学(a)			現代と文学(a)			現代と文学(a)			現代と文学(a)
		鈴木 啓孝			鈴木 啓孝			鈴木 啓孝			鈴木 啓孝
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(文学)			〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
		現代世界の形成と課題(a) 現代世界の形成と課題(b)			現代世界の形成と課題 (a)			現代世界の形成と課題(a) 現代世界の形成と課題(d)			現代世界の形成と課題(d)
	•	•				-			-	•	

専任・		1	専任・	1	1	専任・	Ī		専任・	ı	1
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								原島 良成			原島 良成 〈平成31年4月〉
						兼担	准教授	〈平成31年4月〉 修士(法学)	兼担	准教授	修士(法学)
								暮らしの中の憲法			暮らしの中の憲法
									***		若色 較子 (令和2年4月)
									兼担	准教授	最先端の法学(0)
		岩田 奇志			岩田 奇志			岩田 奇志			岩田 奇志
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(経済学)			〈平成30年4月〉 博士(経済学)
兼担	准教授		兼担	准教授	丁岡明八 !	兼担	准教授	丁岡 関ル !	兼担	准教授	中国語A-1
		中国語a-1 中国語a-2			中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2			中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2			中国語A-2 中国語B-1
					中国的 <sup>12</sup> 現代社会と経済(A)			平国語D-2 現代社会と経済(A)			中国語B-2
								池田 康弘			池田 康弘
						兼担	准教授	〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	准教授	〈平成31年4月〉 博士(経済学)
						38.32	在教授	現代社会と経済(B)	<b>米坦</b>	准教授	現代社会と経済(B)
								9614 (E.A. C 4E64 (D)			
											高木 康衣 〈令和2年4月〉
									兼担	准教授	法学修士
											学際科目32
											管澤 貴之
											〈令和2年4月〉 修士(比較社会文化)
									兼担	准教授	学際科目33
											キャリア科目63
								内山 忠			内山 忠
								〈平成30年4月〉 博士(工学)			〈平成30年4月〉 博士 (工学)
						兼担	准教授	肥後熊本学 キャリア科目10	兼担	准教授	肥後熊本学 キャリア科目10
								キャリア科目54 キャリア科目55 キャリア科目61			キャリア科目54 キャリア科目55 学験科目3
								学際科目3 OSHIMA KAREN			OSHIMA KAREN
		OSHIMA KAREN 〈平成30年4月〉			OSHIMA KAREN 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	(十成30年4万/	兼担	准教授		兼担	准教授	修士(文学)	兼担	准教授	修士(文学)
		英語A-1			英語A-1 <b>英語C-1</b>			英語A-1 <b>英語C-1</b>			英語A-1 <b>英語C-1</b>
					ISEMONGER IAN MAXWELL			ISEMONGER IAN MAXWELL 〈平成30年4月〉			ISEMONGER IAN MAXWELL 〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	(平成30年4月) 修士 (文学)	兼担	准教授	(平成30年4月) 修士(文学)
					英語A-1			英語A-1			<b>英語A−1</b>
					池田 志郎			池田 志郎			池田 志郎
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士(文学)			〈平成30年4月〉 修士(文学)
			兼担	准教授		兼担	准教授	**************************************	兼担	准教授	英語A-2 ★飯B-2
					英語B-1 英語B-2 英語C-1			英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2			英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1
					井原 健			井原 健 〈平成30年4月〉			井原 健 〈平成30年4月〉
					〈平成30年4月〉			修士(教育学)		- سي	修士(教育学)
			兼担	准教授		兼担	准教授	英語A-2 ★毎D 0	兼担	<b>准教授</b>	英語A-2 英語B-2
					英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2			英語B-2 英語C-1			英語B-2 英語C-1 英語C-2
					西川里織			西川里轍			西川 里機
					四川 単標 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授		兼担	准教授	博士 英語A-2	兼担	准教授	博士 英語A-2
					英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-1			英語B-2 英語C-1 英語C-2			<b>革語B−2</b>
					英語C-2			英語C−2			英語C-1 英語C-2

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 ・ ・ の別	職名	(年 齢) (末 齢) (就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					平野 順也 〈平成30年4月〉			平野 順也 〈平成30年4月〉 修士(学術)			平野 順也 〈平成30年4月〉 修士 (学術)
			兼担	准教授	英語A-2 英語B-1 英語C-2 英語C-2 キャリア料目59	兼担	准教授	英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2 キャリア科目59	兼担	准教授	英語A-2 英語C-1 英語C-2 英語1-1
			兼担	准教授		兼担	准教授	<ul><li>永尾 悟</li><li>〈平成30年4月〉</li><li>修士 (文学) (人文学)</li><li>英語B-1</li><li>支票B-2</li><li>支票B-2</li></ul>	兼担	准教授	<ul><li>水尾 悟</li><li>〈平成30年4月〉</li><li>停士 (文学) (人文学)</li><li>英語B-1</li><li>美語B-2</li><li>美語C-2</li></ul>
			兼担	准教授	<b>松岡 浩史</b> 〈平成30年4月〉 <b>英語</b> B-1 <b>英語</b> B-2	兼担	准教授	松岡 浩史 〈平成30年4月〉 修士 (イギリス文学) 英語A-2 英語B-1	兼担	准教授	松岡 浩史 (平成30年4月) 修士 (イギリス文学) 美暦8-1 美暦8-2 美暦8-2
					英語I-1 片山 圭巳 〈平成30年4月〉			英語0-1 英語1-1 片山 圭巳 〈平成30年4月〉			片山 圭巳 〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1	兼担	准教授	博士 (国際広報メディア) 英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1	兼担	准教授	博士 (国際広報メディア) 英語B-2 英語G-2
			بد		館石 宏明 〈平成30年4月〉 ドイツ額A-1			館石 宏明 〈平成30年4月〉 修士 (文学) ドイツ額A-1			館石 宏明 〈平成30年4月〉 修士 (文学)
			兼担	准教授	ドイツ語A-2 ドイツ語-2 ドイツ語-1 ドイツ語-1 ドイツ語1-1 ドイツ語11-1 ドイツ語11-2	兼担	准教授	ドイツ無人-1 ドイツ無人-2 ドイツ無C-2 ドイツ無1-1 ドイツ無11-2 ドイツ無11-1 ドイツ無11-2	兼担	准教授	ドイツ圏A-1 ドイツ圏A-2 ドイツ圏I-1 ドイツ圏I-2 ドイツ圏II-1 ドイツ圏II-2
			兼担	准教授	井上 暁子 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	井上 曉子 〈平成30年4月〉 博士	兼担	准教授	井上 晚子 〈平成30年4月〉 博士
					トイツ語A-2 ドイツ語B-1 ドイツ語G-2 ドイツ語G-2			ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-2 Herzog Eberhard			ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 Herzog Eberhard
兼担	准教授	Herzog Eberhard 〈平成30年4月〉 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2	兼担	准教授	Herzog Eberhard	兼担	准教授	(平成30年4月) 修士 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2	兼担	准教授	(平成30年4月) 修士 ドイツ語B-1 ドイツ語I-1 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
		117000	兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas 〈平成30年4月〉 修士	兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas 〈平成30年4月〉 修士
		40 E24-7			ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2			ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 畑 亜弥子			ドイツ暦B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 畑 亜弥子
兼担	准教授	畑 亜弥子 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	畑 亜弥子 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士 フランス語A-1	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士
		フランス語C-1 フランス語C-2			フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語G-2 フランス語G-1 フランス語G-2			<b>フランス語A-2</b> フランス語C-1 フランス語C-2			フランス語III-1
		市川 雅己 〈平成30年4月〉 フランス語A-1 フランス語A-2			市川 雅己 〈平成30年4月〉			市川 雅己 (平成30年4月) 修士(文学) フランス額4-1			市川 雅己 〈平成30年4月〉 修士(文学)
兼担	准教授	<b>フランス語a-1</b>	兼担	准教授	フランス語C-1 フランス語C-2	兼担	准教授	フランス語I-1 フランス語I-2 フランス語II-1	兼担	准教授	フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語C-1 フランス語C-2
		フランス語a-2				! L					

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		Michel SAGAZ			Michel SAGAZ			Michel SAGAZ			Michel SAGAZ
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (言語科学)			〈平成30年4月〉 博士(言語科学)
兼担	准教授	フランス語B-1 フランス語B-2	兼担	准教授	フランス語8-1 フランス語8-2 フランス語 <b>8-1</b> <b>フランス語8-2</b> <b>フランス語</b> 1-1	兼担	准教授	フランス語B-1 フランス語B-2 <b>フランス語I-1</b>	兼担	准教授	フランス語B-1 フランス語B-2 <b>フランス語I-1</b>
					フランス語1-2			ブランス語 [-2			プランス語 I-2
					屋敷 信晴 〈平成30年4月〉			屋敷 信晴 〈平成30年4月〉 博士 (文学)			屋敷 信晴 (平成30年4月) 博士(文学)
			兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
			<b>∤                                    </b>					波邊 直土			波達・直土
					波達 直土 (平成30年4月)			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			4		(平成30年4月)			博士(学術)			博士 (学術)
			兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2	兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2	兼担	准教授	中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
			┨┠			-		中尾(健一郎	-		中尾 健一郎
					中尾 健一郎 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(文学)			〈平成30年4月〉 博士(文学)
			兼担	准教授	中國語a-1 中國語a-2 中國語C-1 中國語C-2	兼担	准教授	中国語=-1 中国語=-2 中国語-C-1 中国語C-2	兼担	准教授	中國語A-1 中國語A-2 中國語B-1 中國語B-2
		久保田 盲一郎	┧┢─		久保田 真一郎			久保田 真一郎			久保田 真一郎
		久保田 真一郎	〈平成30年4月〉		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	准教授	(1777-1777)	兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	博士(理学)
		情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
		1育報处理做調	l		1月報处理依誦						
		松葉 龍一			松葉 龍一			松葉 龍一 (平成30年4月)			松葉 龍一
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士(理学)	兼担	准教授	博士(理学)
					情報基礎A 情報基礎B 維料 In THE SA			情報基礎A 情報基礎B 機製加工機能会			情報基礎A 情報基礎B
		情報処理概論	<b>∤ ├</b> ──		情報処理概論			情報処理概論			情報処理概論
		北村 士朗 〈平成30年4月〉			北村 士朗 〈平成30年4月〉			北村 士朗 〈平成30年4月〉			北村 士朗 〈平成30年4月〉
兼担	准教授	(1)200-4717	兼担	准教授	情報基礎A	兼担	准教授		兼担	准教授	情報基礎A
		情報処理概論			情報基礎B 情報処理概論			情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論			情報基礎B 情報処理概論
			1 -					安部 美和			安部 美和
								〈平成30年4月〉 博士(地球環境学)			〈平成30年4月〉 博士 (地球環境学)
			11			兼担	准教授	.,,	兼担	准教授	
								学際科目4 キャリア科目52 キャリア科目53			学際科目4 キャリア科目52 キャリア科目53
			+			-		阿部値			阿部 健
					阿部 健			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士(理学)	兼担	准教授	博士(理学)
					微分積分II			線形代数I 線形代数II			線形代数I 線形代数II
			$H \vdash$		-lb Dui nin Abr	-		北別府 悠			北別府 悠
					北別府 悠 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授		兼担	准教授	博士(理学)	兼担	准教授	博士(理学)
					微分積分I			微分積分I 微分積分II			微分積分I 微分積分II
			1		谷本 祥			谷本 祥			谷本 祥
					マル (平成30年4月)			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	微分積分1	兼担	准教授	博士 撤分積分I	兼担	准教授	博士 維形代數 [
					報が保力! 線形代数! 線形代数!!			銀万俣万1 線形代数I 線形代数II			線形代數I 線形代數II 開放科目18
			J L	l		<u> </u>			L	l	

市に			東方			また			東バ		T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					杉崎 文亮			杉崎 文亮			杉崎 文亮
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)
					微分積分I 微分積分II 統計学I			微分積分I 微分積分II 統計学I			微分積分I 微分積分II
					千吉良 直紀			千吉良 直紀			千吉良 直紀
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士 (理学)
					線形代數I 線形代數II			線形代數II			文系のための数学入門(a) 数学の世界(B)
								想原 幸二			和原 幸二
						兼担		〈平成31年4月〉 博士(情報科学)	***		(平成31年4月) 博士(情報科学)
						兼担	准教授	微分積分II	兼担	准教授	数学と文化 (o)
			$\{ \   \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $		安藤 直也			安藤 直也			安藤 直也
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授		兼担	准教授	博士(數理科学)	兼担	准教授	博士(數理科学)
					線形代數I 線形代數II			微分積分II 線形代数I 線形代数II			統計学I 数学の世界(b)
		岩佐 学			岩佐 学			岩佐 学			岩佐 学
<b>本</b> 切	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	<b>米</b> 粉 桠	〈平成30年4月〉 博士(数理学)	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(数理学)
末担		統計学概論 統計学[	<b>米担</b>	准教授	<b>線形代数!</b> 統計学!	来担	准教授	線形代数I	末担	准教授	線形代數Ⅰ
		統計学Ⅱ			統計学Ⅱ			統計学概論			IN INTEREST
											川節和裁
									兼担	准教授	〈令和2年4月〉 博士(數理科学)
									akus	AL SEA LO	線形代數I 線形代數II
		富田 智彦	┨┝		富田 智彦			富田 智彦			富田 智彦
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			〈平成30年4月〉 博士 (理学)
兼担	准教授	地学!!	兼担	准教授	地学!!	兼担	准教授	地学!!	兼担	准教授	地学!!
			<b>↓</b>			-		坂本 将基			坂本 将基
					坂本 将基			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	博士 (学術)	兼担	准教授	博士(学術)
					体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学(a)
								松永 詩乃美			松永 詩乃美
						#49	No. also dest	〈平成31年4月〉 博士 (法学)	***	准教授	〈平成31年4月〉 博士 (法学)
						兼担	准教授	キャリア科目15	兼担	准製技	法学の基礎(a)
			┧┝─		本吉 大介						本吉 大介
					〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉 修士(心理学)
			兼担	准教授	現代心理行動学(c)				兼担	准教授	現代心理行動学(c)
			┧├─		藤原 志帆						藤原 志帆
			-	***	〈平成30年4月〉				-	-	〈平成30年4月〉 博士 (教育学)
			兼担	准教授	現代心理行動学(d)				兼担	准教授	現代心理行動学(g)
		小林 晃	1 🗀		小林 晃						小林 晃
		〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉				兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(文学)
兼担	准教授		11		地域の世界史(e)						地域の世界史(e) 地域の世界史(f)
兼担	准教授	地域の世界史(e) 地域の世界史(f)	J L	L		L					
兼担	准教授	地域の世界史(e) 地域の世界史(f)			三瓶 弘書						三瓶 弘書
兼担	准教授	地域の世界史(f) 地域の世界史(f)	兼担	准教授	三瓶 弘書				兼担	准教授	三瓶 弘喜 〈平成30年4月〉 修士(文学)

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齡) (計年 (予宁) 年日 \	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <計年 (予定) 年日>	専任・ 兼担・ 兼任		氏名(年齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名 岩崎 竹彦
		岩﨑 竹彦 〈平成30年4月〉			岩崎 竹彦 〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉
兼担	准教授	(1),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	兼担	准教授	(1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				兼担	准教授	文学修士
		日本社会の歴史(a) 日本社会の歴史(b)			日本社会の歴史(a) 日本社会の歴史(b)						日本社会の歴史 (g) 日本社会の歴史 (h)
					檜垣 匠						檜垣 匠
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉				兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(生命科学)
					最先端の生命科学(e)						最先端の生命科学(e)
		中迫 由実			中迫 由実						中道 由実
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉 博士 (学術)
兼担	准教授	現代教育について考える(C)	兼担	准教授	現代教育について考える(o) 現代教育について考える(d)				兼担	准教授	現代教育について考える(o) 現代教育について考える(d)
		竹中 伸夫	-		竹中 伸夫				-		竹中 伸夫
<b>本</b> 42	##1100	〈平成30年4月〉	#40	*******	〈平成30年4月〉				#+D	### in	〈平成30年4月〉 博士(教育学)
兼担	准教授	現代教育について考える(D)	兼担	准教授	現代教育について考える(D)				兼担	准教授	現代教育について考える(g)
			l								赤木恭子
		赤木 恭子 〈平成30年4月〉			赤木 恭子 〈平成30年4月〉						《平成30年4月》
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	(平成30年4月)				兼担	准教授	博士(教育学)
		芸術への招待(B)			芸術への招待(B)						芸術への招待(B)
		十服 工力			+m	-					大野 正久
		大野 正久 〈平成30年4月〉			大野 正久 〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉
兼担	准教授		兼担	准教授					兼担	准教授	博士(経済学)
		現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)			現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)						現代社会と経済(g)
					阿部 悠貴						阿部 悠貴
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉				兼担	准教授	《平成30年4月》 博士 (政治学)
					現代の政治(b)						現代の政治(A)
					原正大						原正大
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉				兼担	准教授	〈平成30年4月〉
					物理学基盤実験						物理学基盤実験
		安武 綾									安武 綾
** 40	144 44 110	〈平成30年4月〉							***	144 4F 188	〈平成30年4月〉 博士(看護学)
末担	准教授	心身の健康と看護(C)							兼担	准教授	心身の健康と看護(G)
		松本 智晴									松本 智晴
** 40	144 44 110	〈平成30年4月〉							***	144 4F 188	〈平成30年4月〉 博士 (医学)
兼担	准教授	肥後熊本学							兼担	准教授	肥後熊本学
											平英雄
											〈平成30年4月〉
									兼担	准教授	物理学
		松田 俊郎			松田 俊郎			松田 俊郎	-		70- <b>2</b> 7 1
***	144 AP 100	〈平成30年4月〉		44 to 100	〈平成30年4月〉		W +0 1-	〈平成30年4月〉			
兼担	准教授	豊かさを持続させるものづくり(C)	兼担	准教授	豊かさを持続させるものづくり (C)	兼担	准教授	豊かさを持続させるものづくり (C)			
						-		佐藤岳詩			
					佐藤 岳詩 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			
			兼担	准教授		兼担	准教授	博士(文学)			
					倫理学入門(g) 倫理学入門(h)			倫理学入門(E)			
			I <u>L</u>			<u> </u>	<u> </u>				

亩に			亩ヶ	T		声に		1	击/イ	1	7
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		菊池 哲平						菊池 哲平			
兼担	准教授	〈平成30年4月〉				兼担	准教授	〈平成31年4月〉 博士(心理学)			
		現代心理行動学(b)						現代心理行動学(b)			
		中川 順子	1		中川 順子			中川 順子			
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 修士 (文学)			
		地域の世界史(a) 地域の世界史(b)			地域の世界史(a) 地域の世界史(b)			地域の世界史(a) 地域の世界史(b)			
		今村 直樹	1 🖯		今村 直樹			今村 直樹			
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(歴史学)			
		日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)			日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)			日本社会の歴史 (c) 日本社会の歴史 (d)			
			1		安高 啓明			安高 啓明			
			****	45.45.400	〈平成30年4月〉	*****		〈平成30年4月〉 博士(史学)(国際文化)			
			***	准教授	日本社会の歴史(e) 日本社会の歴史(f)	兼担	准教授	日本社会の歴史(e)			
			4			-		日本社会の歴史(f) 中田 晴彦			
		中田 晴彦 (平成30年4月)			中田 晴彦 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	博士(農学)			
		化学と環境(C)			肥後熊本学			肥後熊本学			
		長谷 真			長谷 真			長谷 真			
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士 (理学)			
兼担	准教授	健康の科学(B)	兼担	准教授	健康の科学(B)	兼担	准教授	健康の科学(B)			
					健康の科学(C)						
		内山 良一	1		内山 良一			内山 良一			
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士 (工学)			
#IE	准拟技	医療における理工学(a)	<b>米</b> 恒	/在9人1文	医療における理工学(a) <b>医療における理工学(e)</b>	AK IE	/庄弘[文	医療における理工学(a)			
		首藤 剛	┪┝		 首藤 剛			首藤 剛			
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士 (薬学)			
J	711.72	開放科目11		/E-7A1A	<b>薬科学入門(A)</b> 開放科目11	71112	/E-7A1A	開放科目11			
		増田 仁	+		増田 仁	-		増田 仁			
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(教育学)			
兼担	准教授	現代教育について考える(C)	兼担	准教授		兼担	准教授	(数百子)			
					現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)			現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)			
		梅田泉	$+$ $\vdash$		梅田 泉	$\vdash$		梅田泉			
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士			
兼担	准教授	日本事情(C)	兼担	准教授		兼担	准教授	19-1			
		日本事情(D) 現代教育について考える(E)			現代教育について考える(E)			現代教育について考える(E)			
			1		徳永 遠哉			徳永 達哉			
				准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉 博士(比較社会文化)			
			兼担			1		暮らしの中の憲法			
			兼担		暮らしの中の憲法			4500 + 0 <b>2</b> .2			
			<b>兼担</b>								
					事らしの中の憲法  PEDERSON STANLEY CLARENCE  〈平成30年4月〉			PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉			
				准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE	兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉			
					PEDERSON STANLEY CLARENCE	兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉			
					PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉 修士 (英術) 英語A-1			
			兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉 美額A-1			PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉 修士 (芸術) 英語A-1			
			兼担		PEDERSON STANLEY CLARENCE 〈平成30年4月〉 英鵬A-1		准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE 《平成30年4月》 修士(芸術) 英語A-1 長機 寿宣 《平成30年4月》			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		山田 積			山田 積			山田 積			
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士			
兼担	准教授	ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語D-1 ドイツ語D-2	兼担	准教授	ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2	兼担	准教授	ドイツ藝A-1 ドイツ藝A-2 ドイツ藝a-1 ドイツ藝a-2			
			兼担	准教授	尾上 哲治 (平成30年4月)	兼担	准教授	尾上 哲治 〈平成30年4月〉 博士 (理学)			
					地学「			地学I			
			兼担	准教授	小澤 雄二 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	小澤 雄二 〈平成30年4月〉 博士 (スポーツ医学)			
					体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学			
		江川 良裕			江川 良裕			江川 良裕			
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			
兼担	准教授	キャリア科目4	兼担	准教授	キャリア科目60	兼担	准教授	キャリア科目60			
		尾上 幸造			尾上 幸造			尾上 幸造			
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			
兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり(B)	兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり(B)	兼担	准教授	持続可能な都市と地域づくり (B)			
		武田 浩二			武田 浩二			武田 浩二			
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)			
兼担	准教授	物理地域づくりと科学技術(E)	兼担	准教授	物理地域づくりと科学技術 (E)	兼担	准教授	物理地域づくりと科学技術 (E)			
		渡邉 重義			渡邉 重義						
兼担	准教授	〈平成30年4月〉	兼担	准教授	〈平成30年4月〉						
		最先端の生命科学(c)			最先端の生命科学(c)						
					星野 裕司						
			●細	准教授	〈平成30年4月〉						
					地域づくりと科学技術(A)						
					岡島 寛						
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉						
			***	- marint	暮らしと情報・通信技術(a)						
						-			-		
					精方 公一 〈平成30年4月〉						
			兼担	准教授	暮らしと情報・適信技術(a)						
					常田 明夫						
			***		〈平成30年4月1〉						
			兼担	准教授	暮らしと情報・通信技術(a)						
		秋月 百合	l		秋月 百合	-					
**10		秋月 目告 〈平成30年4月〉	***	-44 to 1-	秋月 日告 〈平成30年4月〉						
兼担	准教授	健康の科学(B)	兼担	准教授	健康の科学(B)						
					健康の科学(C)						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		入谷 仁士	1		入谷 仁士						
****	V4. +/L 1/10	〈平成30年4月〉	****	14. W. LIII	〈平成30年4月〉						
兼担	准教授	健康の科学(B)	来担	准教授	健康の科学(B) 健康の科学(C)		•				
		竹島 一希			竹島 一希						
<b>本</b> 坦	准教授	〈平成30年4月〉		准教授	〈平成30年4月〉						
ж <u>ш</u>		現代と文学(c) 現代と文学(d)	本追	准软技	現代と文学(e) 現代と文学(f)						
		安浪 誠祐			安浪 誠祐						
****	100	〈平成30年4月〉	****	40 100	〈平成30年4月〉						
末担		英語D-1 英語D-2 学際科目1	末担	准教授	英語D-1 英語D-2 学際科目1						
			1 -		合田 美子						
					〈平成30年4月〉						
			兼担	准教授	英語D-1 英語D-2		•				
			1		大西 克智						
					〈平成30年4月〉						
			兼担	准教授	フランス語C-1						
					フランス語0-2 フランス語0-1 フランス語0-2						
		一柳 錦平			一柳 錦平						
		〈平成30年4月〉	] ]		〈平成30年4月〉						
兼担	准教授	om 44.4%	兼担	准教授							
		肥後熊本学			肥後熊本学						
					前田 洋助						
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉						
					肥後熊本学						
					中村 徹						
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉						
					競分積分Ⅰ 数分積分Ⅱ						
					河野 憲一郎						
			兼担	准教授	〈平成30年4月〉						
					キャリア科目12						
					田中 尚人	1					
					<平成30年4月> 博士(工学)						
			1			11					
			兼担	准教授							
					地域づくりと科学技術(A)						
		本間 里見	1		本間 里見						
		<平成30年4月> 博士(工学)			<平成30年4月> 博士(工学)						
		博士(工学)	1		博士(工学)						
兼担	准教授		兼担	准教授							
		学際科目3			学際科目3						
		J POUT CIV			) MATE III V						
<u> </u>			J L			I					

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	准教授	園山 琢也 <平成30年4月> 博士 (環境学) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
兼担	准教授	井上 尚夫 〈平成30年4月〉	兼担	准教授	井上 尚夫 〈平成30年4月〉  微分體分! ・						
兼担	准教授	久我 守弘 〈平成30年4月〉 日々の生活に垣間見る情報と通信 (8) 暮らしと情報・通信技術(a)									
兼担	准教授	高岸 幸弘 〈平成30年4月〉 こころの科学(A)									
兼担	准教授	高崎 文子 〈平成30年4月〉 こころの科学(A)									
兼担	准教授	文東 美紀 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(A) 病気の医科学(A)									
兼担	准教授	古嶋 昭博 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(a)									
兼担	准教授	齋藤 和也 〈平成30年4月〉 健康の科学(A)									
兼担	准教授	魏 范研 〈平成30年4月〉 病気の医科学(A)									
兼担	准教授	中尾 富士子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(A)									
兼担	准教授	米田 哲也 〈平成30年4月〉 医療における理工学(a)									
兼担	准教授	門脇 大介 〈平成30年4月〉 業科学入門(A)									
兼担	准教授	松永 浩文 《平成30年4月》									
		薬科学入門(B) 開放科目8									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		藤田 美歌子	i 🗀								
兼担	准教授	〈平成30年4月〉									
7.11.7.		薬科学入門(B)									
		渡邊 博志	┨┝								
		〈平成30年4月〉									
兼担	准教授	現代社会と薬学(A)	1								
		開放科目10									
		中原 雅彦									
兼担	准教授	〈平成30年4月〉									
水担		芸術への招待(A)									
		森 大輔									
番坦	准教授	〈平成30年4月〉									
JK 1E	/E-9X1X	日本事情(D)									
		最先端の法学(A)	<u> </u>								
		柊中 智恵子									
兼担	准教授	〈平成30年4月〉									
		肥後熊本学									
		朝田 とも子									
# +0	V4. +/L 1/10	〈平成30年4月〉									
末担	准教授	キャリア科目8									
		<b>≅++</b> ×7	<b> </b>						-		
** 10	100	河村 洋子 〈平成30年4月〉									
兼担	准教授	Area Studies (E)	1								
			<b>∤</b>			-					
		門岡 康弘 〈平成30年4月〉									
兼担	准教授	(1,000-4717	1								
		現代社会と医学(A)									
		木村 博子									
番坦	准教授	〈平成30年4月〉									
XX.12	711.72.12	芸術文化論(A)									
		緒方 智成	$\parallel \mid \perp \mid$		緒方 智成						
		<平成30年4月>			<平成30年4月>						
兼担	准教	博士(工学)	兼担	准教	博士(工学)						
	授	応用物質化学 ものづくりの科学と技術(F)		授	応用物質化学 ものづくりの科学と技術(F)						
		しいとく ラジョイナビ 技術 (1)			しい ノ 、 、 、 、 、 の 日子 ご (又 門 (1 )						
		山口 佳宏			山口 佳宏			山口 佳宏			山口 佳宏
	w	<平成30年4月> 博士(薬学)	]	M2 3	<平成30年4月> 博士(薬学)		W 2	<平成30年4月> 博士(薬学)		بي	<平成30年4月> 博士(薬学)
兼担		現代教育について考える(B)	兼担	准教 授	環境調和化学	兼担	准教 授	環境調和化学 化学物質管理学	兼担	准教 授	環境調和化学 化学物質管理学
		環境調和化学 化学物質管理学 応用生命化学			化学物質管理学 応用生命化学 キャリア科目14			応用生命化学 化学実験 I キャリア科目14			応用生命化学 化学実験 I 学際科目5
		マスデン 眞理子			マスデン 眞理子			マスデン 眞理子			マスデン 眞理子
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 修士(教育学)			〈平成30年4月〉 修士(教育学)
兼担	講師	日本語A-1	兼担	講師	日本語A-1	兼担	講師	マエ (が月子)	兼担	講師	日本語D-1
		日本語A-2			日本語A-2 日本語II-2			日本語II-2 日本語IV-2			日本語D-2 日本語II-2 日本語IV-2
			1		伊藤 雅浩			伊藤 雅浩			伊藤 雅浩
			兼担	講師	〈平成30年4月〉	兼担	鉄師	〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼担	講師	〈平成30年4月〉 博士 (医学)
				m-0 1899	体育・スポーツ科学	AK111	1679 1889	体育・スポーツ科学	- A-1E	100.00	体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
										]	では、ヘルーン骨子(D)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡)  <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼担		SIMS LANDER BRYANT 〈平成30年4月〉 Global Career Development (a) Global Career Development (b)	兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 〈平成30年4月〉  Academic Foundations (a) Area Studies (f) Socio-Cultural Studies (c)  Comprehensive English Communication (a) Global Career Development (a) Global Career Development (b)	兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 《平成30年4月》  Area Studies (f) Socio-Oultural Studies (o) Socio-Oultural Studies (h) Comprehensive English Communication (a)	兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 《平成30年4月》  *基础B-1 Area Studies (f) Socio-Cultural Studies (c) Socio-Cultural Studies (h) Comprehensive English Communication (a)
兼担	講師	寺岡 祥子 〈平成30年4月〉 キャリア科目9							兼担	講師	寺岡 祥子 〈平成30年4月〉 博士 (学術)  心身の健康と看護(b)
兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉 医療における理工学(c) 医療における理工学(d)	兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉 医療における理工学(d)	兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉 博士 (保健学) 医療における理工学(d)			
			兼担	講師	中島 隆 〈平成30年4月〉 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2 ドイツ語G-1	兼担	講師	中島 隆 《平成30年4月》 修士 ドイツ語e-1 ドイツ語e-2 ドイツ語(C-1			
兼担	講師	松瀬 成子 〈平成30年4月〉 日本語IV-2	兼担	講師	松瀬 成子 〈平成30年4月〉 日本語8-2 日本語1-2 日本第11-1 日本語11-2 日本語11-2 日本語1V-2	兼担	講師	松瀬 成子 《平成30年4月》 修士 日本語9-1 日本語1-2 日本語11-1 日本語111-2			
			兼担	講師	生田 まちよ 〈平成30年4月〉 キャリア料目11	兼担	牌師	生田 まちよ 〈平成30年4月〉 キャリア科目11			
兼担	講師	佐藤 伸子 〈平成30年4月〉 健康の科学(B)	兼担	講師	佐藤 伸子 〈平成30年4月〉 健康の科学(B) <b>健康の科学(C)</b> <b>※田 まなみ</b>						
			兼担	講師	〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(D)						
兼担	講師	江角 重行 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(A)									
兼担	講師	鳥越 大輔 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(a)									
兼担	講師	竹尾 透 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(b)									
兼担	講師	水野 裕史 〈平成30年4月〉 肥後熊本学									

<b>東</b> //			± ~			士と			士と		T
専任・ 兼担任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	1 L		担当授業科目名	L		担当授業科目名			担当授業科目名
		中島 陽一			中島 陽一			中島 陽一			中島 陽一
兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉 博士(理学)	兼担	助教	〈平成30年4月〉 博士(理学)
		物理学入門(i) 物理学入門(j)			物理学入門(j)			物理学入門(j)			物理学入門(j)
			┨ ├──					寺本 進	-		寺本 進
		寺本 進 〈平成30年4月〉			寺本 進 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	助教		兼担	助教		兼担	助教	博士(理学)	兼担	助教	博士(理学)
		生物学基盤実験 生物の世界 (D)			生物学基盤実験 生物の世界(D)			生物子基盤美験 生物の世界(D)			生物学基盤実験 生物の世界(D)
		可児 智美			可児 智美			可児 智美			可児 智美
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(理学)			〈平成30年4月〉 博士(理学)
兼担	助教	地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)	兼担	助教	地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)	兼担	助教	地球環境科学の最前線(c)	兼担	助教	地球環境科学の最前線(c)
		森 信子			森信子			森 信子			森 信子
兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉 博士(薬学)	兼担	助教	〈平成30年4月〉 博士(薬学)
*** 1E	-917X	現代の医学検査(b)	]	-91 fX	現代の医学検査(b)	ANIE	少秋	現代の医学検査(b)	ANJE.	-90-秋	現代の医学検査(b)
			<b>∤</b>					右田 雅裕			右田 雅裕
		右田 雅裕 〈平成30年4月〉			右田 雅裕			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼担	助教	情報基礎A	兼担	助教	情報基礎A	兼担	助教	修士(工学) 情報基礎A	兼担	助教	修士(工学) 情報基礎A
		情報基礎B			情報基礎B			情報基礎B			情報基礎B
		池見 公芳			池見 公芳			池見 公芳 〈平成30年4月〉			池見 公芳 (平成30年4月)
兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	修士(理学)	兼担	助教	修士(理学)
		化学基盤実験			化学基盤実験			化学基盤実験			化学基盤実験
		辻田 直子	<b> </b>						-		辻田 直子
		〈平成30年4月〉									〈平成30年4月〉
兼担	助教								兼担	助教	修士 (保健学) 医療における理工学(a)
		医療における理工学(b)									医療における理工学(b) 医療における理工学(c)
		井手上 賢			井手上 賢						
兼担	助教	〈平成30年4月〉	兼担	助教	〈平成30年4月〉						
		生物の世界(D)			生物学基盤実験						
					福山美季						
			兼担	助教	〈平成30年4月〉						
				-	心身の健康と看護(0)						
					荒江 祥永						
			兼担	助教	〈平成30年4月〉						
					化学基盤実験						
					船津 麻美						
			兼担	助教	〈平成30年4月〉						
					化学基盤実験						
			1 📙		大谷 亮						
			兼担	助教	〈平成30年4月〉						
			本位	刺歌	化学基盤実験						
					田中明						
			兼担	助教	〈平成30年4月〉						
					化学基盤実験						
		<b>伊里 法</b> 共	┨			-					
兼担	助教	但馬 達哉	]								
		生物の世界(D)									
					<u>.                                    </u>	L					

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		西村 方孝									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
N.IE	49142	最先端の生命科学 (A)									
		竹本 誠									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
		最先端の生命科学 (A)									
		那須 信									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
		最先端の生命科学(A)									
		杉本 道彦									
兼担	助教	〈平成30年4月〉	-								
		最先端の生命科学 (a)									
		竹田 直樹									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
		最先端の生命科学(a)									
		島﨑 達也									
兼担	助教	〈平成30年4月〉	1								
		最先端の生命科学 (a)									
		吉信 公美子									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
N.IE	19/19/	最先端の生命科学 (b)									
		村松 昌									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
N.IE	197170	最先端の生命科学(b)									
		遠藤 元誉									
兼担	助教	〈平成30年4月〉									
		病気の医科学(A)									
		門松 毅						]			
兼担	助教	〈平成30年4月〉	4								
		病気の医科学(A)									
		南家 貴美代									
兼担	助教	〈平成30年4月〉	]								
		心身の健康と看護 (A)									
		宮﨑 志保	1								
		〈平成30年4月〉									
兼担	助教	心身の健康と看護 (B)									
		大野 剛	┨			-					
		〈平成30年4月〉									
兼担	助教	医療における理工学(C)	1								
					Lookowski Tarrii			Laskowski Terry			Laskowski Terry
					Laskowski Terry 〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉 博士(応用言語学)			〈平成30年4月〉 博士(応用言語学)
			兼担	シニア 教員	文語A-1	兼担	シニア 教員		兼担	シニア 教員	
	L				<u> </u>			英語 I-1 英語 I-2			<b>英語I-2</b>
						-			-	•	•

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月〉 保有学位等 担当授業科目名
									兼担	特定事業教員	小川原 弘士 (令和2年4月) 博士 (理学) 最分額分1 最分額分11 統計学概論 文系のための数学入門(a) 変略 清剛
			-						兼担	特定事業教員	令和2年4月〉 博士(理学) (会和2年4月〉 (会和2年4月〉 (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会) (会)
		鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉			鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉			鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉 修士(教育学)			鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
兼担	特定事業教員	日本語C-1 日本語C-2	兼担	特定事業教員	日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語D-1 日本語D-2 日本語IV-2	兼担	特定事業教員	日本語A-1 日本語A-2 日本語C-2 日本語D-1 日本語D-2 日本語D-2 日本語D-2 日本語D-2 日本語D-2	兼担	特定事業教員	日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語III-1 日本語IV-1 日本語IV-1 日本語IV-2
				结定直	平野 貞二 〈平成30年4月〉		結定高	平野 貞二 〈平成30年4月〉		禁灾事	平野 貞二 〈平成30年4月〉
			兼担	特定事業教員	日本語C-2 日本語IV-2	兼担	特定事業教員	日本語C-2 日本語IV-2	兼担	特定事業教員	日本語IV-1 日本語IV-2
			-						兼担	特定事業教員	宮本 茂生 (令和2年4月) 修士 (地域研究)
										未敬具	日本語IV-2
					王 勁草 〈平成30年4月〉			王 勁草 〈平成30年4月〉 博士			王 勁草 〈平成30年4月〉 博士
			兼担	特定事業教員	Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (d) Technical English Communication (h)	兼担	特定事業教員	Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (d) Socio-Cultural Studies (f) Socio-Cultural Studies (g) Technical English Communication (h)	兼担	特定事業教員	中国語C-1 中国語C-2 Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (f) Socio-Cultural Studies (g) Tochnical English Communication (h)
		RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉			RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉			RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉			RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉
兼担	特定事 業教員	Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)	兼担	特定事業教員	Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)	兼担	特定事 業教員	Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b) Socio-Cultural Studies (e)	兼担	特定事業教員	Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b) Socio-Cultural Studies (e)
		吉里 さち子			吉里 さち子 〈平成30年4月〉			吉里 さち子			吉里 さち子
兼担	特定事 業教員	日本語D-1 日本語D-2	兼担	特定事 業教員	日本語D-1 日本語D-2	兼担	特定事 業教員	日本語D-1 日本語D-2	兼担	特定事業教員	日本語0-1 日本語0-2 日本語1-2 日本語1:I-1
					佐々木 葉月 〈平成30年4月〉			佐々木 葉月 〈平成30年4月〉			日本語III-2
			兼担	特定事業教員	Socio-Gultural Studies (D)	兼担	特定事 業教員	現代の政治(o) Socio-Cultural Studies (D)			
		平 英雄			平 英雄			平 英雄			
兼担	非常勤 教員	物理学	兼担	非常勤 教員	物理学	兼担	非常勤 教員	物理学			

の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 程有学位年	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 程有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 
		保有学位等 			保有学位等  担当授業科目名	1	, or 14	保有学位等 ————————————————————————————————————	//1	, , , , , ,	保有学位等 ————担当授業科目名
$\vdash$		大熊 薫	-		大熊 薫			프리저지네디디			正司汉末11日日
**	上中市	〈平成30年4月〉		杜宁市	〈平成30年4月〉						
	特定事。 美教員	学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55	兼担	特定事業教員	学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55						
		MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND			MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND						
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
兼担 特業	<b>《教</b> 貝	World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (c) Technical English Communication (f)	兼担	特定事業教員	英語A-1 英語D-1 World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (a) Technical English Communication (f)						
		JOHNSON KRISTOPHER DENNIS			JOHNSON KRISTOPHER DENNIS						
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
兼担 特業		Technical English Communication (E) Technical English Communication (a) Technical English Communication (d) Technical English Communication (g)	兼担	特定事業教員	Technical English Communication (e) Technical English Communication (g)						
		香室 結美	-		香室 結美						
		▼正 和天			〈平成30年4月〉						
兼担 特業	静定事, 美教員	最前線の社会文化研究 (A)	兼担	特別研 究員	最前線の社会文化研究(A)						
		谷口 純一			谷口 純一						
	<b>  常勤</b>	〈平成30年4月〉	兼担	病院教	〈平成30年4月〉						
9	教員	現代社会と医学(8)		•	現代社会と医学(B)						
					日和田 伸一						
	•		兼担	課長	〈平成30年4月〉 キャリア科目3						
		天野 慧	-								
	寺定事 -	〈平成30年4月〉									
兼担 業	类教員	Area Studies (E) キャリア科目52 キャリア科目53									
		CHAN CHEONG JAN									
兼担 特	<b>持定事</b>	〈平成30年4月〉									
**************************************		Music and Humanity (a) Area Studies (c) Area Studies (d)									
		内山 忠			内山 忠						
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉						
兼担 特業	特定事 美教員	肥後熊本学 キャリア科目10	兼担	特定事業教員	肥後熊本学 キャリア科目10						
		キャリア科目58			キャリア科目61 学験科目3						
		安部 美和			安部 美和						
	宇定事.	〈平成30年4月〉	兼担	特定事	〈平成30年4月〉						
*	<b>美教員</b>	肥後熊本学	WIE	業教員	キャリア科目52 キャリア科目53						
		髙口 義幸			高口 義幸			髙口 義幸			
<sub>兼七</sub> 特	持定事	〈平成30年4月〉	#+in	特定事	〈平成30年4月〉	#10	特定事	〈平成30年4月〉			
兼担 業	<b>*教員</b>	キャリア科目56 キャリア科目57	兼担	業教員	キャリア科目56 キャリア科目57	兼担	特定事業教員	キャリア科目56 キャリア科目57			

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	(年 節) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	(年 節) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 節) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(井
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		CHEN I CHUN			CHEN I CHUN						
****	特定事	〈平成30年4月〉	****	特定事	〈平成30年4月〉						
兼担	業教員	Basic Economics (a) Basic Economics (b)	兼担	業教員	Statistics (a) Basic Economics (a)						
兼任	講師	7-ムストロングレイモンド ゲレック゚ <平成30年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University	兼任	講師	7-仏ストロンヴ レイモンド ^ ゚レック゚ <平成30年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University	兼任	講師	アールストロング・レイモント・ ケーシック・ マ平成31年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University	兼任	講師	アーレストロング・レイモンド・ グ・レッグ・ <平成31年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University
		工学英語 I 工学英語 II			工学英語皿 工学英語IV 英語A-1			工学英語皿 工学英語IV 英語A-1			工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ 英語A-1
		飯田 晴彦			飯田 晴彦			飯田 晴彦			
		<平成30年4月>			<平成30年4月>			<平成30年4月>			
兼任	講師	博士(工学)	兼任	講師	博士(工学)	兼任	講師	博士(工学)			
жц	ota tuh	プロダクトデザイン演習 I プロダクトデザイン演習 I	***	ula eta	プロダクトデザイン演習 I プロダクトデザイン演習 I	JAK II	바마마	プロダクトデザイン演習 I プロダクトデザイン演習 I			
											岩尾 雄四郎
											<令和2年4月>
									兼任	講師	博士(理学)
											工学倫理
		岩下 卓司			岩下 卓司			岩下 卓司			岩下 卓司
		<平成30年4月> 修士(工学)			<平成30年4月> 修士(工学)			<平成30年4月> 修士(工学)			<平成30年4月> 修士(工学)
兼任	講師	知的財産権	兼任	講師	知的財産権	兼任	講師	知的財産権	兼任	講師	知的財産権
		大島 洋一			大島 洋一	-			-		
兼任	講師	<平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	<平成30年4月> 理学博士						
		工学数学Ⅱ			工学数学Ⅱ						
		小島 義博			小島 義博			小島 義博			小島 義博
		<平成30年4月> 学士(工学)			<平成30年4月> 学士(工学)			<平成30年4月> 学士(工学)			<平成30年4月> 学士(工学)
兼任	講師	テエ (エテ/	兼任	講師	ナエ (エザ/	兼任	講師	ナエ (エテ)	兼任	講師	<i>チェ</i> (エチ)
		安全工学			安全工学			安全工学			安全工学
$\vdash$		相良 一広	-		相良 一広			相良 一広	-		相良 一広
		<平成31年4月>			<平成31年4月>			<平成31年4月>			<平成31年4月>
l		学士(工学)			学士(工学)	1		学士(工学)			学士(工学)
兼任	講師	工学英語 I 工学英語 I	兼任	講師	工学英語 I 工学英語 I 工学英語 I 工学英語 II	兼任	講師	工学英語 II 工学英語 IV	兼任	講師	工学英語皿
$\vdash \vdash$		瀬戸 英昭							$\vdash$		
		<平成30年4月>									
兼任	講師	修士									
		社会と企業									
$\vdash$		内藤 幸一郎			内藤 幸一郎			内藤 幸一郎			内藤 幸一郎
		<平成30年4月>			<平成30年4月>			<平成30年4月>			<平成30年4月>
# 1~	三世 ルマ	理学博士	***	=# A~	理学博士		5# AT	理学博士	tt: 1	5# AT	理学博士
兼任	講師	工学数学 I	兼任	講師	工学数学 I 教分積分I 執分積分II 線形代數 I 線形代數 I	兼任	講師	微分積分I 微分積分II 線形代數I 線形代數II	兼任	講師	線形代数I 線形代数II
Ш			L		WK 12 1 V 30, 1 1				L	<u> </u>	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	謙師	Gilbert Richard Hill 〈平成30年4月〉 博士	兼任	講師	Gilbert Richard Hill 〈平成30年4月〉 博士
								英語C-2 英語I-1			英語A-1 英語C-1 英語C-2
								<b>央語!-1</b>			豊田 龍彦
									兼任	講師	〈令和2年4月〉 修士(文学)
									- A-LL		英語B-1 英語C-2
					岡部 勉			岡部 勉			岡部 勉
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	許師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					心と世界 (A)			心と世界 (A)			心と世界(A)
					村上(純			村上・純			村上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					文系のための数学入門(C)			文系のための数学入門(C)			文系のための数学入門(C)
		法花津 晃			法花津 晃			法花津 晃			法花津 晃
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
		地域の世界史(c) 地域の世界史(d)			地域の世界史(c)			地域の世界史(c) 地域の世界史(d)			地域の世界史(c) 地域の世界史(d)
											金子 秀聡 〈令和2年4月〉
			1						兼任	講師	経済学学士
											現代政治の蓄相(B) 現代政治の蓄相(C)
					大江 正昭 〈平成30年4月〉			大江 正昭 〈平成30年4月〉			大江 正昭 〈平成30年4月〉
			兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
					暮らしの中の憲法	-		暮らしの中の憲法			暮らしの中の憲法 森口 千弘
											〈令和2年4月〉
			1						兼任	講師	博士(法学)
			-		高木 スワンナ			高木 スワンナ			高木 スワンナ
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	英語A-1	兼任	辦師	英語A-1	兼任	講師	英語A-1
					米岡 ジュリ			米岡 ジュリ			米岡 ジュリ 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	滌師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	(千成30年4月7
			] [		英語A-1	L		英語A-1			英語A−1
					モーテンソン ロパート			モーテンソン ロパート			モーテンソン ロパート
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					英語A-1			英語A-1			英語A-1
					ディピット ジェンキンソン			ディビット ジェンキンソ ン			ディビット ジェンキンソ ン
			兼任	講師		兼任	許師	〈平成30年4月〉 英語A-1	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					英語A-1 英語C-2			英語A-1 英語C-1 英語C-2			英語A-1 英語C-2
			1		トーネ トッド			トーネ トッド			トーネ トッド
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	許師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					英語A-1 英語C-2			英語A-1			英語A-1
			$H \vdash H$		ジョシュ ライアン ノーマ			ジョシュ ライアン ノー マン			ジョシュ ライアン ノー マン
					ン 〈平成30年4月〉			マン 〈平成30年4月〉			マン 〈平成30年4月〉
			兼任	調節	<b>英丽A-1</b>	兼任	評師	<b>英語A−1</b>	兼任	講師	<b>★ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※</b>
					Aug. 1			- Command			Samuel 1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名 カーピィン ウィリアム			担当授業科目名 カーピィン ウィリアム			担当授業科目名 カーピィン ウィリアム
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-1 英語C-1	兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-1	兼任	뽦師	〈平成30年4月〉 美語A-1
			兼任	講師	ウォール ミナミ フィオナ 〈平成30年4月〉	兼任	講師	ウォール ミナミ フィオナ (平成30年4月)	兼任	講師	ウォール ミナミ フィオナ ケ (平成30年4月)
					英語A-1 英語C-1 英語I-1 池田 裕子			<b>英語</b> 从-1 池田 裕子			英語A-1 池田 裕子
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1	兼任	講師	〈平成30年4月〉 美語A-2 英語B-1	兼任	計師	《平成30年4月》 英語A-2 英語B-1 英語C-1
					馬渡 美幸			馬渡 美幸 〈平成30年4月〉			馬渡 美幸 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	英語A-2 英語C-1 英語C-1 英語C-2 キャリア料目59	兼任	講師	英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2	兼任	講師	英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2
			兼任	講師	竹下 裕俊 〈平成30年4月〉	兼任	講師	竹下 裕俊 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語A-2	兼任	跳師	竹下 裕俊 〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語A-2
					英語C-1 英語C-2 松本 充右			松本 充右			<b>英語B-2</b> 松本 充右
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1	兼任	講師	〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語A-2 英語B-1	兼任	講師	〈平成30年4月〉 修士 (文学) 英語A-2 英語B-1
			兼任	講師	原口 量子 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1 英語O-2	兼任	講師	原口 昌子 〈平成30年4月〉 美丽A-2	兼任	跳師	原口 昌子 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語D-1
					英語C-2 高津 亜吏 〈平成30年4月〉			英語B-1 英語C-2 高津 亜吏 〈平成30年4月〉			英語B-1 高津 亜吏 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2	兼任	講師	英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2	兼任	講師	英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2
			兼任	講師	齊木 愛子 〈平成30年4月〉 英語A-2	兼任	講師	齊木 愛子 〈平成30年4月〉 英語A-2	兼任	講師	齊木 愛子 〈平成30年4月〉 英語A-2
					漢田 比呂美			英語8-1 英語0-2 適田 比呂美			英語B-T 英語C-T 渡田 比呂美
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語2 英語1 英語2 英語1 英語1 英語1	兼任	跳師	〈平成30年4月〉 美語A-2 美語B-1 美語C-2	兼任	講師	〈平成30年4月〉 美丽A-2 美丽B-1 美丽B-2 美丽B-2
			兼任	講師	島村 恭輔 〈平成30年4月〉	兼任	講師	島村 恭輔 〈平成30年4月〉 修士(文学)	兼任	講師	島村 恭輔 (平成30年4月) 修士(文学)
					英語A-2 山本 幹樹			英語A-2 山本 幹者			英語A-2 山本 幹樹
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1 英語C-2	兼任	講師	〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1	兼任	計師	〈平成30年4月〉 英語B-1
			兼任	講師	高木 信之	兼任	講師	高木 信之 〈平成30年4月〉	兼任	跳師	高木 信之 《平成30年4月》
					<b>英語A-2</b>			英語A-2 英語B-1			<b>英語</b> A−2 <b>英語</b> B−1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (京任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (京 (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年)
			兼任	講師	田口 誠一 〈平成30年4月〉 英語B-1	兼任	禁師	田口 就一 《平成30年4月》 修士 (文学)	兼任	禁師	田口 就一 〈平成30年4月〉 修士 (文学)
			兼任	講師	角田 俊治 〈平成30年4月〉 英語B-2	兼任	禁師	角田 俊治 〈平成30年4月〉 美藤B-2	兼任	禁師	角田 俊治 〈平成30年4月〉 美語A-2 美語B-2
									兼任	講師	<b>鈴木 道一</b> (令和2年4月) 文学修士 美丽A-2 美丽B-1
			兼任	跳師	ウォーターフィールド マー ク アルフレッド 〈平成30年4月〉	兼任	鉄師	ウォーターフィールド マーク アルフレッド 〈平成30年4月〉	兼任	跳師	ウォーターフィールド マーク アルフレッド (平成30年4月)
					英語C-2 吉田 李佳 〈平成30年4月〉			美語C-2 吉田 李佳 〈平成30年4月〉			美語C-2 吉田 李佳 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	ドイツ語0-1 ドイツ語0-2 ドイツ語0-1 ドイツ語0-1 ドイツ語0-1 ドイツ語0-2	兼任	禁師	ドイツ無A-1 ドイツ無A-2 ドイツ無B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2	兼任	牌師	ドイツ器A-1 ドイツ器A-2 ドイツ器G-1 ドイツ器G-2
			兼任	講師	目 正勝 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語G-2	兼任	計師	目 正勝 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語O-2	兼任	腓師	目 正勝 〈平成30年4月〉 ドイツ器A-1 ドイツ器A-2 ドイツ器C-1 ドイツ器C-2
									兼任	講師	岩佐 第1 (令和2年4月) 博士 (敷理学) ドイツ器A-1 ドイツ器A-2
			兼任	講師	セパン ミカエル 〈平成30年4月〉 フランス語B-1	兼任	講師	セパン ミカエル 〈平成30年4月〉 フランス語B-1 フランス語B-2	兼任	計師	セパン ミカエル 〈平成30年4月〉 フランス語B-1 フランス語B-2
			兼任	講師	フェレロ イヴ ピエール 〈平成30年4月〉 フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語6-1 フランス語6-1 フランス語6-2	兼任	講師	フェレロ イヴ ピエール 〈平成30年4月〉 フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語6-1 フランス語6-1 フランス語6-2	兼任	講師	フェレロ イヴ ピエール 〈平成30年4月〉 フランス語B-1 フランス語B-2 ラランス語I-1 フランス語I-2
			兼任	講師	郭 麗影 〈平成30年4月〉 中國語-1 中國語-2	兼任	計師	郭 麗影 〈平成30年4月〉 中国語-2 中国語-1 中国語-1	兼任	牌師	郭 麗影 〈平成30年4月〉 中国語0-1 中国語0-2
			兼任	講師	中国語一2  山田 里香 〈平成30年4月〉  中国語[-1 中国語]-2	兼任	講師	山田 里香 〈平成30年4月〉 中国語i-1 中国語i-2	兼任	講師	山田 里香 〈平成30年4月〉 中国語1-1 中国語1-2
			兼任	鉄師	伊禮 智香子 〈平成30年4月〉	兼任	鉄師	伊禮 智香子	兼任	講師	伊禮 智香子 〈平成30年4月〉
					中國語C-1 中國語C-2	age lab		中国語C-1 中国語C-2	Alle bit		中国語C-1 中国語C-2

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					黎明			黎明			黎明
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					中国語C-1 中国語C-2			中国語C-1 中国語C-2 中国語a-1 中国語a-2			中国語C-1 中国語C-2
		金 敬淑			金 敬淑			金 敬淑			金 敬淑
** **	-44.400	〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉	****	-44.4	〈平成30年4月〉	** **	-#-4	〈平成30年4月〉
兼任	講師	コリア語B-1	兼任	講師	コリア語B-1	兼任	講師	コリア語B-1	兼任	講師	コリア語B-1 コリア語B-2
		コリア語B-2			コリア語B-2			コリア語B-2			コリア語C-1 コリア語C-2
					金 垠周			金 垠周			金 垠周
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					コリア語A-1 コリア語A-2			コリア語A-1 コリア語A-2			コリア語A-1 コリア語A-2
					柳 景沃			柳 景沃			柳 景沃
				***	〈平成30年4月〉		***	〈平成30年4月〉		***	〈平成30年4月〉
			兼任	講師	コリア語A-1 コリア語A-2	兼任	辨師		兼任	辨師	
								コリア語I-1 コリア語I-2			コリア語I-1 コリア語I-2
		浦川 登久惠			浦川 登久恵			浦川 登久惠			浦川 登久恵
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼任	講師		兼任	講師	コリア語4-1	兼任	講師	コリア語4-1	兼任	講師	
末仕	語即	コリア語a-1 コリア語a-2	兼任	語即	コリア語A-2 コリア語R-1	兼住	語即	コリア語A-2 コリア語R-1	兼任	語即	コリア語B-1 コリア語B-2
		コリア語a-2			コリア語8-2 コリア語I-1 コリア語I-2			コリア語B-2 コリア語I-1 コリア語I-2			コリア語B-2 コリア語I-1
					コリア語1-2			コリア語1-2			
					キム アリン			キム アリン			キム アリン
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師		兼任	講師	コリア語A-1 コリア語A-2	兼任	講師	コリア語A-1 コリア語A-2
					コリア語C-1 コリア語C-2			- 77 mart 2			- 77 min 2
		崔 相振	1		崔相振			崔 相振			崔相振
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼任	=# AT		兼任	=# AT		兼任	講師	コリア語B-1 コリア語B-2	兼任	=# AT	コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語C-1
* 1	講師		***	講師		***	illa Rio	コリア語B-2 コリア語C-1 コリア語C-2	WIT.	講師	コリア語C-1 コリア語C-2
		コリア語II-1			コリア語I-1 コリア語I-2 コリア語II-1						
		コリア語11-2			コリア語II-2			+++ <b>*</b> *			
		中村直美			中村直美			中村 直美 〈平成30年4月〉			中村 直美 〈平成30年4月〉
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			修士(法学)			修士(法学)
兼任	講師	日本語B-1	兼任	講師	日本語B-1	兼任	講師	日本語B-1	兼任	講師	日本語B-1
		日本語B-2			日本語B-2 日本語IV-2			日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2			日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
			<u> </u>					- CHAIL S			
		古賀 美千留			古賀 美千留			古賀 美千留			古賀 美千留
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼任	講師	日本語!!-1	兼任	講師	日本語A-2	兼任	講師	日本語A-2	兼任	講師	日本語A-2 日本語B-1 日本語B-2
		日本語 I I - 2			日本語11-2			日本語111-2			日本語D-2 日本語III-2 日本語IV-2
			┧┝─		大庭 理恵子			大庭 理恵子			大庭 理恵子
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
					日本語C-2 日本語III-2			日本語G-2 日本語III-2 日本語IV-1			日本語III-1 日本語III-2 日本語IV-1
					日本語IV-2			e-call			日本語 IV-2
			1 📂					道本 ゆう子			道本 ゆう子
								〈平成31年4月〉			〈平成31年4月〉
			1			兼任	講師	D+#0-2	兼任	講師	D 士等 IV-1
								日本語C-2 日本語IV-2			日本語IV-1 日本語IV-2
			1 📂		堀江 智子			堀江 智子			堀江 智子
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	中国語[-1	兼任	講師	中国語 [-1	兼任	講師	中国語I-1
			] [		中国語 I-2			中国語 I-2			中国語 I-2

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(R 40 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 節) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(K 名 (F 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 龄) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		太田 丈太郎			太田 丈太郎			太田 丈太郎			太田 丈太郎
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉 修士(文学)	兼任	講師	〈平成30年4月〉 修士(文学)
		ロシア語II-1 ロシア語II-2			ロシア語I-1 ロシア語I-2			ロシア語I-1 ロシア語I-2			ロシア語I-1 ロシア語I-2
					デ レオン 〈平成30年4月〉			デ レオン 〈平成30年4月〉			デ レオン 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	スペイン語[-1	兼任	講師	スペイン語I-1	兼任	講師	スペイン語「一
					スペイン語I-2 スペイン語II-1 スペイン語II-2			スペイン語I-2 スペイン語II-1 スペイン語II-2			スペイン語I-2 スペイン語II-1 スペイン語II-2
					田上 恭子			田上恭子			田上恭子
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
			<b>↓</b>		イタリア語I-1 イタリア語I-2			イタリア語I-1 イタリア語I-2			イタリア語I-1 イタリア語I-2
					国越 道貴 〈平成30年4月〉			国越 道貴 〈平成30年4月〉			国越 道貴 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	テン語I-1 ラテン語I-2	兼任	講師	ラテン語I-1 ラテン語I-2	兼任	講師	ラテン語I-1 ラテン語I-2
			_		ラテン語I-2						
								小坂 玲子 〈平成31年4月〉			小坂 玲子 〈平成31年4月〉
			1			兼任	講師		兼任	講師	(196014-777)
								日本語I-2 日本語III-1 日本語III-2			日本語II-1 日本語II-2
		片山 きよみ	1		片山 きよみ			片山 きよみ			片山 きよみ
		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		日本語 I-1 日本語 I-2			日本語III-1 日本語III-2			日本語III-1 日本語III-2			日本語II-1 日本語II-2 日本語III-1
					日本語IV-2			日本語IV-2			日本語III-2
					赤木 昌子			赤木 昌子			赤木 昌子
					〈平成30年4月〉		AD 400	〈平成30年4月〉		-	〈平成30年4月〉
			兼任	講師	日本毎111-1	兼任	講師	日本語II-2 日本語III-1 日本語III-2	兼任	講師	日本語 I I-1 日本語 I I-2 日本語 I I I-1
					日本語III-1 日本語III-2			日本語III-2			日本語III-1 日本語III-2
		與縄 友子			與縄 友子			與縄 友子			與縄 友子
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
		日本語 IV-1			日本語I-2			日本語I-2			日本語1-2
			-		津留 紀子			津留 紀子			津留 紀子
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	日本語III-2	兼任	講師	日本語III-1 日本語III-2	兼任	講師	日本語IV-1
					日本語 IV-1 日本語 IV-2			日本語IV-1 日本語IV-2			日本語IV-2
		福田 真			福田真			福田真			福田真
		〈平成30年4月〉	4		〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
兼任	講師		兼任	講師	情報基礎A 情報基礎B	兼任	講師		兼任	講師	
		物理学[ 物理学][			<b>情報基礎B</b> 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ			物理学I 物理学II			物理学I 物理学II
								岡智典			岡智典
						兼任	鉄師	〈平成31年4月〉	兼任	講師	〈平成31年4月〉
			] [			水吐	評師	情報基礎A 情報基礎B 物理学I	派吐	144 MP	情報基礎A 情報基礎B
			1 📙		高峰武			高峰武			高峰武
			兼任	跳師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					肥後熊本学			肥後熊本学			肥後熊本学
			+								木村 理郎
										98./	〈令和2年4月〉 文学士
			]						兼任	謝師	肥後熊本学
											<u>~ p, ∰ T T</u>

専任・			専任・		<del>                                     </del>	専任・			専任・		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					春木 秀紀			春木 秀紀			春木 秀紀
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	数学概論 教分積分I 教分積分II 輸形代数I 輸形代数II	兼任	講師	数学概論	兼任	講師	数学療験 養分養分I 養分養分II
					坂西 文俊 〈平成30年4月〉			坂西 文俊 〈平成30年4月〉			坂西 文俊 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	数学概論 機形代数I 線形代数II 統計学I 統計学II	兼任	跳師	数学概論 維形代数I 維形代数II 統計学I 統計学II	兼任	講師	数学概論 維形代数II 維形代数II 統計学II 統計学II
					高田 佳和			高田 佳和			高田 佳和
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	鉄師	(平成30年4月) 博士 (工学)	兼任	跳師	〈平成30年4月〉 博士(工学)
			28.12		統計学振論	AR LE	MA PA	統計学振論	******		統計学振論
					宮本 秀一			宮本 秀一			宮本 秀一
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉
					化学I			化学I			化学I
					黒岩 数太			黒岩 敬太			黒岩 数太
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師		兼任	講師	博士(工学)	兼任	講師	博士(工学)
					化学II			化学Ⅱ			化学II
					水月 晃			水月 晃			水月 晃
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	兼任	講師	***************************************	兼任	講師	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
					体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学(a)
					井崎 美代			井崎 美代			井崎 美代
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	辨師	〈平成30年4月〉
			-		体育・スポーツ科学	****		体育・スポーツ科学	-		体育・スポーツ科学(a)
					横田 浩			横田 浩			横田 浩
					〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉			〈平成30年4月〉
			兼任	講師	体育・スポーツ科学	兼任	講師	体育・スポーツ科学	兼任	講師	体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
			-								
					柿原 一貴 〈平成30年4月〉			柿原 一貴 〈平成30年4月〉			柿原 一貴 〈平成30年4月〉
			兼任	講師	体育・スポーツ科学	兼任	講師	体育・スポーツ科学	兼任	講師	(十成304477) 体育・スポーツ科学(a)
					中嶋 弘二			中嶋・弘二			中嶋 弘二
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	腓師	〈平成30年4月〉
					体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学			体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
								村坂 亮			村坂 亮
						兼任	鉄師	〈平成31年4月〉	兼任	講師	〈平成31年4月〉
								キャリア科目12			学職科目34
			-					公口 結步			公口 銀井
								谷口 網枝 〈平成31年4月〉			谷口 鍋枝 〈平成31年4月〉
						兼任	講師	開放科目17	兼任	講師	開放科目17
			<u> </u>			<u> </u>		MINATE M. I.			
		ローゼン アラン デイヴィッド			ローゼン アラン デイヴィッ ド						ローゼン アラン デイ ヴィッド
		〈平成30年4月〉			' 〈平成30年4月〉						〈平成30年4月〉 文学博士
兼任	講師		兼任	講師					兼任	講師	文学博士
		地域づくりと科学技術(F)			<mark>英語I-2</mark> 地域づくりと科学技術(F)						<b>英語</b> A−1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		野口 和紀			野口 和紀						野口 和紀
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉				兼任	講師	〈平成30年4月〉
7111111		キャリア科目1			キャリア科目1				7.1.4		学際科目31
											高口 義幸
									兼任	講師	〈平成30年4月〉
											キャリア科目56 キャリア科目57
								高宮 正之			
						兼任	講師	〈平成30年4月〉 博士(理学)			
								生物の世界(A)			
						1		CHEN I CHUN			
						]		〈平成30年4月〉			
						兼任	講師	Statistics (a) Basic Economics (a)			
		井芹 道一	$\mid \mid \mid \mid \mid$		井芹 道一	┧┝═┪		井芹 道一			
		〈平成30年4月〉	]		〈平成30年4月〉	]		〈平成30年4月〉			
兼任	講師	現代政治の諸相(b)	兼任	講師	現代政治の諸相(b)	兼任	講師	現代政治の諸相(b)			
		現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d)			現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d)			現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d)			
		現代政治の諸相(e)			現代政治の諸相(e)			現代政治の諸相(e)			
					石倉 恵介			石倉 惠介			
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉			
					健康の科学(a) 健康の科学(b)			健康の科学(a) 健康の科学(b)			
					横本 春男			横本 春男			
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉			
					<b>英語B−1</b>			<b>英語B−1</b>			
					金 貞淑 〈平成30年4月〉			金 貞淑 〈平成30年4月〉			
			兼任	講師		兼任	講師	(+R3044)/			
					コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語C-1			コリア縣C-1			
					コリア語C-1 コリア語C-2			コリア語C-1 コリア語C-2			
					田中 正紀			田中 正紀 〈平成30年4月〉			
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	修士(理学)			
					線形代数I 線形代数II			線形代數I 線形代數II			
					光永 正治						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	-					
					物理学基盤実験						
					清水 俊						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉	-					
			<u> </u>		倫理学入門(C)						
		伊藤 春美	$ \  $		伊藤 春美						
兼任	講師	〈平成30年4月〉 倫理学入門(c)	兼任	講師	〈平成30年4月〉 倫理学入門(c)	$ \cdot $					
		倫理学入門(d)	$  \mid \perp \mid$		倫理学入門(d)	$  \mid \perp \mid$			_		
		槌田 禎子 (平成30年4月)	$  \  $		槌田 禎子 〈平成30年4月〉						
兼任	講師	地球環境科学の最前線 (g)	兼任	講師	地球環境科学の最前線 (g)						
			$  \mid \perp \mid$			$  \mid \perp \mid$					
		須藤 靖明 (平成30年4月)	$ \  $		須藤 靖明 〈平成30年4月〉						
兼任	講師		兼任	講師		1					
		地球環境科学の最前線(g)			地球環境科学の最前線(g)						
		地球環境科学の最前線(g)			地球環境科学の最前線 (g)						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名		•	担当授業科目名			担当授業科目名
					中村 清隆						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					地球環境科学の最前線(h)						
			兼任	講師	池辺 伸一郎 〈平成30年4月〉						
			***		地球環境科学の最前線 (h)						
					富家 和男						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉		-				
					地域づくりと科学技術(B)						
					福田 光治						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					地域づくりと科学技術(B)						
					柏谷 公希 〈平成30年4月〉						
			兼任	講師	(+R3044)						
					地域づくりと科学技術(B)						
					沢畑・亨						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉		•				
					地域づくりと科学技術(B)						
					小川 和久						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉		-				
					地域づくりと科学技術(B)						
		柏木 潤			柏木 濶						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		地域づくりと科学技術(F)			地域づくりと科学技術(F)						
		西川 盛雄			西川 盛雄						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		地域づくりと科学技術(F)			地域づくりと科学技術(F)						
		小野 友道			小野 友道						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉		•				
		地域づくりと科学技術(F)			地域づくりと科学技術(F)						
		岩岡 中正			岩岡 中正						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		地域づくりと科学技術(F)			地域づくりと科学技術(F)						
		片渕 美和子			片渕 美和子						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		現代社会と医学(B)			現代社会と医学(B) キャリア科目9						
		本庄 弘次			本庄 弘次						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		現代社会と医学(B)			現代社会と医学(B)						
		清田 武俊			清田 武俊						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		現代社会と医学(B)			現代社会と医学(B)						
									<u> </u>		

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		森永 博史	1		森永 博史						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
NK III.	urs ev	現代社会と医学(B)	N. I.	urya-p	現代社会と医学(B)						
					有松 操						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					心身の健康と看護(E)						
		渡邊 功			渡邊 功						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		心理学の探求(B)			心理学の探求(B)						
		竹下 元子			竹下 元子						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
AK ILL	Die Dah	現代世界の形成と課題(a)	本は	D1-2 EVII	キャリア科目9						
					大村 春孝						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					現代世界の形成と課題(b)						
					国宗 直子						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					現代世界の形成と課題(b)						
					中 修一						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					現代世界の形成と課題(b)						
					本田 清悟						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					現代世界の形成と課題(b)						
		Richard Lavin			Richard Lavin						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
		学際科目1			学際科目1						
					中尾 教子						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					英語D-1 英語D-2						
			1		大西 基子						
			11		〈平成30年4月〉						
			兼任	講師	フランス語4-1						
					フランス語A-2 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2						
			<u> </u>		フランス語a-2						
					ホジソン ハロルド						
			兼任	講師	〈平成30年4月〉						
					英語 I−1						
		岩谷 美代子	1 🖯		岩谷 美代子						
兼任	講師	〈平成30年4月〉	兼任	講師	〈平成30年4月〉						
#K1±	西野川	日本語III-1 日本語III-2	末任	語即	日本語IV-2						
			┨		竹村 朋子	$\vdash$					
					(平成30年4月)						
			兼任	講師	日本語III-2						
					日本館11172						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	1		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	<b>後藤 理英子</b> 〈平成30年4月〉 キャリア科目3						
			兼任	講師	村田 優子						
					キャリア科目3						
			兼任	講師	藤井 宥貴子 〈平成30年4月〉						
					キャリア科目3 億村 美佳 〈平成30年4月〉						
			兼任	講師	キャリア科目3	1	•				
			兼任	<b>講</b> 師	〈平成30年4月〉 キャリア科目3						
			兼任	講師	田中 俊昭 〈平成30年4月〉						
			兼任	鉄師	キャリア科目5 猪俣 雄也 〈平成30年4月〉						
					キャリア科目5						
			兼任	講師	上田 由理子						
					キャリア科目6 キャリア科目7						
			兼任	講師	定政 節夫 〈平成30年4月〉 キャリア料目6 キャリア科目7	-	-				
			兼任	跳師	キャリア科目7 岩政 仁 〈平成30年4月〉						
			末世	975 EPP	キャリア科目9		•				
			兼任	講師	林田 直子 〈平成30年4月〉		-				
					キャリア科目9						
			兼任	講師	水田 光子 (平成30年4月)	1	-				
					キャリア科目9	-					
			兼任	講師	〈平成30年4月〉 キャリア科目9	1					
			兼任	講師	松村 直 〈平成30年4月〉						
					キャリア科目9						

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	竹永 理恵子 〈平成30年4月〉 キャリア科目9						
			兼任		赤木 夏代 〈平成30年4月〉 キャリア科目9						
			兼任	講師	松尾 洋 〈平成30年4月〉 キャリア料目54						
			兼任	講師	原田 真宏 〈平成30年4月〉 キャリア料目54						
			兼任	講師	伊佐坂 功親 〈平成30年4月〉 キャリア料目54						
			兼任	講師	堀内 一輝 〈平成30年4月〉 キャリア科目54						
			兼任	講師	大隈 恵治 〈平成30年4月〉 キャリア料目54						
			禁任		堤 純子 〈平成30年4月〉 キャリア科目54						
兼任	講師	津野田 尚子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)									
兼任	講師	林 誓雄 〈平成30年4月〉 心と世界(B) 思考と論理(B)									
兼任	講師	山口 裕嗣 〈平成30年4月〉 健康の科学(a) 健康の科学(b)									
兼任	講師	那須 久史 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)									
兼任	講師	戸渡 洋子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)									
兼任	講師	益永 佳予子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	11 1		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		猿渡 進平									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	4								
		心身の健康と看護(C)									
		福山 由起									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	4								
		心身の健康と看護(C)									
		田島 武安									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	4								
		芸術への招待(C)									
		小林 孝夫									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	4								
		芸術への招待(C)									
		坂本 尚文									
兼任	講師	〈平成30年4月〉									
		芸術への招待(C)									
		古家 良一									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	<u> </u>								
		芸術への招待(C)									
		坂本 顕子									
兼任	講師	〈平成30年4月〉									
		芸術への招待(C)									
		木崎 康弘									
兼任	講師	〈平成30年4月〉									
		芸術への招待(C)									
		清川 真潮	╁┢═								
兼任	講師	〈平成30年4月〉									
XK III		芸術への招待(C)									
		高橋 ルミ	<del>   </del>						-		
		〈平成30年4月〉									
兼任	講師	芸術への招待(C)									
									-		
		太田 明 〈平成30年4月〉									
兼任	講師	現代世界の形成と課題(a)	11								
			<b>!</b>						-		
		金 聖孝 〈平成30年4月〉									
兼任	講師	現代世界の形成と課題(a)	1								
$\vdash$			$\downarrow \mid \perp \mid$						-		
		加藤 タケ子 〈平成30年4月〉									
兼任	講師		1								
		現代世界の形成と課題(a)	<u> </u>						L		
		出田 妙子									
兼任	講師	〈平成30年4月〉	<b>↓</b>								
		現代世界の形成と課題(a)									
		田代 クリスティーナ	┧┝═								
兼任	講師	〈平成30年4月〉	<u> </u>								
		スペイン語II-1 スペイン語II-2									
									<u> </u>		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
兼任		前田 定廣 〈平成30年4月〉 微分積分概論 総形代数概論									
						兼任	講師	高田 佳和 《平成31年4月》 博士 (工学)  工学教学 I 工学教学 I	兼任	講師	高田 佳和 《平成31年4月》 博士 (工学)  工学教学 I 工学教学 I
									兼任	講師	安浪 触枯 《令和2年4月》 文学博士  工学英語 I 工学英語 I
兼任	講師	山野 克明 〈平成32年4月〉 博士 (学術) 工学倫理	兼任	講師	山野 克明 <平成32年4月> 博士 (学術) エ学倫理	兼任	講師	山野 克明 〈令和2年4月〉 博士 (学術) 工学倫理			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書文は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年齢**を記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

### 【平成30年度】

```
【平成30年度】

・教育上の効果を高めるため、平成30年4月齋藤靖教授就任。
・教育上の効果を高めるため、平成30年4月井上尚未推教授就任。
・教育上の効果を高めるため、平成30年4月村上尚未推教授就任。
・教育上の効果を高めるため、平成30年4月村里毎昭准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、平成30年4月川越明日香准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、濱名裕治教授の担当科目を適加。
・カリキュラム編成の調整により、横井裕之准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、市川聡夫教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、福島和洋教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岸木敬太准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、高橋慶太郎准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、高橋慶太郎准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、市場陽一助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中島陽一助教の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、松田真生教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、松田真生教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、藤本斉教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、井手上賢助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、出馬達哉助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、逸見泰久教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北野健准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、機・部博・教授の担当科目を変更及び追加。
・教育上の効果を高めるため、機・部博・教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、佐久川貴志教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大本裕百准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大本格百准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大本格百進教授の担当科目を変更。
    教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐藤岳詩准教授就任。
 ・カリキュラム編成の調整により、干川隆教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、菊池哲平准教授の担当科目を変更
・カリキュラム編成の調整により、伊藤正彦教授の担当科目を変更
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三瓶弘喜准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安高啓明准教授就任。
 ・カリキュラム編成の調整により、苑田亜矢教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、林一郎教授の担当科目を変更。
 ・カリキュフム編成の調査により、林一即教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松原弘信教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中内哲教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、外川健一教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、魚住弘久教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成のままり、魚住弘久教授の担当科目を変更。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鈴木柱樹教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、牧野厚史教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月矢原隆行教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、山下裕作教授の担当科目を変更。
 ・カリキュラム編成の調整により、鈴木寛之准教授の担当科目を変更
・カリキュラム編成の調整により、山本努教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中川輝彦教授の担当科目を変更。
 ・カリキュラム編成の調整により、中川輝彦教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、鹿嶋洋教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、鹿嶋洋教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、米島万有子准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、山本耕二推教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、 宮崎誓教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、 伊藤仁一教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、 伊藤仁一教授の担当科目を変更。
    カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更
カリキュラム編成の調整により、西野宏教授の担当科目を変更
 ・カリキュラム編成の調整により、人江亮教授の担当科目を変更
・カリキュラム編成の調整により、戸田敬教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大平慎一准教授の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、大平慎一准教授の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、江角重行講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、西竹方孝助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、西竹本誠助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大京会議院の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大京会議院の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、古木専輔推教授の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、荒鳥越大連発便の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、「鳥越大車大」を変変更更。
・カリキュラム編成の調整により、「水田直樹助教の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、杉田直樹助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、鳥歯達地助教の担当科目を変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、島崎達也助教の担当科目を変更。
```

```
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松田元秀教授就任
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岡島寛准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月総方公一准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松み信智教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松み信智教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月上田裕市教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月末台上田裕市教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月末田全広教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月末田全広教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月複井保志教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月複井保志教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月複井保志教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月複井保証教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月地上知願教授就任。
    教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月池上知顯教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村有水教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤吉孝則教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、齋藤和也准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、後藤知己教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、性藤伸子講師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、松月百合准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、松田芳子教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、他里亡史教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、人谷に土准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、長谷真准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、人谷仁土准教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、遺藤元誉助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、遺藤元誉助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、調流研准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、調流研准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、山縣和也教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、尾池雄一教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、門松毅助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、門松毅助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岩本和也教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岩本和也教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月若山友彦教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西谷陽子教授就任。
・カリキュラム編成の調整により担として平成30年4月を変更後教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松井を隆教授就任。
・昇任により、平成30年4月から開教員を病院教員に変更
職名の移行により。谷口練一非常勤教員を病院教員に変更
職名の移行により。公日本月から開教員を病院教員に変更
職名の移行により。今日本日本籍目を変更、
・カリキュラム編成の調整により、中尾富士子准教授の担当科目を変更。
     カリキュラム編成の調整により、中尾富士子准教授の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、宮崎志保助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、坂梨京子准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、安武綾准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月添田まなみ講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月福山美季助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月福山美季助教就任。
 ・教育上の効果を高めるため、内山良一堆教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、内山良一堆教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、白石順二教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、村上龍次教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、村上龍次教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、辻田直子助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、富口静二教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、荒木不次男教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大野剛助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、除原康博講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、船間芳憲教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月秋森久光教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月柳沼裕二教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、門脇大介准教授の担当相を変更。
・教育との効果を高めるため、兼担として平成30年4月春日間を変更。
  教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月香月博志教授就任。教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月寺沢宏明教授就任。
     教育上の効果を高めるため、首藤剛准教授の担当科目を追加。
教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大槻純男教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大槻純男教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島誠教授就任。
      教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月塚本佐知子教授就任。
```

```
・カリキュラム編成の調整により、山縣ゆり子教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、松永浩文准教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、杉本幸彦教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、大塚雅巳教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、森岡弘志教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、城野博史准教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、城野博史准教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、波漫博志准教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、波漫博志准教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、波波博士教授の担当科目を変更。・カリキュラム編成の調整により、波波神経の担当科目を変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、入江徳美教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、平田純生教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、有馬英俊教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、古田弘子教授の担当科目を変更。
   ・カリキュラム編成の調整により、宮瀬美津子教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、山口佳宏准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、雙田珠己教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、増田仁准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中迫由実准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、武田珠美教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、横田泉准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、横田泉准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、練方信行教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、練方信行教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、神野雄工教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、神野雄工教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中原雅彦准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中原雅彦准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、川崎浩隆准教授の担当科目を追加。
 ・カリキュラム編成の調整により、竹島一希准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、鈴木啓孝准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月新井英永教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月德永達哉准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月德永達哉准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、森大輔准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岩田英・教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岩田英・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大澤博明教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大澤博明教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月内部終責准教授就任。
・教育上の対果を高の調整により、王野替生な事業
     カリキュラム編成の調整により、天野慧特定事業教員の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、天野慧特定事業教員の担当科目を変更。
  ・カリキュラム編成の調整により、楊萍教授の担当科目を変更
・カリキュラム編成の調整により、東徹教授の担当科目を変更
・カリキュラム編成の調整により、東徹教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、OSHIMA KAREN准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、SHIMA KAREN准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月ISEMONGER IAN MAXWELL准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月GIlbert Richard Hill教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月EDERSON STANLEY CLARENCE推教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Laskowski Terryシニア教員就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Laskowski Terryシニア教員就任。
・カリキュラム編成の調整により、JOHNSON KRISTOPHER DENNIS特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、JOHNSON KRISTOPHER DENNIS特定事業教員の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山下徹教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月折田充教授就任。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井原健准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月隈元貞広教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西川里織准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大野龍浩教授就任。
  ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長嶺寿宣准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月平野順也准教授就任。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月半野順也准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月於岡浩史准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松岡浩史准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月島田美子准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月合田美子准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、荻野蔵平教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、荻野蔵平教授の担当科目を追加。
      教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月舘石宏明准教授就任。
 ・カリキュラム編成の調整により、山田積准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井上暁子准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、Herzog Eberhard准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島隆講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月BAUER Tobias Andreas准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、畑亜弥子准教授の担当科目を追加。
 ・教育上の効果を高めるため、加生が下准教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、市川雅己准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大西克智准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月竹内裕教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、濱田明教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるためMichel SAGAZ准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、劉静華教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月屋敷信情准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月黨武彦教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月譲遠直士権教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月渡遠直土准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月施田均教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中尾健一郎准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中尾健一郎准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、マスデン眞理子講師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、松瀬成子講師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、表書を戦争の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、喜多敬情教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、表別を発の担当科目を追加。
      教育上の効果を高めるため、久保田真一郎准教授の担当科目を追加。
教育上の効果を高めるため、戸田真志教授の担当科目を追加。
```

```
・教育上の効果を高めるため、松葉龍一准教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、杉谷賢一教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、中野裕司教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、武藏泰雄教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、武藏泰雄教授の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、武立を持つ。
・カリキュラム編成の調整により、田子和学の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、間子行雄教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、松本智晴推教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、松本智晴推教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、水野裕史講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、水野裕史講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、水野裕史講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月前田洋助推教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月阿部健准教授就任。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月金大弘教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北別府悠准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月谷本祥准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三沢正史教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三沢正史教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三沢正文教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月1日経典であるため、兼担として平成30年4月日経典でありませた。
  ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月杉崎文亮准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月千吉良直紀准教授就任。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月十古民国紀准教授続任
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月本村弘信教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安藤直也准教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月城本啓介教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を変更。
 ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月下條冬樹教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、赤井一郎教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月小出眞路教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月原正大准教授就任。
・定年退職により、平成30年4月から光永正治教授を講師に変更。
  ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月荒江祥永助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月荒江祥永助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月船津麻美助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中明助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中明助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高野博嘉教授就任。
     | 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高封停掘税で続任。
| 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月居上哲治准教授就任。
| 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月伊藤雅浩講師就任。
| 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井福裕俊教授就任。
| 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月坂本将基准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、大石康晴教授の担当科目を変更
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月QUITAIN ARMANDO TIBIGIN教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、CHAN CHEONG JAN特定事業教員の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月任東京等教員就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月任東京等教員就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐々木葉月特定事業教員就任。
・教育上の効果を高めるため、新MISLANDER BRYANT講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、KOIKE URSULA HELEMA教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、THINH特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、都付茂樹教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、河村学子推教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、東野田尚子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、津野田尚子講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月清水俊講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月清水俊講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月清水俊講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月間部勉講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、法で津晃講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中村清隆講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池辺伸一郎講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月福田光治講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月福田光治講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月祝知亨講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
・教育上の効果を高めるため、東任として平成30年4月八川和久講師就任。
・カリキュラの効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵力講師就任。
```

```
・カリキュラム編成の調整により、益永佳予子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、猿渡進平講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、福山由起講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月有松操講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、田島武安講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、小林孝夫講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大本尚文講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、古家良子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、坂本顕子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「大崎康弘講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「大崎康弘講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「大崎康弘講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「高橋ルミ講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、太田明講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、太田明講師の担当科目を変更。
 ・カリキュラム編成の調整により、竹下元子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、加藤タケ子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、出田妙子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、出田妙子講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大村春孝講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月国宗直子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中修一講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月本田清悟講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月本江正昭講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月末元マンナ講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月末ピシュリオで記述に。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月米ピシュリオで記述に。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ポーテンリンロパート講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ディビットジェンキンソン講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月クレッグ アームストロング講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ジョシュ ライアン ノーマン講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月カービィン ウィリアム講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォール ミナミ フィオナ講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池田裕子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池田裕子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月馬渡美幸講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹下裕俊講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松本充右講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原口昌子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高津亜支講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高津亜支講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月濱田比呂美講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月濱田比呂美講師就任。
  ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山本幹樹講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高木信之講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月橋本春男講師就任。
 ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田口誠一講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月角田俊治講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月知田俊治講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォーターフィールドマークアルフレッド講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中尾教子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月吉田李佳講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月吉正勝常勤講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大正勝常勤講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大正がまる。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月セバンミカエル講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月カエレロイヴピエール講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山田里香講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊禮智香子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黎明講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月郷景活講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柳景沃講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、浦川登久恵講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月4ムアリン講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
・教育上の効果を高めるため、東信医師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、中村直美講師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、原嶋原語師の担当科目を追加。
・教育上のカラム編成の調整により、古賀美千智講師の担当科目を変更。
     カリキュラム編成の調整により、古賀美千留講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大庭理恵子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホジソン ハロルド講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堀江智子講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、太田丈太郎講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月町レオン講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月町レオン講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田上恭子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として干成30年4月国陸垣員講師が就た。
・カリキュラム編成の調整により、片山きよみ講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月赤木昌子講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、與縄友子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岩谷美代子講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹村朋子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月津留紀子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、福田真講師の担当科目を追加。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月春木秀紀講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田中正紀講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田中正紀講師就任。
・教育上の効果を高めるため、末任として平成30年4月政治文を講師が、
・カリキュラム編成の調整により、前田定議師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月内藤幸一郎講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宮本秀一講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宮本秀一講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黒岩敬太講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月水月晃講師就任。
```

```
| 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月排納条代講師就任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月相限一責講師就任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月相限一責講師就任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月相限一責講師就任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月相限日間では、
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月相保日間では、
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前半れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前半れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前半れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前半れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前半れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前上れ青年が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前外は一定。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月前外は一定。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月市時が発任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月市時が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月市時が経行。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中日、対理が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中日、対理が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中日、対理が表して。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中日、大理大学師が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月が未理生活が成任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月が未理を活動が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月が未理を活動が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月が未要活が開始に、
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月が未要活が開始に、
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経任。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が発行。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経行。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経行。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経行。
教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中は大理は前が経行。
教育上の対理は対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが表に対しているが
```

#### 【令和元年度】

```
・カリキュラム編成の調整により、
が田充教授の担当科目目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
大野龍浩教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
大田明教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
流田明教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
西科美教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
、西科美教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
、岡田行政を授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、
、岡田行政を授の担当科目を変更を要した。
・カリキュラム編成の調整により、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田子では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田田では、
、田では、
、田田では、
、田では、
、田では、
、田田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田では、
、田
  ・教育上の効果を高めるため、山口性盃准教授の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、川越明日香准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、伊賀崎伴彦准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月立花幸司准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、佐藤岳詩准教授の担当科目を変更。
         カリキュラム編成の調整により、佐藤田 日本教授の担当科目を変更。
教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月山田高誌准教授就任。
カリキュラム編成の調整により、坂元昌樹准教授の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、鈴木寛之准教授の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、米島万有子准教授の担当科目を変更。
     ・カリキュラム編成の調整により、山本耕三准教授の担当科目を変更
     ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
    ・カリキュラム編成の調整により、村田貴広准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、小松俊文准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、IPJN推に准改投の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、渡邉直土准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、渡邉直土准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、で部美和准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、阿部健准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、干吉良直紀准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担とはて平成31年4月籾原幸二准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、安藤直也准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月和原幸二准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、安藤直也准教授の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月松永詩乃美准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、マスデン眞理子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、XA類成子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、可児智美助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、可児智美助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「可児智美助教の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、「西島は財政の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、正動な物を対し、アンリーを変更。
・カリキュラム編成の調整により、正動な特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大島洋一講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大島洋一講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、内藤幸平成の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、内藤幸平成31年4月高宮正之講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、アームストロングレイモンドグレッグ語。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月高宮正之講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、ディビット・ジェンキンソン講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月高宮正と講師が任。
・カリキュラム編成の調整により、トーネトッド講師の担当科目を変更を変更。
・カリキュラム編成の調整により、トー・トッド講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、カービ・フィオナ書の語の担当科目を変更。
```

```
・カリキュラム編成の調整により、馬渡美幸講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、齊木愛子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、強和出と自奏講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、流田比呂美講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、高本信之講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、高本信之講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、高田幸佳講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、吉田幸佳講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、李力工ル講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、郭麗影講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、柳景沃講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、神景沃講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、本自海講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大陸理恵が担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大陸理恵が担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大陸理恵・講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、古賀美干閣請師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、大陸理恵・講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、未常日子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非理紀子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非理紀子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非智紀子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非智紀子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非智紀子講師が担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、非智紀子講師が記任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月尚智典講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月同智典講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月付公和検講師就任。
```

#### 【令和2年度】

```
・カリキュラム編成の調整により、大谷 順教授の担当生・カリキュラム編成の調整により、清上 保徳教授の担担・カリキュラム編成の調整により、満上 幸造准教授の担担・カリキュラム編成の調整により、武田 浩教授の担当・カリキュラム編成の調整により、村里 浩教授の担当・カリキュラム編成の調整により、村里 能教授の担当・カリキュラム編成の調整により、市川 聡美生教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 施尾 進教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 瀧尾 進教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 中西 義教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 一冊 英幸教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 一冊 英幸教授の担当・カリキュラム編成の調整により、 一番
                                                                                順教授の担当科目を変更。
保徳教授の担当科目を変更。
章志教授の担当科目を変更。
                                                                                 幸造准教授の担当科目を変更
                                                                                浩二准教授の担当科目を変更。
靖教授の担当科目を変更。
                                                                                 泰昭教授の担当科目を変更
                                                                               聡夫教授の担当科目を変更
                                                                                真生教授の担当科目を変更。
                                                                                進教授の担当科目を削除。
                                                                                義孝教授の担当科目を変更。
朋弘教授の担当科目を変更。
    英幸教授の担当科目を変更。隆教授の担当科目を削除。
                                                                               弘己教授の担当科目を削除
博昭教授の担当科目を削除
  ・カリキュラム編成の調整により、紺屋 博昭教授の担当科目を削除。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月由田 秀教授就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月倉田 賀世教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、 牧野 厚史教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、 や 裕作教授の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、 中 海彦教授の担当科目を彰宗。
・カリキュラム編成の調整により、 中 輝彦教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 中 輝彦教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 市 海彦教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 本 光宏教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 本 世 東京教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 本 世 青教授の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、 本 世 青教授の担当科目を削除。
・ かりトラム編成の 調整により、 本 世 青教授の担当科目を削除。
・ 教育上の効果を高めるため、 兼担として令和2年4月宮線 音夫教授就任。
    カリキュラム編成の調整により、松市 | 時具教授の担当科目を削除。
教育上の効果を高めるため、兼担として今和2年4月宮縁 育夫教授就任。
カリキュラム編成の調整により、松永 信智教授の担当科目を彰除。
カリキュラム編成の調整により、池上 知顯教授の担当科目を彰除。
カリキュラム編成の調整により、尾池 雄一教授の担当科目を削除。
カリキュラム編成の調整により、尾池 雄一教授の担当科目を削除。
カリキュラム編成の調整により、尾池 は一教授の担当科目を削除。
かりキュラム編成の調整により、下宿 功市郎教授の担当科目を削除。
かりキュラム場及の調整により、下宿 功市郎教授の担当科目を削除。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月松浦 雄い教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月後藤 知己教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月後藤 知己教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月松田 芳子教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月宮瀬 美津子教授就代。
                                                                                                                     芳子教授就任。
美津子教授就任。
     教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月中山
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月大澤
                                                                                                                      玄三教授就任。 博明教授就任。
   教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月渡邊 高志教授就任
```

```
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月山田
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月外川
健一教授就任。
教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月稲葉
継陽教授就任。
        カリキュラム編成の調整により、杉井
カリキュラム編成の調整により、中川
                                                                                                                                                                                                 健准教授の担当科目を変更。
順子准教授の担当科目を削除。
    ・カリキュラム編成の調整により、中川村
・カリキュラム編成の調整により、今安
・カリキュラム編成の調整により、会
・カリキュラム編成の調整により、鈴
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、中
・カリキュラム編成の調整により、中
・カリキュラム編成の調整により、世
・カリキュラム編成の調整により、三長
・カリキュラム編成の調整により、三長
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
・カリキュラム編成の調整により、
                                                                                                                                                                                                 順十准教授の担当科目を削除。

啓明准教授の担当科目を削除。

寛之准教授の担当科目を変更。

光宏准教授の担当科目を変更。

光宏准教授の担当科目を変更。
                                                                                                                                                                                                 元 本教授の担当科目を変更。

「方有子准教授の担当科目を削除。

久芳准教授の担当科目を変更。

供電准教授の担当科目を変更。

供電准教授の担当科目を変更。
純准教授の担当科目を変更。
真准教授の担当科目を削除。
        ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月二瓶

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月檀垣

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月檀垣

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月檀垣

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月檀垣

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月梅垣

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月中中

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月中中

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月所本

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月所本

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原武

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原武

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原武

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月原武

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担当として令和2年4月に

・教育上の対果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担当として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育との効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東担として令和2年4月に

・教育上の効果を高めるため、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、東土を一め、
      ・カリキュラム編成の調整により、床原原 原傳師的の担当科目を削除。
・自己都合退職により、中島 隆講師の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、マスデン 眞理子講師の担当科目を変更。
・定年退職により、松瀬 成子講師の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、伊藤 雅浩講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、生田 まちよ講師の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、SIMS LANDER BRYANT講師の担当科目を変更。
   ・カリキュラム編成の調整により、SIMS LANDER BRYANT講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月寺岡 祥子講師就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月辻田 直子助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月辻田 直子助教就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月須崎 清剛特定事業教員就任。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月須崎 清剛特定事業教員就任。
・職名変更のため、平 英雄非常勤教員を准教授に変更。
・カリキュラム編成の調整により、平野 貞二特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、平野 貞二特定事業教員の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月宮本 茂生特定事業教員就任。
・職名変更のため、高口を禁持として令和2年4月宮本 茂生特定事業教員就任。
・職名変更のため、高口を禁持と、まり、平野 貞二特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、モ 動草特定事業教員の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、吉里 さち子特定事業教員の担当科目を変更。
           日口都合返職により、佐々木 集月特定事業教員の担当科目を削除。
カリキュラム編成の調整により、吉里 さち子特定事業教員の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、内藤 幸一郎講師の担当科目を変更。
カリキュラム編成の調整により、高宮 正之講師の担当科目を削除。
カリキュラム編成の調整により、Gilbert Richard Hill講師の担当科目を変更。
    ・カリキュラム編成の調整により、GIIDert Kichard HIII講師の担当科目を3
・教育上の効果を高めるため、兼任として令和2年4月登田 龍彦講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、CHEN I CHUN講師の担当科目を削除。
・カリキュラム編成の調整により、井芹 道一講師の担当科目を削除。
・教育上の効果を高めるため、兼任として令和2年4月金子 秀聡講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、石倉 恵介講師の担当科目を削除。
```

```
・カリキュラム編成の調整により、小坂 玲子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、片山 きよみ講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、赤木 昌子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、津留 紀子講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、岡 智典講師の担当科目を変更。
・教育上のあるため、兼任として令和2年4月末村 理郎講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、田中 正紀講師の担当科目を測除。
 ・カリキュラム編成の調整により、水月
・カリキュラム編成の調整により、井崎 美代講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、横面 浩講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、横原 浩講師の担当科目を変変更。
・カリキュラム編成の調整により、中嶋 弘二講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中嶋 弘二講師の担当科目を変更。
・カリキュラム編成の調整により、中嶋 弘二講師の担当科目を変更。
 ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和2年4月ローゼンアラン デ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和2年4月野口 和紀講師就任。
                                                                                                               デイヴィッド講師就任。
・カリキュフム編版の調整により、桑原 穣朝取の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、芳田嘉志助教の担当科目を追加。
・カリキュラム編成の調整により、渡邉 智助教の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月大渕慶史准教授就任。
・カリキュラム編成の調整により、飯田晴彦講師の担当科目を変更。
・教育上の効果を高めるため、令和2年4月岩尾雄四郎講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、相良一広講師の担当科目を変更。
・教育との効果を高めるため、今和6年4月日東始社法研究が
 ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月安浪誠祐講師就任。
・カリキュラム編成の調整により、山野克明講師の担当科目を変更。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C 教員審査)を受けてください。A C 教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
    - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
    - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
    - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

# (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11	6
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) ② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				3	現在 (報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	15	0	8	34	0	16	15	0	8	39	0
(13)	(14)	(0)	(7)	(34)	[0]						
	現在(	報告時)の	完成年度時	が状況			現在(	報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
15	14	0	8	37	0	15	14	0	8	37	0
[4]	[ △1 ]	[0]	[0]	[3]	[0]	[4]	[ △1 ]	[0]	[0]	[3]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、
  - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を配入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
  - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) = 37 34 108.82 9%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) 96

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 0 #DIV/0! 9/ 設置時の計画(A') = #DIV/0! 9/

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況 該当なし

番	号 :	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	D91	担当予定科目	]	後任	補充状	況	京	忧任辞退	(未	就任)の理日	<b>±</b>	
							_											
	4						_											
				스타	(D)	<u> </u>	_					44		の焦証	(=)			
												-			(=)			
	就	任を	辞	退した教員数	担当科	目数の合計	(a) +	+ (p) + (c)	(	①の合計	数(a	)	②の合計	十数(b)		③の合計	数(c	)
					必	修	0	科目		必修		科目	必修		科目	必修		科目
					選	択	0	科目		選択		科目	選択		科目	選択		科目
				人	自	由	0	科目		自由		科目	自由		科目	自由		科目
					ī	H	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担当予定科	3	後任?	補充状法	兄		辞任	等の理由		
				必修	数学演習 I			1						
				選択	インターンシッ	プ		1						
				必修	化学実験Ⅳ			1						
1	助教	日隈 聡士	H31.3	選択	化学コミュニケーシ	ョン		1		H31. 3. 31 f	けけ他研究	所転出のため	辞任(元	;)
				必修		卒業研究(応用生 命化学・応用物質 と学)								
		合計	(F)						往	<b>後任補充状況</b>	の集計(で	i)		
	辞任	した教員数	担当科	目数の合計	(a) + (b) + (c)	10	の合計	数(a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	十数 (c)	
			必	修	3 科目	必作	修	3	科目	必修	科	必修		科目
			選	択	2 科目	選技	択	2	科目	選択	科	選択		科目
	1	λ.	自	由	0 科目	自日	由		科目	自由	科	自由		科目
			į	†	5 科目	計	t	5	科目	計	0 科	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」</mark> に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

# (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D	) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						① ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の					Ͱ数(c)	)
		必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	1 _	_	2 94	0/
(2)-②設置時の計画(A)	_	34	-	2.94	90

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任等の	理由	
-														
-														
				ŕ	計						後任補充物	犬況の集計		
		辞	任し	<b>ンた教員数</b>	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	l数 (b)	③の合計	数 (c)
				_	必修	0	科目	必修		科目	必修	科目	必修	科目
					選択	0	科目	選択		科目	選択	科目	選択	科目
				人	自由	0	科目	自由		科目	自由	科目	自由	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

# (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定の科目については、他の専任教員により補完、また後任教員についても採用を予定しており、全体的な教育の質の確保はできて いる。 学生への周知方法については、授業時間割を大学ホームページに掲載することにより周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区分	附带事項等	履行状況	今後の の実施計画

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全で記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

# 7 その他全般的事項

<工学部 材料·応用化学科>

# (1) 設置計画変更事項等

#### 設 置 時 の 計 画 変更内容・状況、今後の見通しなど 卒業要件及び履修方法 ①教養教育科目34単位以上、工学基礎科目、工学英語科 ①について、教養教育のカリキュラム見直しに伴い、必修 目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目21単位を修得す 科目として工学英語科目(2科目・2単位)を追加。 (「2 授業科目の概要」参照) ること。 さらに. ②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログ ラムで開講されている科目の中から、 【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プロ グラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科 目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、 およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専 門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128 単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プ ログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択 科目として認める 【応用物質化学教育プログラム】 応用物質化学教育プロ うム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科 目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、 およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専 門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128 単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プ ログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択 科目として認める 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プロ うる専門科目の必修科目37単位と、学科基盤科目選択科 目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18単位、 およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専 門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124 単位以上 を修得すること。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

# ① 実施体制

a 委員会の設置状況

授業改善FD委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成30年5月11日 第1回授業改善FD委員会開催(参加名数8名中8名)

平成30年6月14日 第2回授業評価FD委員会(メール会議) (参加状況8名中8名)

平成30年7月2日 第3回授業評価FD委員会 (メール会議) (参加状況8名中8名)

平成30年7月20日 第3回授業評価FD委員会(メール会議) (参加状況8名中8名)

平成30年11月19日 第4回授業評価FD委員会 (メール会議) (参加状況8名中8名)

令和元年5月21日 第1回授業評価FD委員会(参加状況8名中8名)

令和元年5月28日 第2回授業評価FD委員会(メール会議) (参加状況8名中8名)

令和元年7月19日 第3回授業評価FD委員会(メール会議) (参加状況8名中8名)

令和2年1月22日 第4回授業評価FD委員会(参加状況8名中8名)

- c 委員会の審議事項等
  - FD活動年間計画
  - 委員の役割分担
  - ・ティーチングアワード評価・実施方法
  - 成績評価について

- その他FDに関すること
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - 教員相互の授業参観
    - ・工学部優秀教育者の選考・表彰
    - ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施
    - ・5大学教育連携シンポジウムへの参加
    - ·FD講演会の企画・実施
    - ・シラバスチェック
  - b 実施方法
    - 教員相互の授業参観

工学部開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施し、報告書を作成する。

工学部優秀教育者の選者・表彰

1年~3年生の学生を対象に、よかったと思われる授業を投票させ、その結果を基に表彰対象となる授業担当者を表彰する。

・学生・教員相互触発型授業検討会の実施

学生と教員が、工学部優秀教育者を交え検討会を開催し、意見交換をする。

- ・5 大学教育連携シンポジウムへの参加(山形大学、群馬大学、愛媛大学、徳島大学、熊本大学) 教育問題に関する情報交換や工学教育の向上を目的に開催されているもので、教員と学生が、 共に参加し、シンポジウムにおいて発表を行う。
- ·FD講演会の企画・実施

工学部会議室Aにおいて、大学教育統括管理運営機構より講師を迎えて「熊本大学における アクティブラーニング型授業の推進」のタイトルで実施。

・シラバスチェック

授業改善FD委員により、シラバスチェックを実施し、その結果を評価表に記入し提出する。 提出された評価表に基づき、実施報告書を作成する。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - 教員相互の授業参観

平成30年6月~平成31年1月の間に授業参観を実施し、報告書が提出された。(参加名数90名) 令和元年6月~令和2年1月の間に授業参観を実施し、報告書が提出された。(参加名数89名)

工学部優秀教育者の選考・表彰

平成31年1月7日~17日:各学科・学年の必修科目終了時に、学生による投票を実施。

平成31年1月23日:授業改善FD委員会委員及びTA15名による開票作業を実施。

平成31年3月27日: 教授会開催前に表彰式を実施。(被表彰者18名)

令和2年1月8日~20日:各学科・学年の必修科目終了時に、学生による投票を実施。

令和2年1月22日:授業改善FD委員会委員及びTA14名による開票作業を実施。

令和2年3月25日:受賞者に楯及び表彰状を授与(被表彰者26名)

・学生・教員相互触発型授業検討会の実施

平成30年度分について、ティーチングアワード受賞教員を交え各学科において実施。 令和元年度分について、ティーチングアワード受賞教員を交え各学科において実施。

・5大学教育連携シンポジウムへの参加

平成30年9月13日~14日に愛媛大学においてシンポジウム開催。本学部から教員2名、学生2名が参加し、セッションでの発表を行った。

令和元年9月19日~20日に群馬大学においてシンポジウム開催。本学部から教員2名、学生2名が参加し、セッションでの発表を行った。

·FD講演会の企画・実施

平成30年6月29日実施(参加者65名)

平成31年1月22日実施(参加者42名)

令和元年7月26日実施(参加者61名)

令和2年1月22日実施予定の講演会は、講師の都合により中止

・シラバスチェック

平成30年12月13日~平成31年1月11日:授業改善FD委員会によるシラバスチェックを実施。

(参加者8名)

令和元年12月16日~令和2年1月10日:授業改善FD委員会によるシラバスチェックを実施。 (参加者8名)

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・例年、FD関連の事項について工学部FD活動報告書を作成し、実施結果についての分析を行うとともに、 学部として情報を共有し、更なる授業改善に活用している。
  - ・FD講演会では「アクティブラーニング型授業の推進」について講演していただき、積極的な導入に向けての参考としている。
  - ・新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証 した結果を次年度以降のシラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を図っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - 有 各授業の終了時期(5月下旬、7月中旬、11月中旬、1月下旬頃)に実施。
  - b 教員や学生への公開状況, 方法等
    - 例年、実施結果については、Web上で学生及び教員へ公開している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項
- ※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし			

# (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・ 目的の実現に向けて取り組むこととしている。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ・平成30年度に自己評価を行い、令和元年10月公表
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開済

https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kihonjoho/hyouka/copy\_of\_hyouka-h26

- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・令和3年度を目処に評価機構(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の認証評価を受けることについて、 学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (5) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書(令和2年度)
  - a 公表予定の有無 〔 有 〕
  - b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]
  - c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 〕
- ※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。